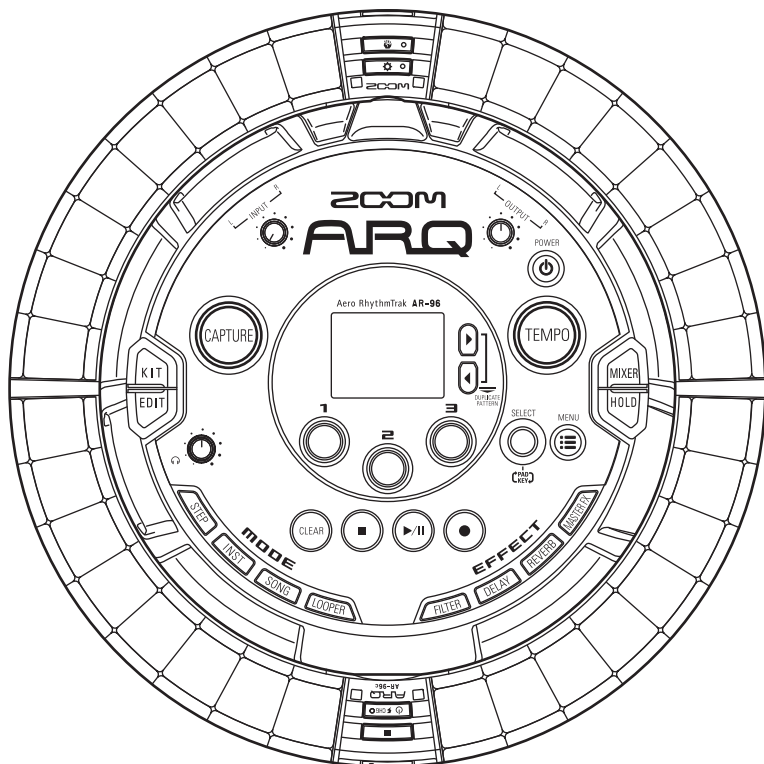


zoom®

ARQ Aero RhythmTrak AR-96



オペレーションマニュアル

© 2016 ZOOM CORPORATION

本マニュアルの一部または全部を無断で複製／転載することを禁じます。

目 次

安全上の注意／使用上の注意	3	操作の流れ	66
はじめに	6	ルーパーシーケンスの作成	68
用語の説明	7	ルーパーシーケンスの設定	70
		ルーパーシーケンスの管理	72
概 要		KIT (音色セット)	
各部の名称	8	KIT の概要	73
AR-96 の使い方	11	KIT の使用	74
リングコントローラーについて	12	KIT の管理	75
外部機器との接続	14		
モードの切り替え	15	EDIT (音色の編集)	
インストゥルメントについて	16	EDIT の概要	77
		音色の編集	78
準 備		SONG モードの EDIT 画面	86
電源の ON/OFF	17	LOOPER モードの EDIT 画面	87
SD カードのセット	19		
文字入力画面の操作	20	エフェクト	
INST モード		エフェクトの概要	89
INST モードの概要	21	エフェクトの使用	90
操作の流れ	23	その他の設定	91
パターンのリアルタイム入力	26		
パターンの消去	29	ミキサー	
その他の設定	30	ミキサーの概要	92
		ミキサーの使用	93
STEP モード		システムの設定	
STEP モードの概要	31	各種設定の変更	96
操作の流れ	34	データのバックアップ	98
パターンのステップ入力	36	SD カードの管理	99
パターンの消去	39	リングコントローラーの設定	102
パターンの各種設定	40	ファームウェアのアップデート	107
		MIDI コントローラー	
パターンの管理		MIDI コントローラーとして使用する	108
モーションシーケンス	42	MIDI コントローラーのレイアウト	110
パターンリストの管理	44	その他の機能	111
SONG モード		故障かな？と思う前に	112
SONG モードの概要	45	製品仕様	113
操作の流れ	47		
ソングの作成	49	付 録	
ソングシーケンスリストの管理	51	プリセットパターン一覧	115
ソングの設定	52	プリセットキット一覧	116
		EDIT メニュー・パラメーター一覧	117
キャプチャー		エフェクト一覧	122
キャプチャーの概要	54	リングコントローラーの MIDI メッセージ	124
操作の流れ	55	MIDI インプリメンテーションチャート	134
音声をキャプチャーする	56		
音声ファイルを取り込む	59		
キャプチャーの設定	60		
キャプチャーリストの管理	63		
LOOPER モード			
LOOPER モードの概要	64		

安全上の注意／使用上の注意

安全上の注意

このオペレーションマニュアルでは、誤った取り扱いによる事故を未然に防ぐための注意事項を、マークを付けて表示しています。マークの意味は次のとおりです。



「死亡や重症を負うおそれがある内容」です。



「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

図記号の例



「実行しなければならない（強制）内容」です。



「してはいけない（禁止）内容」です。

警告

AC アダプターによる駆動

- ① AC アダプターは、必ず ZOOM AD-14 を使用する。
- ② コンセントや配線器具の定格を超える使い方や AC100 V 以外では使用しない。
AC100 V と異なる電源電圧の地域（たとえば国外）で使用する場合は、必ず ZOOM 製品取り扱い店に相談して適切な AC アダプターを使用する。

充電池による駆動

- ① 充電池は必ず ZOOM BT-04 を使用する。
- ② 電池の注意表示をよく見て使用する。
- ③ 使用するときは、必ず電池カバーを閉める。

改造について

- ① ケースの開封や改造を加えない。

注意

製品の取り扱いについて

- ① 落としたり、ぶつけたり、無理な力を加えない。
- ② 異物や液体を入れないように注意する。

使用環境について

- ① 温度が極端に高いところや低いところでは使わない。
- ② 暖房機やコンロなど熱源の近くでは使わない。
- ③ 湿度が極端に高いところや水滴のかかるところでは使わない。
- ④ 振動の多いところでは使わない。
- ⑤ 砂やほこりの多いところでは使わない。

AC アダプターの取り扱いについて

- ① 電源プラグをコンセントから抜くときは、必ずプラグを持って抜く。
- ② 長期間使用しないときや電がなくなっているときは、電源プラグをコンセントから抜く。

接続ケーブルと入出力ジャックについて

- ① ケーブルを接続するときは、各機器の電源スイッチを必ず OFF にしてから接続する。
- ② 移動するときは、必ずすべての接続ケーブルと AC アダプターを抜いてから移動する。

音量について

- ① 大音量で長時間使用しない。

使用上の注意

他の電気機器への影響について

AR-96 は、安全性を考慮して本体からの電波放出および外部からの電波干渉を極力抑えております。しかし、電波干渉を非常に受けやすい機器や極端に強い電波を放出する機器の周囲に設置すると影響が出る場合があります。そのような場合は、**AR-96** と影響する機器とを十分に距離を置いて設置してください。デジタル制御の電子機器では、**AR-96** も含めて、電波障害による誤動作やデータの破損、消失など思わぬ事故が発生しかねません。注意してください。

お手入れについて

パネルが汚れたときは、柔らかい布で乾拭きしてください。それでも汚れが落ちない場合は、湿らせた布をよくしぼって拭いてください。リングコントロール表面が汚れたときは、糸くずの出ない柔らかい布を湿らせて拭き取ってください。クレンザー、ワックスおよびアルコール、ベンジン、シンナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。

故障について

故障したり異常が発生した場合は、すぐに AC アダプターを抜いて電源を切り、他の接続ケーブル類もはすしてください。「製品の型番」「製造番号」「故障、異常の具体的な症状」「お客様の名前、ご住所、お電話番号」をお買い上げの販売店またはズームサービスまで連絡してください。

著作権について

- © Windows® / Windows® 10 / Windows® 8 / Windows® 7 は Microsoft® 社の商標または登録商標です。
- © Mac, Mac OS, iPad, iOS は、Apple Inc. の商標または登録商標です。
- © Intel, Intel Core は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標または登録商標です。
- © SD ロゴ、SDHC ロゴ、SDXC ロゴは商標です。
- © Bluetooth と Bluetooth ロゴは、Bluetooth SIG, Inc. の登録商標であり、株式会社ズームはライセンスに基づいて使用しています。
- © MIDI は社団法人音楽電子事業協会（AMEI）の登録商標です。
- © Ableton, Ableton Live は Ableton AG の商標です。
- © 文中のその他の製品名、登録商標、会社名は、それぞれの会社に帰属します。

* 文中のすべての商標および登録商標は、それらの識別のみを目的として記載されており、各所有者の著作権を侵害する意図はありません。

他の者が著作権を保有する CD、レコード、テープ、実演、映像作品、放送などから録音する場合、私的使用の場合を除き、権利者に無断での使用は法律で禁止されています。

著作権法違反に対する処置に関して、(株)ズームは一切の責任を負いません。

安全上の注意／使用上の注意のつづき

認定機器について

■無線の許可認定について

本製品は、電波法および電気通信事業法に基づく小電力データ通信システムの無線設備として、認証を受けた無線設備を搭載しています。

したがって、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。

ただし、下記の事項を行うと法律により罰せられることがあります。

- ・本製品を分解／改造すること

■無線に関する注意事項

本製品の使用周波数帯域は 2.4 GHz 帯です。

この周波数帯域 (2.4 GHz 帯) は、電子レンジなど産業・科学・医療機器の他にもさまざまな機器が使っていることがあります。

電波干渉を防止するために、以下の事項に注意して使用してください。

1. 本製品を使い始める前に、お近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. その他、本製品の無線に関して不明な点やお問い合わせのことが生じた場合は、弊社まで連絡してください。

2.4 XX2

2.4 : 2.4 GHz 帯を使用する無線設備を表します。

XX : その他の方式を表します。

2 : 想定される干渉距離が 20 m 以内であることを表します。

□□□ : 全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可

本製品は、電波法に基づく工事設計認証を受けた特定無線設備を内蔵しています。

認証番号 : 001-P00500



この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としています。この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。 VCCI-B

最適なパフォーマンスのために

AR-96 はリングコントローラーとベースステーションの通信に無線通信である Bluetooth LE を使用しています。見通しの良い室内で 10 m まで通信を行うことができますが、電波干渉などの要因によってうまく通信ができないときは以下の事をお試しください。

- リングコントローラーとベースステーションを近づける。
- リングコントローラーとベースステーションの間に障害物がある場合、障害物を移動する。
- 不要な 2.4 GHz 通信をやめる、もしくはは影響する機器から遠ざける。
 - ・ Wi-Fi アクセスポイント
 - ・ スマートフォンなどの Wi-Fi を使用する機器

- ・ 電子レンジ

- ・ 音声モニターや照明コントロールなど、2.4 GHz 通信を行う機器

電池についての安全上の注意とお願い

漏液、発熱、発火、破裂、誤飲による大けがややけど、火災などを避けるため、下記の注意事項をよくお読みください。

△危険

- リチウムイオン電池 (BT-04) は **AR-96** と **AD-14** の組み合わせ以外で充電しない。
- 電池を分解しない、火の中へ入れない、電子レンジやオーブンで加熱しない。
- 電池を火のそばや炎天下、高温になった車の中などに放置しない。そのような場所で充電しない。
- 電池をコインやヘアピンなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- 電池を水・海水・牛乳・清涼飲料水・石鹼水などの液体で濡らさない。濡れた電池を充電したり、使用したりしない。

△警告

- 電池をハンマーなどで叩いたり、踏みつけたり、落下させたりするなどの衝撃や力を与えない。
- 電池が変形・破損した場合は使用しない。
- 外装シールをはがしたり、傷つけたりしない。外装シールの一部または、すべてをはがしてある電池や破れのある電池は絶対に使用しない。

お願い

リチウムイオン電池はリサイクルできます。不要になったリチウムイオン電池は、金属部分にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってリサイクル協力店へお持ちください。

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については

一般社団法人 JBRC ホームページ

<http://www.jbrc.com>

を参照してください。



はじめに

このたびは、ZOOM Aero RhythmTrak **AR-96** (以下“**AR-96**”と呼びます)をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。**AR-96**は、次のような特長を備えた製品です。

●コントローラーにフープ形状を採用

コントローラーをフープ形状にしたことで、ループシーケンスを直感的に打ち込むことが可能になりました。

●リングコントローラーには 32 個×3 列のパッドと 32 個×5 列の LED を搭載
ステップ入力時には、3 列のパッドを使用して、同時に 3 つのインストゥルメントを入力できます。また、多色発光する LED により、最大で 5 つのインストゥルメントの入力状態を一目で確認することができます。

また、リアルタイム入力時には、各列のパッドを使い分ける多彩な演奏が可能です。

●リングコントローラーをベースステーションから着脱可能

リングコントローラーをベースステーションから取り外し、手持ちスタイルで演奏することが可能です。従来のリズムマシンでは不可能だった、魅せるパフォーマンスを実現できます。

●リングコントローラーに加速度センサーを搭載

リングコントローラーを傾けることにより、エフェクトのパラメーター制御を行うことができます。身体で音をコントロールする新しい感覚を味わえます。

●グリップエリアの自動検出

グリップエリアの設定機能により、リングコントローラーを持って演奏するときの誤操作を防ぐことができます。

ポジションの設定は、自分の持ちやすい位置を握るだけの簡単な操作で行えます。

●リングコントローラーとベースステーションは Bluetooth LE で接続

リングコントローラーとベースステーションは Bluetooth LE で無線接続されます。消費電力が少なく、長時間の使用が可能です。

また、リングコントローラー単体を Mac や iOS 機器と接続し、多機能 MIDI コントローラーとして使うこともできます。

●多彩なエディットが可能な音源を搭載

AR-96に搭載された音源は、音色表現の幅を広げる多彩な設定パラメーターを持っています。音色の各パラメーターは、アイコンベースのエディター画面で簡単に設定することができます。

また、1 つの KIT につき最大 33 インストゥルメント (同時発音数 16) の音源を使用できるので、多彩な楽曲の作成が可能です。

●400 種類以上の内蔵 PCM 音源と 70 種類以上のシンセサイザー用オシレーターを搭載

バリエーション豊かな音源の中から、作りたい曲のイメージに合った音を探せます。

音源はカテゴリごとに分類されているため、素早く音を選ぶことができます。

●多彩なクリエイトモードを搭載

1 ステップ単位でパターンを組んでいく STEP モード、リアルタイムに演奏パターンを打ちこんでいく INST モード、作成したパターンを曲として完成させる SONG モード、キャプチャーしたオーディオをパッドに割り当てて演奏できる LOOPER モードを使い分けて曲の作成ができます。

●最大 5 系統のエフェクトを同時使用可能

各インストゥルメントに対してインサートエフェクト、グローバルフィルター、ディレイ、リバーブ、マスターエフェクトを同時に使用することができます。

音作りの幅がぐっと広がります。

●電子楽器やオーディオ機器を接続可能なインプットを搭載

接続した機器からの入力を聴きながら演奏したり、入力をキャプチャーしてルーパー素材として使うことができます。

●音声ファイルを取り込み可能

パソコンで SD カードに保存した WAV ファイルをルーパー素材として取り込み、使用できます。(別途 SD カードが必要)

●アウトプットとは別系統のヘッドフォンアウトを搭載

2 系統のアウトプットを搭載することで、ヘッドフォンだけにメトロノーム音を出力するなどの使い方が可能です。

用語の説明

パターン

数小節からなる短い曲の部品です。**AR-96**には様々な音楽ジャンルを網羅したプリセットパターンが登録されています。

ソング

複数のパターンを組み合わせ、ひとつの楽曲として構成したものをいいます。

ステップ

パターンを構成する最小単位です。シーケンス入力時にはステップ単位で音を入力していきます。

シーケンス

パターンに登録されたメロディーやリズムを構成する、さまざまな音階や音色の音を組み合わせで作成するデータです。

KIT

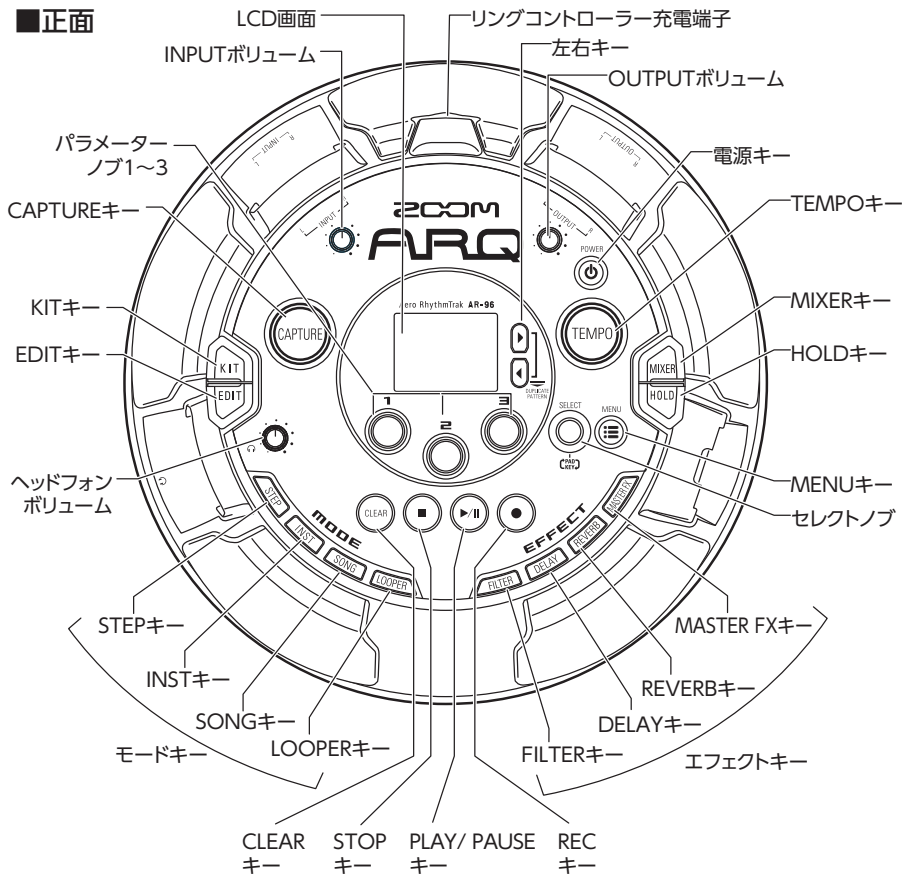
ドラムセット、パーカッション、ベース、シンセサイザーなどの音色を組み合わせたセットです。KITを切り替えることで、音楽ジャンルや用途に合わせた音色を簡単に利用することができます。**AR-96**はジャンル別に分けられたプリセットKITを用意しています。

概要

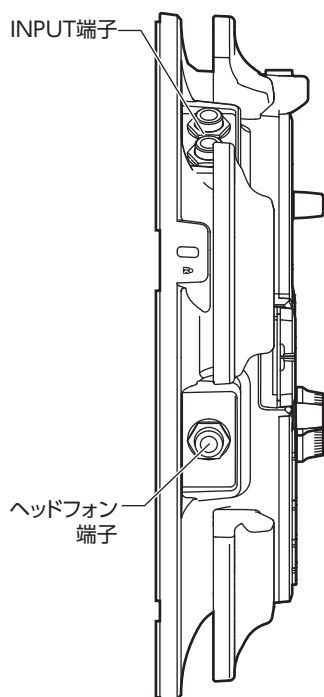
各部の名称

ベースステーション

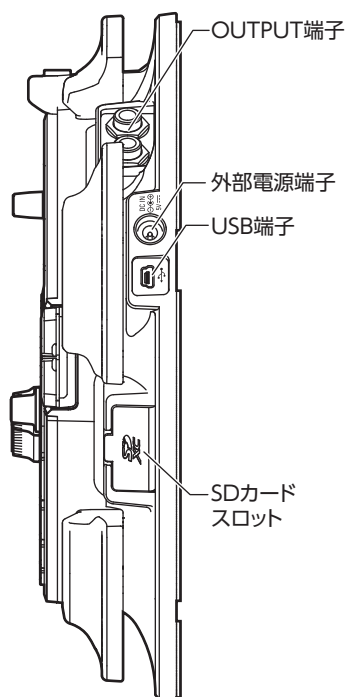
■正面



■左側面

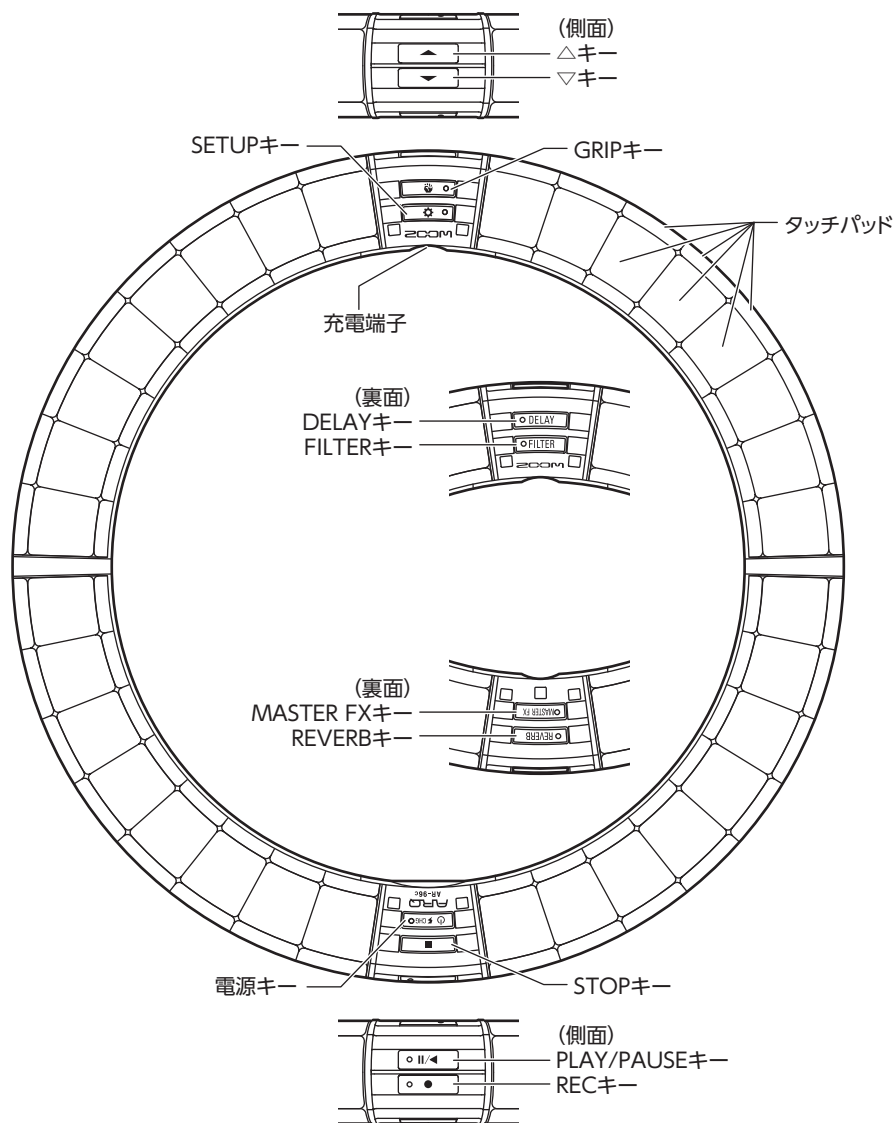


■右側面



各部の名称のつづき

リングコントローラー

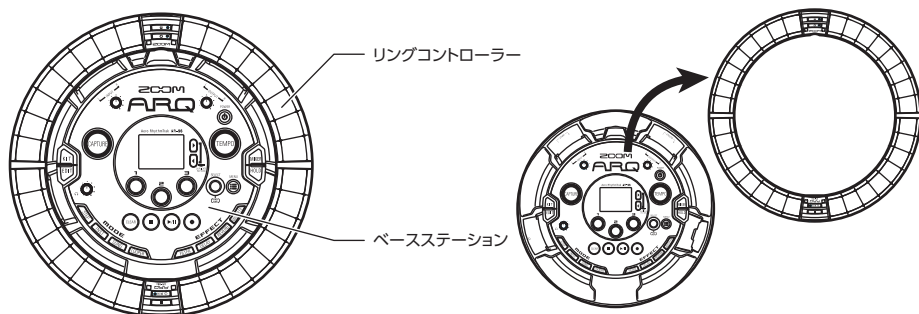


HINT

- ・リングコントローラーのキーを使用して、ベースステーションのキーと同じ操作ができます。
- ・リングコントローラーの  は、ベースステーションの  に対応します。

AR-96 の使い方

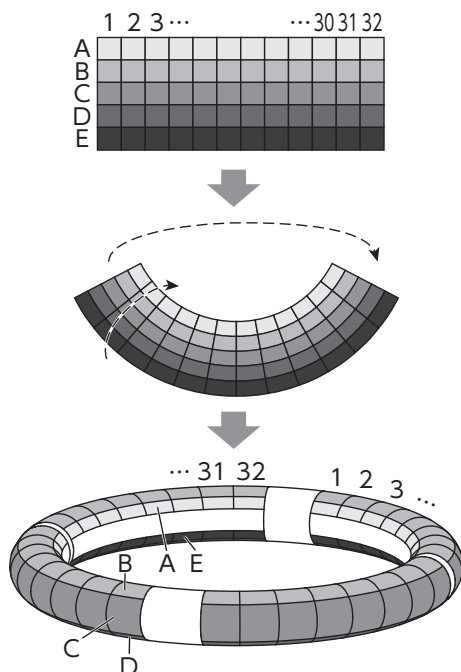
AR-96 は、ベースステーションとリングコントローラーから構成されています。



ベースステーションでは、曲の作成や保存、音色の編集などができます。リングコントローラーは曲を作成するときの入力に使用します。

さらにリングコントローラーは着脱可能になっており、手に持って楽器のように演奏したり、Mac や iOS 機器と無線接続し、MIDI コントローラーとして使用することもできます。(→ P.108)

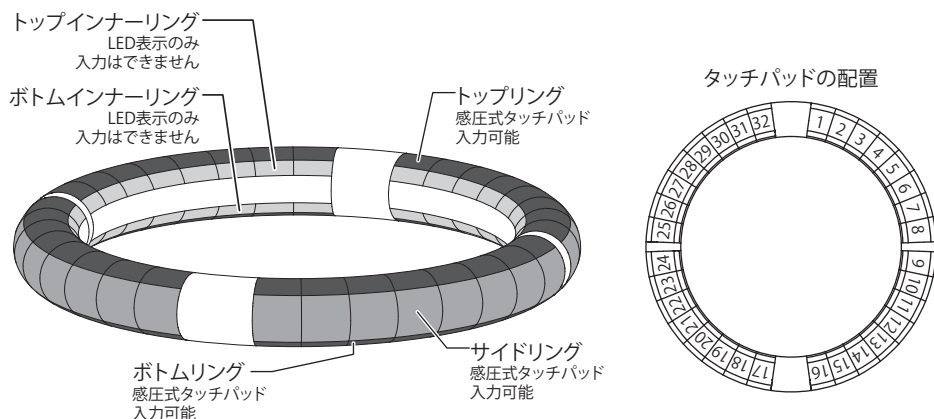
リングコントローラーには、32 ブロック×5 列の LED マトリックス（タッチパッド 3 列、表示のみ 2 列）を搭載しています。2 次元のマトリックスをフープ形状の表面に立体的に配置したことにより、コンパクトなサイズでありながら全体を確認しての操作が可能です。



リングコントローラーについて

AR-96のリングコントローラー表面には5つのリング状のエリアがあり、上面（トップリング）、側面（サイドリング）、底面（ボトムリング）にはそれぞれ32個の感圧式タッチパッドが配置されています。

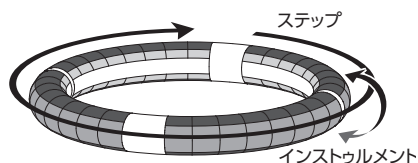
このタッチパッドを使用して、曲の入力や編集、リアルタイム演奏などを行うことができます。



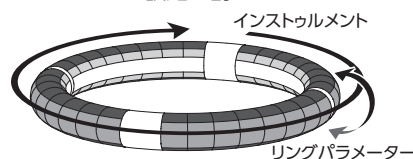
機能の割り当てについて

リングコントローラーのリングやパッドには、操作状況やモードに応じてさまざまな機能が割り当てられます。

例：STEP モードの PAD レイアウト：それぞれのリングは5つ（ガイドライン表示時は3つ）のインストゥルメントのシーケンスを表し、各リングのそれぞれのパッドは1～32までのステップに対応します。



例：INST モードの PAD レイアウト：各パッドが1～32までのインストゥルメントに対応し、それぞれのリングには異なるパラメーター設定を割り当てられます。



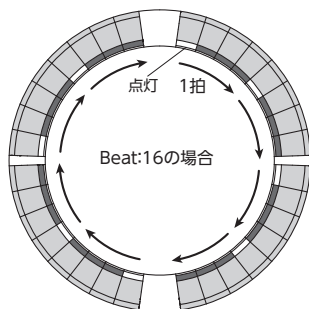
HINT

入力方式は各モードによって異なるため、詳細は各操作の説明ページを参照してください。

ガイドライン

STEP モードでトップインナーリング・ボトムインナーリングの LED 表示を 1 拍ごとに点灯させ、ステップレコーディングの補助にすることができます。

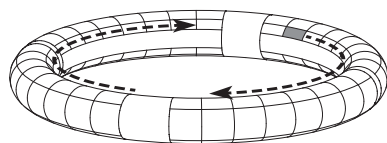
設定方法は「インナーリングの表示を設定する」(→P.96) を参照してください。



プレイバックポジション

ガイドライン表示時、パターンやソングなどを再生する場合は、現在再生中のステップ位置に対応するトップインナーリング・ボトムインナーリングの LED が緑に点灯します。

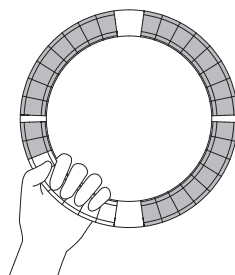
また、INST モードなどでリアルタイム入力を行う場合は、LED が赤く点灯します。



グリップエリア

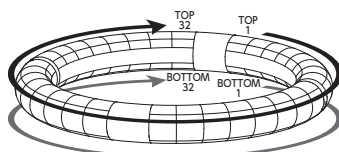
リングコントローラーをベースステーションから取り外して操作するとき、意図せずにパッドが押されてしまうことを防ぐために、タッチに反応しないグリップエリアを設定することができます。グリップエリアの範囲はユーザーが任意に指定できます。

設定方法は「グリップエリアの設定」(→P.103) を参照してください。



リングコントローラーの反転

リングコントローラーの電源キー側とエフェクトキー側を逆向きに置くと、各リングに割り当てられた機能や LED 表示の上下および回転方向が切り替わります。これによって、上から見た場合、リングコントローラーは常に時計回りで、上面側をトップリングとして使用できます。

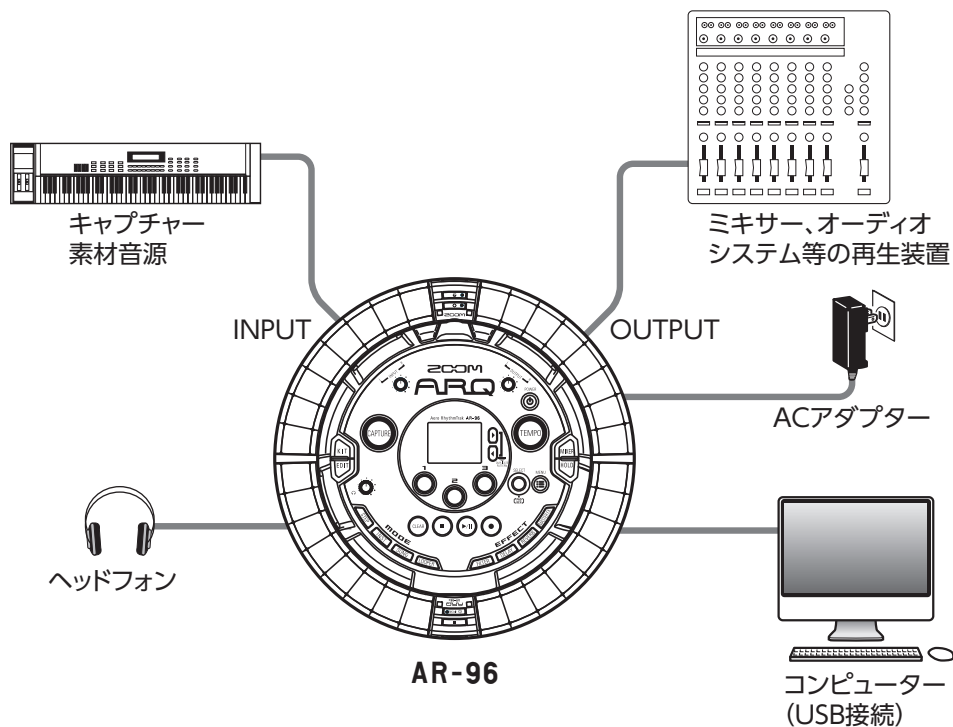


上下を逆に置いても、同様に使用できます

NOTE

グリップエリアが設定されている場合は、リングコントローラーは反転しません。

外部機器との接続



モードの切り替え

AR-96では、パターンを作成し、それらを複数組み合わせることで曲を作成できます。

AR-96での編集作業は、主に下記の4つのモードを使用し、それぞれを切り替えることでパターン作成と曲の作成を行き来しながら行うことになります。



パターンを作成する方法には、STEPモードとINSTモードの2種類があります。

- STEPモード…ステップ単位でインストールメントの発音ポイントを記録し、パターンを作成します。

- INSTモード…リアルタイムでパッドを叩いて演奏した結果をパターンとして記録します。

一方、曲の作成にはSONGモードまたはLOOPERモードを使用します。

- SONGモード…リアルタイムでパターンを切り替えて演奏し、その結果を記録して曲を作成します。
- LOOPERモード…INPUT端子に接続された機器からの音声入力、パターンやソングなどをオーディオとしてキャプチャーしたデータや、SDカードから読み込んだWAVファイルなどを素材として、ルーパーシーケンスを組み立て、曲を作成します。

パターンの作成

パターンを作り登録します

STEPモード

ステップ単位で入力してパターンを作成します

INSTモード

リアルタイムで演奏してパターンを記録します

SONGモード

作成したパターンを組み合わせて曲を作ります

LOOPERモード

ソングや外部入力をキャプチャーしたオーディオループ、PCMファイルの音声などを使って曲を作ります

曲の作成

パターンなどを組み合わせ曲を構成します

インストゥルメントについて

AR-96は、1つのKITにつき最大33の音源を使用できます。その1つずつをインストゥルメントと呼び、ドラムなどの波形データ、または内蔵のシンセサイザーを発音できます。それぞれのインストゥルメントに対して、数百種類ある音色から好きなものを割り当てることができます。

インストゥルメントの音源には以下の 2 種類があり、STEP モードおよび INST モードで  を押すと切り替えることができます。どちらのレイアウトの場合も、16 音まで同時発音できます。

PAD レイアウト	最大で 32 のパッドそれぞれに異なるインストゥルメントを割り当てて演奏できるモードです。ドラムの演奏に適していますが、インストゥルメントにシンセサイザーを割り当てることもできます。
KEY レイアウト	1 つのインストゥルメントに音階を付けて演奏するモードです。パッドの並びがキーボードのように音階順になり、リングコントローラーの LED は白鍵が白、黒鍵は青の配色になります。また、メジャー、マイナーなどのスケールを設定することも可能です。 シンセサイザーの演奏に適していますが、スネアなどの打楽器を割り当て、音階を付けて演奏することもできます。

インストゥルメントのリングコントローラーへの割り当ては、STEP モードと INST モード、PAD レイアウトと KEY レイアウトでそれぞれ異なります。

	STEPモード	INSTモード
PADレイアウト	インストゥルメントNo.	インストゥルメントNo.
KEYレイアウト	ノート	ノート

※クロマティックの場合

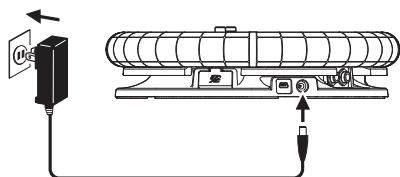
※サイドリング、ボトムリングに
同じノートが割り当てられます

準 備

電源の ON/OFF

ベースステーションの電源

1. ベースステーションに、付属の AC アダプターを接続する



2. ベースステーションの  を長押しする

3. 電源を OFF にするには、 を長押しする

HINT

リングコントローラーがスリープ状態でベースステーションに接続されている場合は、ベースステーションの電源 ON/OFF にリングコントローラーの電源が連動します。

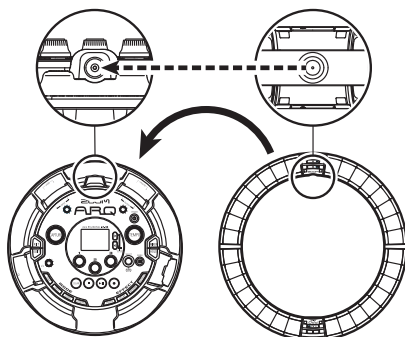
NOTE

AR-96 をパソコンなどと USB 接続する場合も、電源供給には AC アダプターを使用してください。

リングコントローラーの電源

■リングコントローラーを充電する

1. リングコントローラーをベースステーションに設置する



それぞれの充電端子の向きを合わせて設置してください。

充電が開始され、リングコントローラーの  の LED が点灯します。

充電中 (電源 OFF・スリープ)	赤
充電しながら使用中	オレンジ
バッテリーで使用中 (電池残量 12%以上)	緑
バッテリーで使用中 (電池残量 12%未満)	緑点滅

HINT

ベースステーションが OFF になっていても、電源に接続された状態であればリングコントローラーを充電できます。

電源の ON/OFF のつづき

■リングコントローラーをスリープ状態にする

リングコントローラーが充電されているときは、電源が OFF にならず、スリープ状態になります。

1.  CONTROLLER  を長押しする

2.  CONTROLLER スリープ状態を解除するには、 を長押しする

HINT

スリープ中は、リングコントローラーの  の LED が赤点灯 (充電中) / 赤点滅 (充電していないとき) します。

■リングコントローラーの電源を OFF にする

リングコントローラーの電源を OFF にするには、リングコントローラーが充電されていない状態で操作を行います。

1.  CONTROLLER 充電していないときに 7 秒以上  を長押しする

2.  CONTROLLER 電源を ON にするには、 を長押しする

NOTE

- ・電源が OFF になると  の LED が消灯します。
- ・電源 OFF 状態のリングコントローラーを電源に接続されたベースステーションに設置すると、自動的に充電が開始され、リングコントローラーは次の状態になります。
 - 起動 (ベースステーション ON の場合)
 - スリープ (ベースステーション OFF の場合)

SD カードのセット

■SD カードの取り付け・取り外し

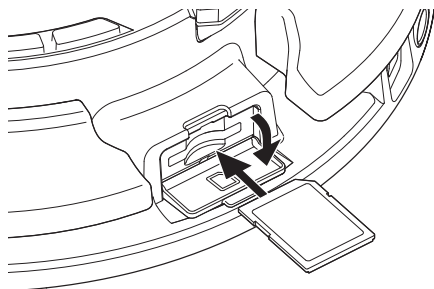
1. 電源を OFF にする

2. ベースステーションの SD カード スロットカバーを開ける

3. スロットに SD カードを挿し込む

取り出したいとき：

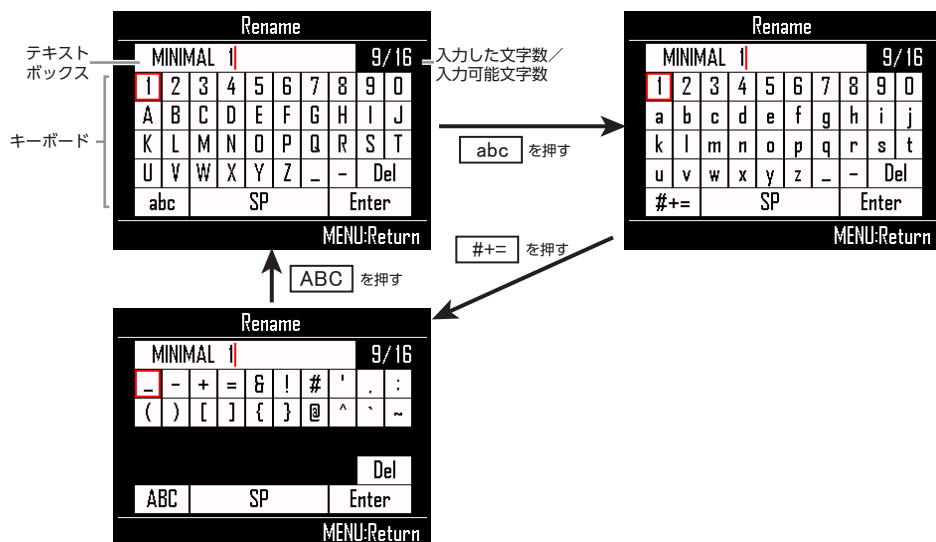
SD カードを一度スロットの奥に押し込んでから、引き抜く



NOTE

- ・ **AR-96** に SD カードを取り付けない場合、キャプチャーデータの保存や、作成したパターンやソングのバックアップ作成ができません。
- ・ SD カードを抜き挿しするときは、カードの向きや裏表に注意してください。
- ・ 市販の SD カードや、他のパソコンで初期化された SD カードを使用する場合は、最初に **AR-96** で初期化する必要があります。
- ・ SD カードを初期化するには (→ P.99)

文字入力画面の操作



変更時の操作

テキストボックス内カーソル移動：

文字の選択： を回す

文字の確定： を押す

変更を終了する：「Enter」にカーソルを合わせ

を押す

変更をキャンセルする： を押す

HINT

- ・使用できる文字は以下のとおりです。
(スペース) !#&'()+,-.0123456789;=@ABCDEF GHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ[]^_`abcdefghijklmnopqrstuvwxyz{|}~
- ・入力対象によっては、一部の文字が使用できない場合があります。

INST モード

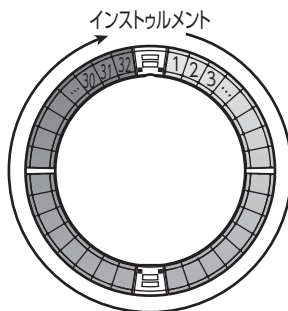
INST モードの概要

パッドを叩いて自由に演奏することができます。また、その演奏をリアルタイムに記録してパターンを作成することもできます。

このモードでは、リングコントローラーのリング方向のパッド 1 つずつが 1 つのインストゥルメント (PAD レイアウト) / ノート (KEY レイアウト) に対応します。

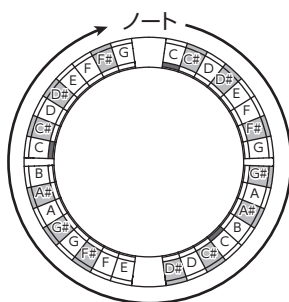
PADレイアウト

インストゥルメント1	
インストゥルメント2	
インストゥルメント3	
インストゥルメント4	
インストゥルメント5	
⋮	
インストゥルメント31	
インストゥルメント32	



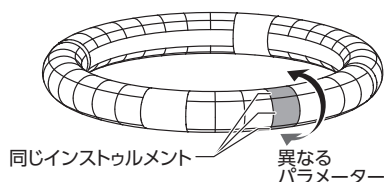
KEYレイアウト

⋮	
C	C#
D	D#
E	
F	F#
G	G#
A	A#
B	
⋮	



※サイドリング、ボトムリングにも同じノートが割り当てられます

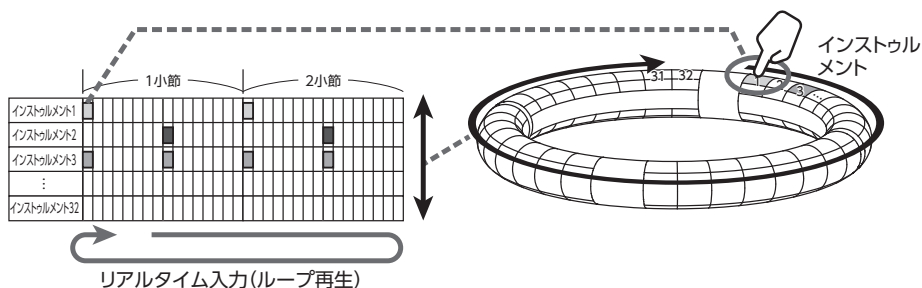
また、トップリング、サイドリング、ボトムリングにそれぞれ異なるパラメーター設定を割り当て、音色を使い分けることができます。(→ P.82)



パターン作成…PAD レイアウトの場合：

リアルタイム入力を開始したら、入力するインストゥルメントのパッドを叩きます。

パターンはループ再生され、何度でも重ね録りが可能です。



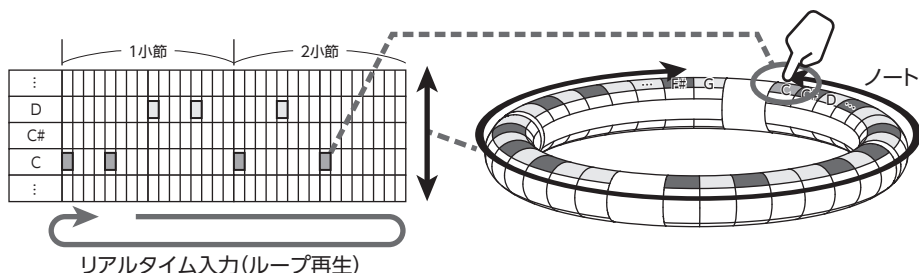
INST モードの概要のつづき

パターン作成…KEY レイアウトの場合：

リアルタイム入力を開始したら、入力するノートのパッドを叩きます。

パターンはループ再生され、ポリフォニックに設定した場合は何度でも重ね録りが可能です。

(→ P.84)



画面の説明

■PADレイアウト時

シーケンサーの状態

- : 入力状態で停止
- ▶: 入力状態で再生
- ▶: 再生
- : 一時停止
- : 入力状態で一時停止
- : 停止

パターン名
パターン番号

KIT名
201: Empty
KIT: MINIMAL

テンポ
128.0

小節番号
1-1
拍番号

入力パッド①の
オシレーター名
02 2Step RS

入力パッド②の
オシレーター名
01 EDM Kick

入力パッド③の
オシレーター名
32 Kit808 Tom

Filter Freq
64Hz

Reverse

Pitch
-2.00

の
パラメーター名と
設定値

の
パラメーター名と
設定値

の
パラメーター名と
設定値

SELECT の操作で
画面に表示される
範囲が移動

■KEYレイアウト時

201: Empty
KIT: MINIMAL
1-1
128.0

04

Saw

oct. 03

02

Filter Freq
64Hz

Resonance
50

Pitch
±0.00

インストゥルメントの
オシレーター名

パッドに割り当てられる
最も低い音

操作の流れ

INSTモードに入る

INSTを押して、INSTモードに入ります。



パターンを選ぶ

Pでパターン番号を選びます。



音色のセットを選ぶ

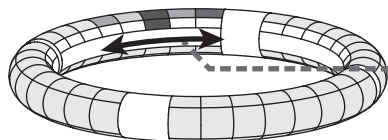
KITを押して、**SELECT**で作成するパターンに適した音色のセット(KIT)を選びます。

EDITを押して音色を編集することもできます。

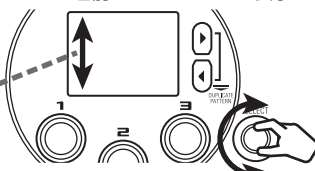


入力するインストゥルメントを確認する

パッドを叩いて、入力するインストゥルメントの音色を試聴することができます。
また、叩いたパッドのインナーリングのLEDが点灯し、LCDにはインストゥルメントの名前やパラメーターが表示されます。



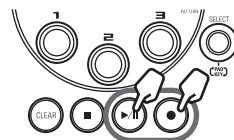
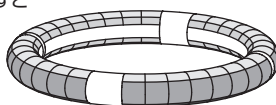
KEYレイアウトを入力する場合は、**SELECT**を押してモードを切り替えます。



インストゥルメントは**SELECT**でも確認できます

入力を開始する

STOPを押すとスタンバイ状態になり、**PLAY**を押すとリアルタイム入力が始まります。



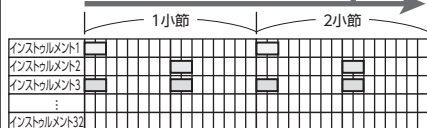
操作の流れのつづき

リアルタイム入力を開始する

PADレイアウトの場合:

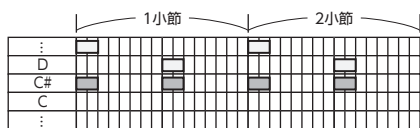
ループ再生されるパターンに合わせて、入力するインストゥルメントのパッドを叩きます。

リアルタイムで入力



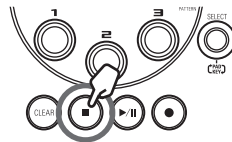
KEYレイアウトの場合:

ループ再生されるパターンに合わせて、入力するノートのパッドを叩きます。



入力を終了する

○を押すとリアルタイム入力が終了します。



準備

■モードに入る

1. **INST** を押す

■パターンの選択

入力するパターンを選びます。

1. **0** でパターンを選択する

選択したパターン名がLCD画面に表示されます。



HINT

- ・パターンを再生中の場合、現在再生されている小節の再生後に切り替わります。切り替わるまでの間は、パターン名が点滅します。

操作の流れのつづき

■音色の選択

各インストゥルメントに割り当てる音色を、ジャンルや用途に合わせた音色のセット (KIT) から選択します。

1. を押す

KIT リストが表示されます。



2. で KIT を選択して、 を押す

選択した KIT の音色が各インストゥルメントに割り当てられます。



HINT

・音色を編集することもできます。(→ P.77)

■テンポの設定

1. を押す

テンポの設定が画面に表示されます。



2. でテンポを設定する

テンポは BPM 40.0 ~ 250.0 の範囲で、0.1 刻みで変更できます。

HINT

設定するテンポの 4 分音符と同じタイミングで  を数回叩いても変更できます。

パターンのリアルタイム入力

パターンの入力

■パターンの入力

1. を押す
が点灯し、録音待機状態になります。

2. を押す
プリカントが開始されます。

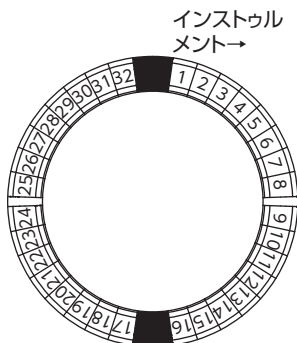
HINT

- ・プリカントの種類を変更する (→ P.30)
- ・パターンの再生中に を押しても入力を開始できます。この場合、プリカントは行われません。

3.  **CONTROLLER** 入力するインス

トルメントに対応したパッドを
叩く

メトロノーム音に合わせて演奏を行います。



HINT

- ・フォントサイズを設定することで、入力ガリズムとずれたときに自動補正ができます。(→ P.96)
- ・メトロノームの設定を変更する (→ P.30)

4. 入力を終了するには、を押す

録音が終了します。

HINT

- を押すと録音待機状態になります。
- を押すと録音は終了しますが、再生は継続されます。この状態でパッドを叩くと、音色を確認することができます。

■キーリピート

キーリピートを使用すると、ステップの繰り返し入力をまとめて行うことができます。

1.  **CONTROLLER** ベースステーション
の を押しながらパッドを叩く
叩いたパッドが繰り返し入力されます。
キーリピートの設定が画面に表示されます。



2. キーリピートの早さを変更するには、を回す

3. キーリピートを終了するには、を離す

■パターンの再生

1. を押す
再生が開始され、が点灯します。
2. 一時停止するには、をもう一度押す
再生が一時停止し、が点滅します。

パターンのリアルタイム入力 のつづき

3. 再生を終了するには、を押す
再生が終了し、が消灯します。

■パターンの一部を消去

1. を押す
パターンを再生します。
-
2. を押し続ける
が点滅します。
-
3.  **CONTROLLER** 消去したい部分が再生されている間、消去するインストゥルメントのパッドを押し続ける
押し続けている間の演奏情報が消去されます。
-
4.  **CONTROLLER** 消去する部分の再生が終わったら、パッドから手を離す
-
5. 消去を終了するには、から手を離す

クイックコピー

編集中のパターン内容を別のパターンにコピーして、コピー先のパターン編集に移ります。パターンのバリエーション展開が簡単に作成できます。

1. を同時に押す
Duplicate Pattern 画面が表示されます。



2. でコピー先のパターンを選択して、を押す
コピー先が空のパターンではない場合、確認の画面が表示されます。
-
3. で Yes を選択して、を押す
パターンがコピーされ、コピー先のパターン編集に移動します。

パターンのリアルタイム入力のつづき

KEY レイアウトの設定

リングコントローラーがKEY レイアウトの場合、以下の設定を行います。

1. を押す

2. を押し、スケール／キー／レンジブロックを選択する

3. 、、で設定を変更する

■スケールの変更 (Scale)

リングコントローラーのスケール（音階）の種類を変更できます。

• を回し、レンジを変更する

次の中から選択できます。

Chromatic、Major(Ionian)、Harmonic Minor、Melodic Minor、Dorian、Phrygian、Lydian、Mixolydian、Aeolian、Locrian、Super Locrian、Major Blues、Minor Blues、Diminished、Com Dim、Major Pentatonic、Minor Pentatonic、Raga1(Bhairav)、Raga2、Raga3、Arabic、Spanish、Gypsy、Minor Gypsy(Hungarian Minor)、Egyptian、Hawaiian、Pelog、Hirojoshi、In-Sen、Iwato、Kumoi、Miyakobushi、Ryukyu、Chinese、Whole Tone、Whole Half、5th Interval

■キーの変更 (Key)

基準となるキー（調）を変更できます。

• を回し、レンジを変更する

C、C#、D、D#、E、F、F#、G、G#、A、A#、Bから選択できます。

■ノート範囲の変更 (Range)

リングコントローラーのノート範囲を変更できます。

• を回し、レンジを変更する

NOTE

変更に合わせて、リングコントローラーのレイアウトも変わります。

パターンの消去

インストゥルメント全体の消去

1.  で消去するインストゥルメントを選択する

 **CONTROLLER**  を押して、消去するインストゥルメントをリングコントローラーのトップリングに表示します。

2.  を押す

CLEAR 画面が表示されます。

キャンセルする場合は、もう一度  を押します。



HINT

CLEAR 画面で  を回して、消去するインストゥルメントを選択することもできます。ここで「All Instruments」を選択すると、シーケンス全体を消去します。

KEY レイアウトの場合、消去の対象はノートになります。ここで「All Notes」を選択すると、KEY レイアウトのシーケンス全体を消去します。

3.  を押す

確認のメッセージが表示されます。

4.  で Yes を選択して、 を押す

選択したインストゥルメントに登録したステップがすべて消去されます。

その他の設定

メトロノームの設定

録音中にガイドとして再生されるメトロノームについて設定します。

1.  MENU を押す

- 2.**  で METRONOME を選択し
て、 を押す
- メトロノーム設定画面が表示されます。

- ### 3. でメニュー項目を選択して、 で決定する

■プリカウントの設定 (Precount)

-  でプリカウントを選択する
OFF、1～8、Special から選択できます。

HINT

Special を選択すると、次のようなカウントが鳴ります。



■音色の設定 (Sound)

-  でメトロノームの音色を選択する
Bell、Stick、Click、Cowbell、Hi-Q の中
から選択できます。

■パターンの設定 (Guide Click)

- 
 でメトロノームのパターンを選択する
 メトロノームが鳴る間隔を、1 小節の分割数で設定します。1/16、1/8、1/4、1/2 の中から選択できます。

■音量的設定 (Volume)

-  でメトロノームの音量を設定する
音量は 0 から 10 の間で選択できます。

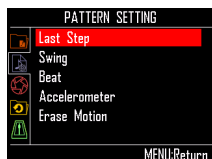
■出力先の選択 (Output Routing)

-  でメトロノームの出力先を選択する
PHONES、OUTPUT、PHONES+OUTPUT
から選択できます。

パターンの設定

1.  を押す

2.  で PATTERN SETTING を選択して、 を押す
パターン設定画面が表示されます。



3.  でメニュー項目を選択して、 で決定する
 を押すとメニュー階層が1段階戻ります。

■ステップ数の設定 (Last Step)

ステップ数を変更することで、パターン全体の長さを設定できます。

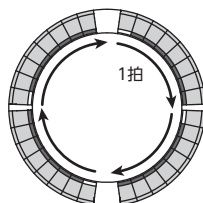
-  でパターン全体のステップ数を設定する
1 から 32 までの範囲で指定できます。

■Swing の設定 (Swing)

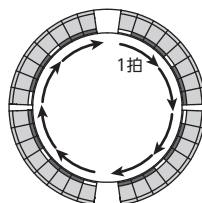
-  でスイング量 (リズムの跳ね具合) を設定する
Swing は ± 50% の範囲で指定できます。

■Beat の設定 (Beat)

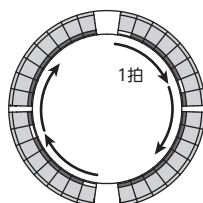
-  で 1 ステップの長さを指定する
1 ステップの長さは、1 小節の分割数で指定します。
32、16、16Tri、8Tri の中から選択できます。



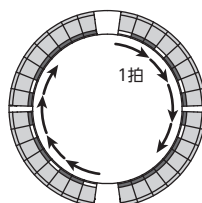
Beat=32の場合
8ステップで1拍
1周が1小節



Beat=16の場合
4ステップで1拍
1周が2小節



Beat=16Triの場合
6ステップで1拍
1周が1小節



Beat=8Triの場合
3ステップで1拍
1周が2小節

HINT

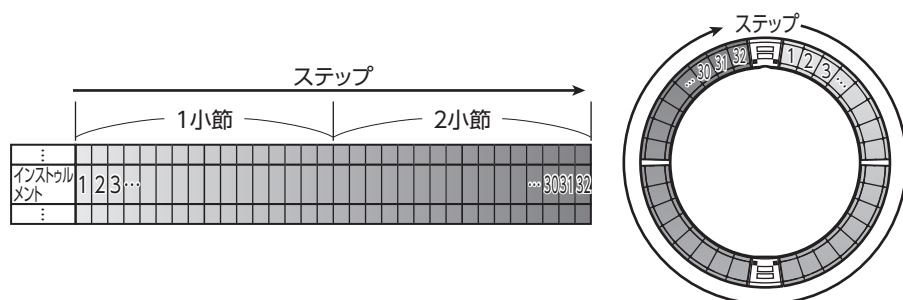
Beat の設定によって、リングコントローラーの 1 周に対応する小節数が変わります。

STEP モード

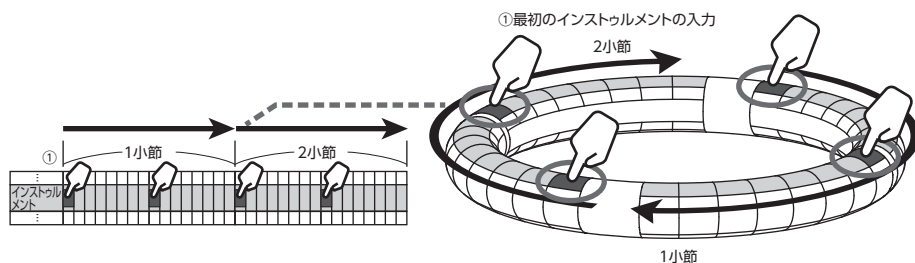
STEP モードの概要

STEP モードでは、パターンをステップ単位で入力して作成します。

このモードでは、リングコントローラーのリング方向のパッド 1 つずつが 1 つのステップに対応します。



リングコントローラーの 1 周は 32 ステップに分割されているため、2 小節分のステップ入力をまとめて行うことができます (①) (最小ステップを 16 分音符にした場合)。

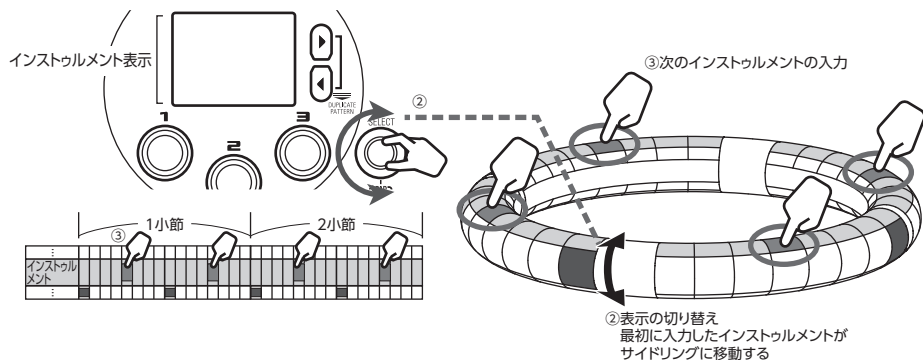


STEP モードの概要のつづき

PAD レイアウトの場合：

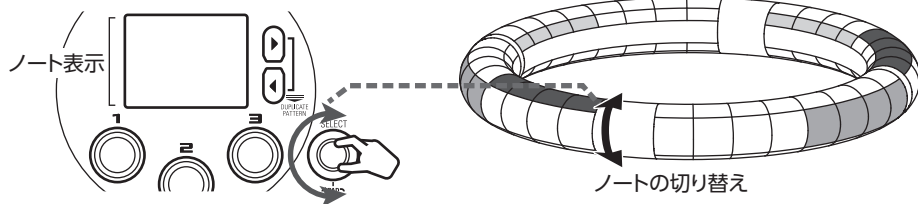
リングコントローラーの5つ（ガイドライン表示時は3つ）のリングはそれぞれ異なるインストールメントを表示します。どのリングにどのインストールメントを表示させるかは、 で切り替えることができます（②）。

複数のインストールメントをリングコントローラーに表示できるので、入力済みのインストールメントを確認しながら、次のインストールメントの入力を進められます（③）。



KEY レイアウトの場合：

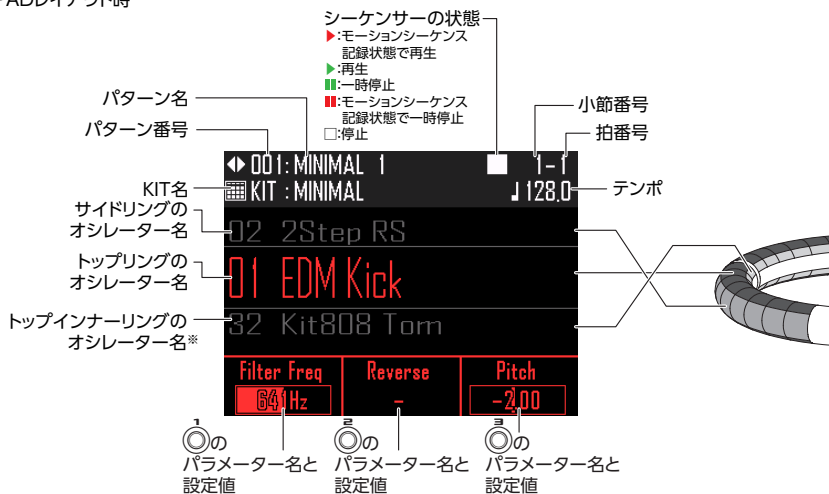
 で入力するノートを選ぶことができます。



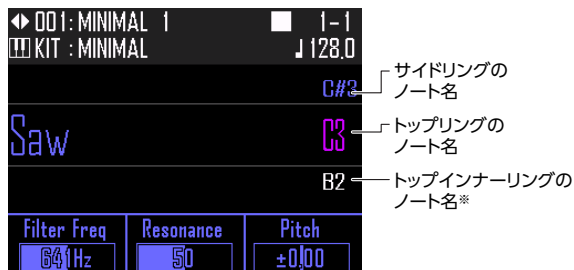
STEP モードの概要のつづき

画面の説明

■PADレイアウト時



■KEYレイアウト時



※ガイドライン表示時、リングコントローラーには表示されません

操作の流れ

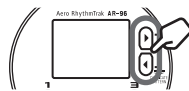
STEPモードに入る

STEP を押して、STEPモードに入ります。



パターンを選ぶ

0 でパターン番号を選びます。



音色のセットを選ぶ

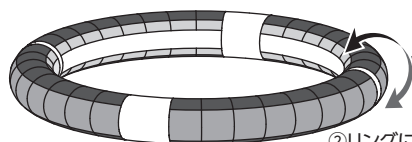
KIT を押して、**SELECT** で作成するパターンに適した音色のセット(KIT)を選びます。

EDIT を押して音色を編集することもできます。

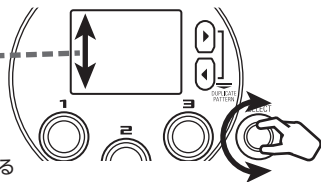


入力するインストゥルメントを選ぶ

SELECT で32のインストゥルメントの中から、入力に使用するインストゥルメントを選び、リングコントローラーのトップリングに移動させます。



②リングに表示されるインストゥルメント色が移動する



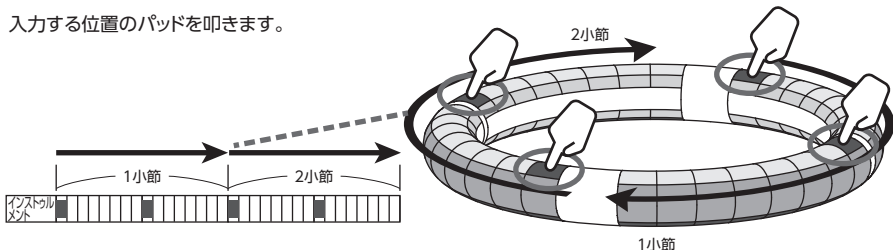
KEYレイアウトを入力する場合は、**SELECT** を押してモードを切り替えます。

①入力するインストゥルメントを
SELECT で選択する

1つの入力が終わったら、別のインストゥルメントに切り替える

ステップ入力

入力する位置のパッドを叩きます。



準備

■モードに入る

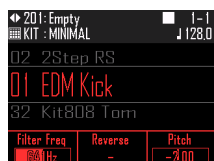
1.  を押す

■パターンの選択

入力するパターンを選びます。

1.  でパターンを選択する

選択したパターン名が LCD 画面に表示されます。



■音色の選択

各インストゥルメントに割り当てる音色を、ジャンルや用途に合わせた音色のセット (KIT) から選択します。(→ P.25)

パターンのステップ入力

パターンの入力

■インストゥルメントの選択

1. **SELECT**  で入力するインストゥルメントを選択する

入力するインストゥルメントを、LCD画面の中央に表示させます。

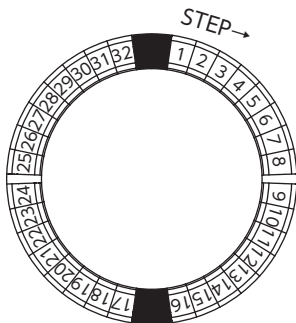


CONTROLLER 入力するインストゥルメントはリングコントローラのトップリングに表示されます。

■パターンの入力

1. **CONTROLLER** 入力するステップに対応したパッドを叩く

叩いたパッドのLEDがインストゥルメント色に点灯します。



HINT

叩く強さに応じてベロシティが変わるように設定できます。(→ P.104)

2. **CONTROLLER** 入力したステップを消去するには、そのパッドをもう一度叩く
ステップが消去され、LEDが消灯します。

■パターンの再生

1.  を押す
再生が開始され、 が点灯します。
2. 一時停止するには、 をもう一度押す
再生が一時停止し、 が点滅します。
3. 再生を終了するには、 を押す
再生が終了し、 が消灯します。

音階の変更

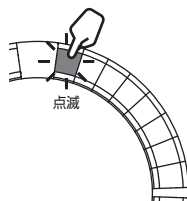
KEY レイアウトの場合、入力する音階を変更できます。

1. KEY レイアウトを選択中に  を回す
音階が変更されます。

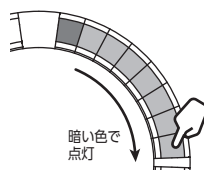
音の長さの変更

入力する音の長さ（ノート長）を変更できます。

1.  入力するステップ
に対応したパッドを長押しする
押したパッドが点滅します。



2.  音の終了位置の
パッドを叩く
ノート長が変更されます。



HINT

ノート長を変更したステップ範囲は、暗い色で点灯します。

NOTE

オシレーター一覧（→P.117）でLOOPが×の項目については、ノート長が変更できません。

キーリピート

キーリピートを使用すると、ステップの繰り返し入力をまとめて行うことができます。

1. を押し続ける

キーリピートの設定が画面に表示されます。



2. キーリピートの早さを変更するに

は、 を回す

1 小節の分割数で設定します。1/32、1/16、1/8、1/4、1/2の中から選択できます。

3. を押しながら

パッドを叩く

叩いたパッドの位置から1周分の範囲で、ステップが繰り返し入力されます。

パターンの消去

インストゥルメント全体の消去

1.  で消去するインストゥルメントを選択する

 CONTROLLER  を押して、消去するインストゥルメントをリングコントローラーのトップリングに表示します。

3.  を押す

確認のメッセージが表示されます。

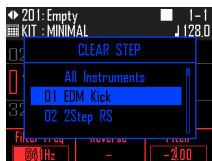
4.  で Yes を選択して、 を押す

選択したインストゥルメントに登録したステップがすべて消去されます。

2.  を押す

CLEAR 画面が表示されます。

キャンセルする場合は、もう一度  を押します。



HINT

- CLEAR 画面で  を回して、消去するインストゥルメントを選択することもできます。ここで「All Instruments」を選択すると、シーケンス全体を消去します。
- KEY レイアウトの場合、消去の対象はノートになります。ここで「All Notes」を選択すると、KEY レイアウトのシーケンス全体を消去します。

テンポの設定

適切なテンポに設定します。(→ P.25)

パターンの管理

モーションシーケンス

作成したパターンを再生しながら、各インストゥルメントの音質やエフェクトのパラメーター設定を変更し、その内容をリアルタイムに記録することができます。

記録した内容はパターンの一部として保存され、再生時に再現されます。

HINT

パターンの再生中に手動でパラメーターを変更すると、モーションシーケンスに記録されているパラメーターは無視されます。

モーションシーケンスの記録

1. モーションシーケンスを記録するパターンを選択する



2. [Enter] を長押しする

[Enter] が点滅して、スタンバイ状態になります。

3. [Play/Pause] を押す

[Play/Pause] が点灯し、プリカウントに続いてパターンの再生が始まります。

4. エフェクトキーの操作や、パラメーターの変更などを行う

操作内容が、モーションシーケンスとして記録されます。

エフェクトの設定 (→ P.89)

パラメーターの設定 (→ P.90)

HINT

- 最初にパラメーターが操作された時点で記録が始まり、開始から1ループで記録が終了します。
- 一度記録したパラメーターを再記録すると、新しい内容で上書きされます。

5. 記録が終わったら、[Enter] または [Stop] を押す

HINT

パラメータータイプの変更は記録されません。

モーションシーケンスの消去

1. モーションシーケンスを消去する
パターンを選択する
2. を押す
3. で PATTERN SETTING を選択して、で決定する
4. で Erase Motion を選択して、で決定する
5. で消去するパラメーターを選択し、で決定する
確認画面が表示されます。
6. で Yes を選択して、を押す
選択したパラメーターが消去されます。

パターンリストの管理

個別のパターンの読み込みやコピー、消去などは、パターンリストを使用していきます。

パターンの管理

1. を押す

2. で PATTERN LIST を選択して、 を押す

3. で管理するパターンを選択して、 を押す

パターンメニューが表示されます。



4. でメニュー項目を選択して、 で決定する

 を押すとメニュー階層が 1 段階戻ります。

■ パターンの読み込み (Select)

-  を押す
パターンリストから、選択したパターンを読み込みます。

HINT

パターンを再生中の場合、現在再生されている小節の再生後に切り替わります。

■ パターンのコピー (Copy)

-  を押す
コピー先のパターンを選択する画面が表示されます。
-  でコピー先のパターンを選択して、 を押す
確認画面が表示されます。
-  で Yes を選択して、 を押す
先に選択したパターンの内容を、後で選択したパターンに上書きコピーします。

■ パターンの消去 (Erase)

-  を押す
確認画面が表示されます。
-  で Yes を選択して、 を押す
リストから選択したパターンを消去します。

■ パターン名の変更 (Rename)

-  を押す
文字入力画面が表示されます。
- パターン名を編集してから [Enter] を選択して、 を押す
パターン名が変更されます。

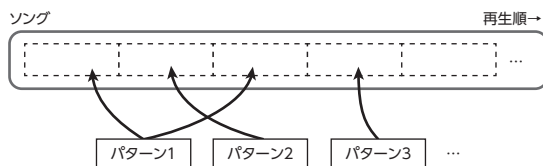
HINT

文字入力画面の操作 (→ P.20)

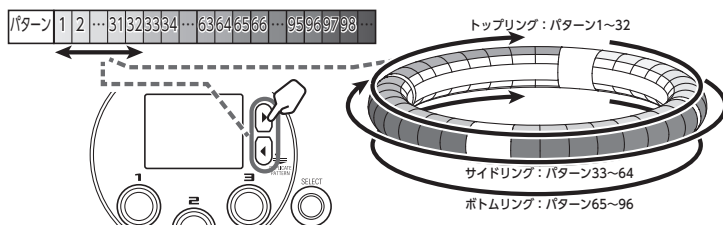
SONG モード

SONG モードの概要

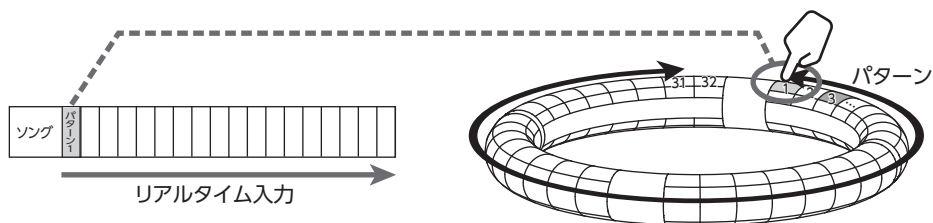
SONG モードでは、作成した複数のパターンを組み合わせることで一つの曲（ソング）を完成させます。



すべてのパターンのうち 96 パターン（トップリング、サイドリング、ボトムリングに各 32 パターン）の範囲がパッドに割り当てられます。割り当てる範囲は、**8** を押してリング単位で変更することができます。パッドを叩くことで、割り当てられたパターンの再生が始まります。

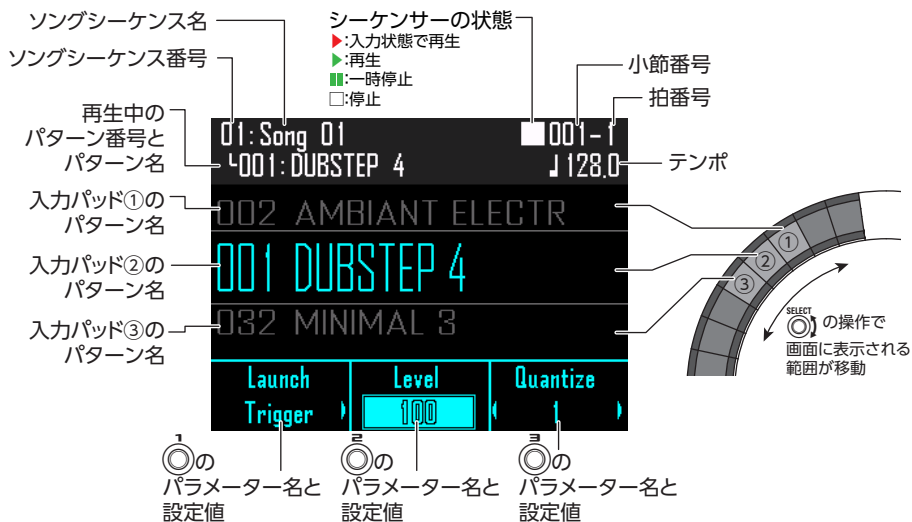


準備ができればリアルタイム入力を開始し、再生するパターンのパッドを叩きます。



SONG モードの概要のつづき

画面の説明



操作の流れ

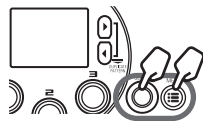
SONGモードに入る

SONGを押して、SONGモードに入ります。



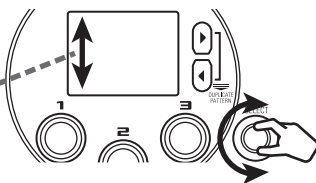
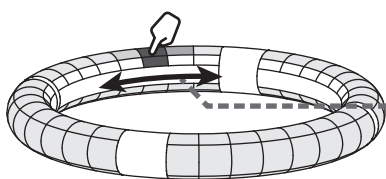
ソングを選ぶ

MENUでソングシーケンスリストを表示して、**SELECT**と**SELECT**でソングを選びます。



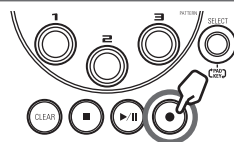
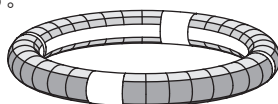
再生するパターンを選ぶ

パッドを叩くか、**SELECT**で選択するパターンを切り換えて、再生するパターンを選びます。



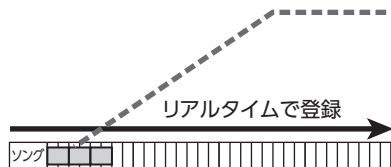
入力を開始する

ENTERを押すとリアルタイム入力が始まります。

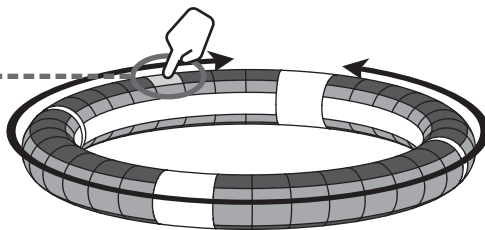


ソング作成

再生するパターンのパッドを叩き、リアルタイムで再生しながら登録します。



リアルタイムで登録



入力を終了する

STOPを押すとソングの入力が終了します。



準備

■モードに入る

1.  を押す

■ソングの選択

入力するソングを選びます。

1.  を押す

2.  で SONG SEQUENCE LIST
を選択して、 を押す
ソング一覧が表示されます。

3.  でソングを選択して、 を
押す
ソングメニューが表示されます。

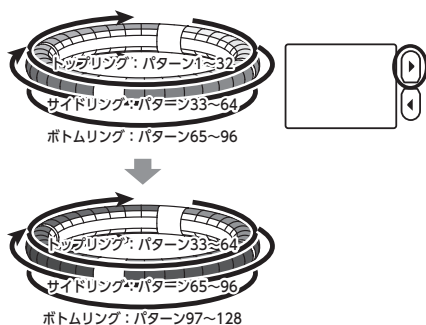
4.  で Select を選択して、 を
押す
ソングが読み込まれます。

ソングの作成

パターンの選択

1.  で登録するパターンを含む範囲をリングコントローラーに表示させる

すべてのパターンのうち 96 パターンの範囲がパッドに割り当てられます。
 を押すたびにリング単位でパターンの割り当てが移動します。



2.  で、パターンを選択する

 **CONTROLLER**  を押して、使用するパターンを選択します。

選択したパターン名が LCD 画面に表示されます。

HINT

- ・リングコントローラーのパッドを叩くと、パターンの選択と試聴を同時に行えます。
- ・パターンを選択した状態で  を押すと、そのパターンの設定画面を表示できます。(→ P.86)

リアルタイム入力

1.  を押す

カウントが開始されます。

2.  **CONTROLLER** パッドを叩き、登録するパターンを指定する

叩いたパッドは、パターンのアニメーションタイプの設定 (→ P.86) に従って点灯します。

HINT

- ・アニメーションが全く設定されていない場合、叩いたパッドは白く点灯します。
- ・アニメーションが 1 つでも設定されている場合、叩いたパッドはアニメーション表示されるか、パターン色で点灯します。
- ・ のパターン再生方法の設定 (→ P.53) によって、パターン再生後の動作が異なります。

3.  **CONTROLLER** 続けてパッドを叩き、パターンを登録する

HINT

- ・パターンの切り替わるタイミングは、パターンのクォンタイズ設定とパターンの再生方法の設定 (→ P.53) によって異なります。
- ・ソングの小節数は最大 999 です。これを超えるとソングの作成は停止します。

4. 登録が終わったら、 を押す
ソングの作成が終了します。

ソングの再生

1. を押す

ソングの再生が開始されます。
再生中のパッドは、パターンアニメーションタイプの設定 (→ P.86) に従って点灯します。

HINT

- ・アニメーションが全く設定されていない場合、再生中のパッドは白く点灯します。
- ・アニメーションが1つでも設定されている場合、再生中のパッドはアニメーション表示されるか、パターン色で点灯します。

2. 一時停止するには、を押す

が点滅します。
再開するには、再度 を押します。

3. 再生を終了するには、を押す

再生が終了し、再生位置が先頭に戻ります。

全てのパターンの消去

1. を押す

LCD 画面に確認メッセージが表示され、
が点灯します。

2. で Yes を選択する

全てのパターンが消去されます。

ソングシーケンスリストの管理

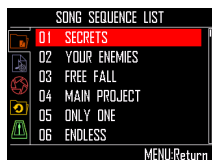
ソングシーケンスリストの管理

1. を押す

2. で SONG SEQUENCE LIST

を選択して、を押す

ソングシーケンスリストが表示されます。



3. で操作するソングを選択して、

を押す

ソングメニューが表示されます。



4. でメニュー項目を選択して、

で決定する

を押すとメニュー階層が1段階戻ります。

■ソングの消去 (Erase)

- を押す
確認画面が表示されます。
- で Yes を選択して、を押す
選択したソングを消去します。

■ソングのコピー (Copy)

- を押す
コピー先のソングを選択する画面が表示されます。
- でコピー先のソングを選択して、を押す
確認画面が表示されます。
- で Yes を選択して、を押す
先に選択したソングの内容を、後で選択したソングに上書きコピーします。

■ソング名の変更 (Rename)

- を押す
文字入力画面が表示されます。
- ソング名を入力してから [Enter] を選択して、を押す
ソング名が変更されます。

HINT

文字入力画面の操作 (→ P.20)

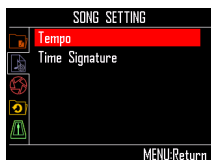
ソングの設定

テンポの同期設定

ソングを再生する時のテンポを、パターンごとの設定に合わせるか、ソング全体で統一するかを設定します。

1. を押す

2. で SONG SETTING を選択して、を押す
ソング設定画面が表示されます。



3. で Tempo を選択して、を押す
テンポ設定画面が表示されます。

4. で同期の種類を選択して、を押す
Song：全体のテンポを統一します。
Pattern：パターンごとのテンポを使用します。

拍子の設定

ソングを再生する時の拍子を設定します。

1. を押す

2. で SONG SETTING を選択して、を押す
ソング設定画面が表示されます。

3. で Time Signature を選択して、を押す
拍子設定画面が表示されます。

4. で拍子を選択して、を押す
1/4 ～ 8/4 のの中から選択できます。

ミキシング

1. を押す

ミキサー画面が表示されます。
INPUT 端子から入力された音声のセンドエフェクトおよびレベルを設定できます。

HINT

ミキサー (→ P.92)

パターンの設定

■パターン再生方法の設定

パターン再生後の動作を設定できます。

1. パターンを選択する

2. で再生方法を変更する

One Shot: 1 回だけパターンを再生し、停止します。

Trigger: 次のパターンを選択するか、STOP キーを押すまで同じパターンをループ再生し続けます。

Toggle: パッドを叩くたびにパターンの再生・停止を交互に行います。パターンの停止中は、無音の状態で録音が継続されます。

■パターンレベルの設定

1. パターンを選択する

2. でレベルを変更する

■パターンのフォントサイズ設定

1. パターンを選択する

2. でフォントサイズを変更する

HINT

フォントサイズは以下の場合にかかります。

- ・パターンを切り替えたとき（切り替え先のフォントサイズが有効）
- ・Toggle を停止したとき

■パターンのパッドカラーの設定

EDIT 画面で設定します。(→ P.86)

■LED アニメーションタイプの設定

EDIT 画面で設定します。(→ P.86)

■LED アニメーションタイミングの設定

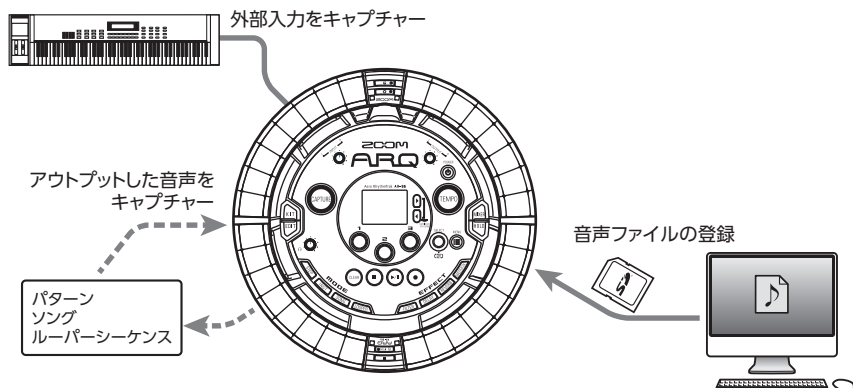
EDIT 画面で設定します。(→ P.86)

キャプチャー

キャプチャーの概要

AR-96 の各モードで再生中の音声や、INPUT 端子からの入力をキャプチャー（録音）できます。また、SD カードに保存した WAV ファイルの内容をキャプチャー素材として登録することもできます。

キャプチャーした音声は LOOPER モードで使用可能です。



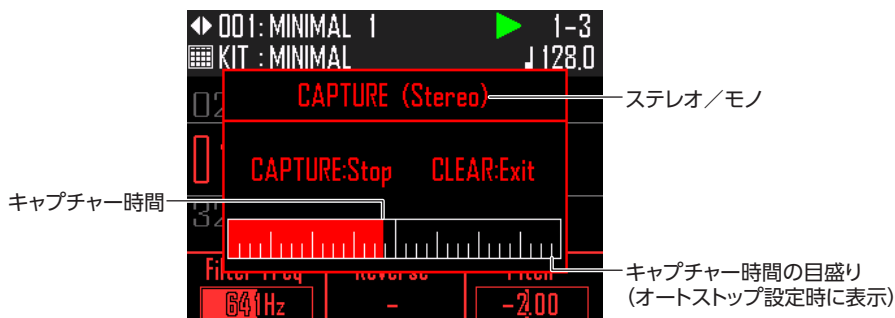
HINT

キャプチャーは 96 個まで登録できます。

NOTE

キャプチャーした音声のデータは SD カード内に保存されます。SD カードを取り外したり、別の SD カードと入れ替えるとキャプチャーが使用できなくなりますのでご注意ください。

画面の説明



操作の流れ

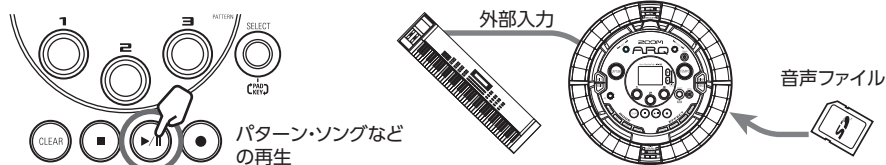
キャプチャーモードを選択する

キャプチャーする素材に合わせて、モードを選択します。

- ・パターンやソングを使用する、または外部入力とパターン・ソングを組み合わせる
…… Audio Input + Internal Sound
- ・外部入力だけを使用する …… Audio Input

キャプチャー素材を再生する

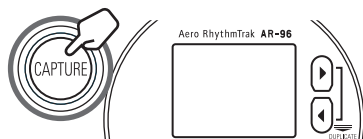
- ・キャプチャー素材として使用するパターンやソングなどを再生します。(Audio Input + Internal Sound モード)
- ・INPUT 端子に接続した音源から入力します。(Audio Input モード、Audio Input + Internal Sound モード)



SD カードに保存した音声ファイルを取り込むこともできます。

キャプチャーを開始する

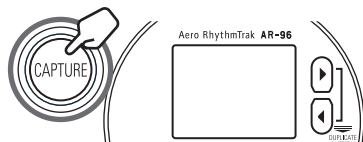
を押してキャプチャーを開始します。



キャプチャーを終了する

もう一度 を押してキャプチャーを終了します。

キャプチャー終了後に表示される設定画面で、ルーパーに使用する範囲などの設定を行うこともできます。



保存する

を押してキャプチャーを保存します。

表示される画面で、キャプチャー番号とキャプチャー名を指定します。



音声をキャプチャーする

キャプチャーモードの選択

キャプチャーする音声の種類を選択します。

1. を押す

2. で CAPTURE を選択して、
を押す

3. で Mode を選択して、を押す

Audio Input + Internal Sound モード：パターンやソングなどの内蔵音源をキャプチャーします。INPUT 端子に入力した音声とのミックス音をキャプチャーすることもできます。

このモードではクオンタイズの設定が可能です。

Audio Input モード：INPUT 端子に入力した音声のみをキャプチャーします。クリック音が再生されるので、外部音源を使った演奏をキャプチャーするのに適しています。

このモードではプリカウントとガイド用クリック音の設定が可能です。

内蔵音源のキャプチャー

HINT

内蔵音源をキャプチャーする場合、Audio Input + Internal Sound モードを選択する必要があります。

1. キャプチャーするパターン、ソングなどを再生する

HINT

INPUT 端子に音声を入力しながら行うことで、両方の音をミックスしたキャプチャーができます。

2. を押す

キャプチャー画面が表示され、キャプチャーが開始されます。



HINT

- ・1 つにつき最大で 6 分間のキャプチャーが可能です。
- ・クオンタイズの設定を行うと、を押すタイミングを補正することができます。(→ P.61)
- ・キャプチャー中にエフェクトの ON/OFF やパラメーターの操作を行うと、その変化を記録することができます。

3. 音声をキャプチャーしたら、

を押す

キャプチャー設定画面が表示され、キャプチャーの調整と保存を行うことができます。(→ P.57)

外部入力のカプチャー

HINT

パターンやソングをミックスせず外部入力だけをキャプチャーする場合は、Audio Input モードを選択してください。

1. ベースステーションの INPUT 端子に、キャプチャー素材の楽器やオーディオ機器などを接続する

HINT

外部入力がモノラル音源の場合、外部入力のステレオ/モノラル設定を確認してください。(→ P.95)

2. 接続した機器で演奏や再生を開始

し、を押す

キャプチャー画面が表示され、キャプチャーが開始されます。



HINT

- ・プリカントを設定すると、開始のタイミングが合わせやすくなります。(→ P.61)
- ・ガイドフリックを設定すると、リズムを合わせやすくなります。(→ P.62)

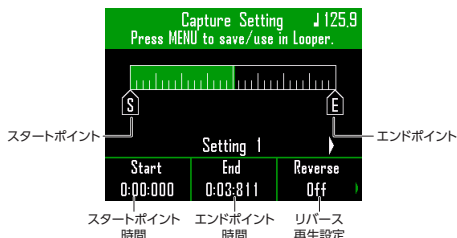
3. 音声をキャプチャーしたら、

を押す

キャプチャー設定画面が表示され、キャプチャーの調整と保存を行うことができます。

キャプチャーの調整と保存

1. 音声のキャプチャーが終了すると、キャプチャー設定画面が表示される
キャプチャーした音声が入力ループ再生されます。



HINT

- ・で再生と一時停止を切り替えます。
- ・で再生を停止し、再生位置をスタートポイントに戻します。
- ・リングコントローラーの任意のパッドを押すと、対応する位置から再生が始まります。リング 1 周がスタートポイントからエンドポイントまでの長さに対応します。
- ・再生時には、キャプチャーの再生位置に対応してプレイバックポジションが点灯します。

2. キャプチャーした音声を編集する場合、、、を操作する

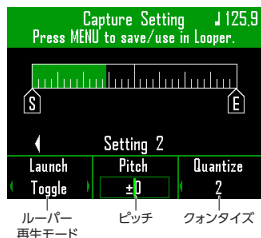
 スタートポイント：キャプチャーの再生開始位置を変更します。

 エンドポイント：キャプチャーの再生終了位置を変更します。

 リバース再生：キャプチャーの再生方向を変更します。

これらの設定はただちに再生音に反映されます。

3. でページを切り替える



4. でルーパーでの再生モードを設定する

One Shot : 1 回だけキャプチャーを再生し、停止します。

Toggle : パッドを叩くたびにキャプチャーの再生・停止を交互に行います。

Gate : パッドを押している間だけキャプチャーがループ再生され、離すと再生が停止します。

5. 、 を操作して、その他の設定を行う

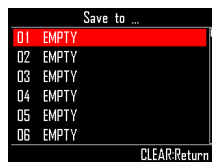
 ピッチ : キャプチャーのピッチを変更します。

 クオンタイズ : ルーパーで使用する時の切り換えのタイミングを、1 小節の分割数で指定します。OFF、1/32、1/16Tri、1/16、1/8Tri、1/8、1/4、1/2、1、2 から選択できます。

6. を押して、 でキャプチャーのテンポを設定する

7. を押す

保存画面が表示されます。



8. で保存するキャプチャー番号を選択する

9. を押す

キャプチャー名の編集画面が表示されます。

HINT

- ・文字入力画面の操作 (→ P.20)
- ・大文字英数字と "_" のみ使用できます。

10. キャプチャー名を編集してから [Enter] を選択して、 を押す

選択したキャプチャリストの番号に保存されます。

HINT

キャプチャーの途中でいずれかのモードキーまたは  を押すと、キャプチャーを中止できます。

音声ファイルを取り込む

WAV ファイルのキャプチャーリストへの登録

SD カードに保存された WAV ファイルをキャプチャーとして登録できます。

1. SDカードの“AR-96”フォルダ内の“Capture”フォルダに、登録するWAVファイルを保存する

HINT

以下の条件を満たすファイルが登録可能です。

- ・ 44.1kHz/16bit の PCM 音声 を記録した WAV フォーマット
- ・ 再生時間が 6 分以内
- ・ ファイル名は 8 文字以内の英数字のみ

WAV ファイルに Logic 形式のテンポ情報が含まれる場合は、その情報を読み込むことができます。

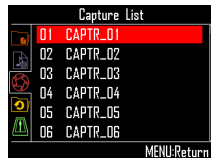
2. SD カードをベースステーションにセットして、電源を ON にする

3.  を押す

4.  で CAPTURE を選択して、 を押す

5.  で Capture List を選択して、 を押す

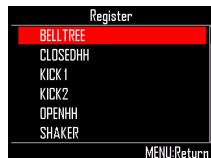
キャプチャー一覧が表示されます。



6.  で保存するキャプチャー番号を選択して、 を押す

7.  で Register を選択して、 を押す

SD カード内のファイルリストが表示されます。



8.  で登録するファイルを選択して、 を押す

選択した音声ファイルがキャプチャーと関連づけられ、キャプチャー設定画面が表示されます。(→ P.57)

HINT

キャプチャーは元のファイルと同じ名称になります。ただし、ファイル名に英数字以外の文字を使用したり、文字数が 8 文字を超えている場合は、省略名で表示されます。

9. キャプチャーした音声の調整を行い、 を押す

キャプチャーの設定

オートストップの設定

キャプチャを開始後、一定のタイミングで自動終了するように設定できます。

1. を押す

2. で CAPTURE を選択して、
を押す

3. で Auto Stop を選択して、
を押す

4. で タイミング を選択して、
を押す

OFF、四分音符×1～32 から選択できます。



HINT

オートストップを OFF 以外に設定すると、キャプチャー中の時間表示に目盛りが表示されます。

ステレオ／モノラルの切り替え

保存するキャプチャ音声のステレオ／モノラルを切り替えます。

1. を押す

2. で CAPTURE を選択して、
を押す

3. で Stereo/Mono を選択して、
を押す

4. で設定を切り替え、
Stereo、Mono から選択できます。



キャプチャーの設定のつづき

フォントाइズの設定

再生中のパターンをキャプチャーする場合、ボタンを押すタイミングをフォントाइズすることができます。

HINT

フォントाइズは Audio Input + Internal Sound モードを選択している場合に使用できます。

1.  を押す
2.  で CAPTURE を選択して、
 を押す
3.  で Quantize を選択して、
 を押す
4.  でフォントाइズ量を選択して、
 を押す
入力を揃えるタイミングを、1 小節の分割数で指定します。OFF、1/32、1/16Tri、1/16、1/8Tri、1/8、1/4、1/2、1 から選択できます。

プリカウントの設定

キャプチャ開始時にプリカウントを再生することができます。

HINT

- ・プリカウントは Audio Input モードを選択している場合に使用できます。
- ・ここで設定した内容は、キャプチャーだけに有効です。

1.  を押す
2.  で CAPTURE を選択して、
 を押す
3.  で Precount を選択して、
 を押す
4.  でクリック間隔を選択して、
 を押す
OFF、1 ～ 8、Special から選択できます。

ガイドクリックの設定

キャプチャ中にガイド用のクリック音を再生することができます。

HINT

ガイドクリックは Audio Input モードを選択している場合に使用できます。

1.  を押す

2.  で CAPTURE を選択して、
 を押す

3.  で Guide Click を選択して、
 を押す

4.  でクリック間隔を選択して、
 を押す
1/2、1/4、1/8、1/16 から選択できます。

キャプチャーリストの管理

キャプチャーリストの管理

1. を押す

2. で CAPTURE を選択して、
を押す

3. で Capture List を選択して、
を押す
キャプチャー一覧画面が表示されます。

4. で操作するキャプチャーを選択して、
を押す
キャプチャーメニューが表示されます。

5. でメニュー項目を選択して、
で決定する
を押すとメニュー階層が1段階戻ります。

■キャプチャーの登録解除 (Unregister)

- を押す
確認画面が表示されます。
- で Yes を選択して、を押す
選択したキャプチャーがキャプチャーリストから消去されます。

HINT

キャプチャーリストから登録を解除しても、SDカード内の音声ファイルは削除されません。

■キャプチャーのコピー (Copy)

- を押す
コピー先キャプチャーの選択画面が表示されます。
- でコピー先のキャプチャーを選択して、を押す
確認画面が表示されます。
- で Yes を選択して、を押す
先に選択したキャプチャーに関連づけられた音声ファイルがコピーされ、コピーしたファイルとコピー先のキャプチャーを関連づけます。

■キャプチャー名の変更 (Rename)

- を押し、キャプチャー名の入力画面を表示する
- キャプチャー名を入力して [Enter] を押す
キャプチャー名が変更されます。

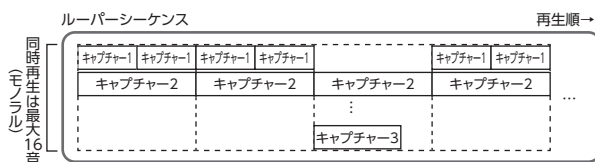
HINT

文字入力画面の操作 (→ P.20)

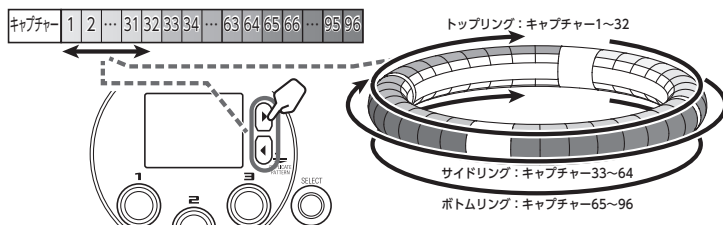
LOOPER モード

LOOPER モードの概要

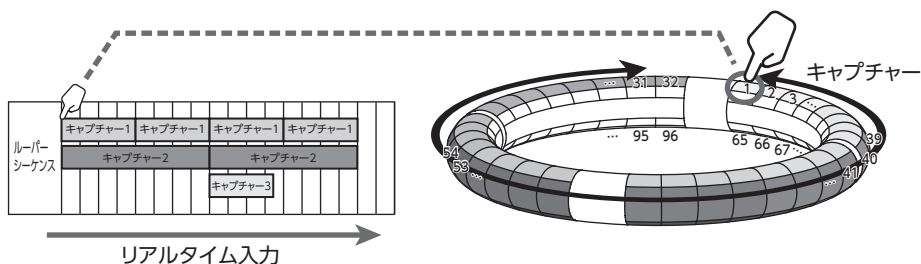
LOOPER モードでは、作成済みのパターンやソング、INPUT 端子からの入力、WAV ファイルなどのキャプチャー素材を組み合わせ、ルーパーシーケンスとしてひとつの曲にまとめることができます。



リングコントローラーのトップリング、サイドリング、ボトムリングに各 32 キャプチャーが割り当てられます。パッドを叩くことで、割り当てられたキャプチャーの再生が始まります。



準備ができればリアルタイム入力を開始して、再生するキャプチャーのパッドを叩きます。最大で 16 のモノラルキャプチャーを同時に再生することができます。

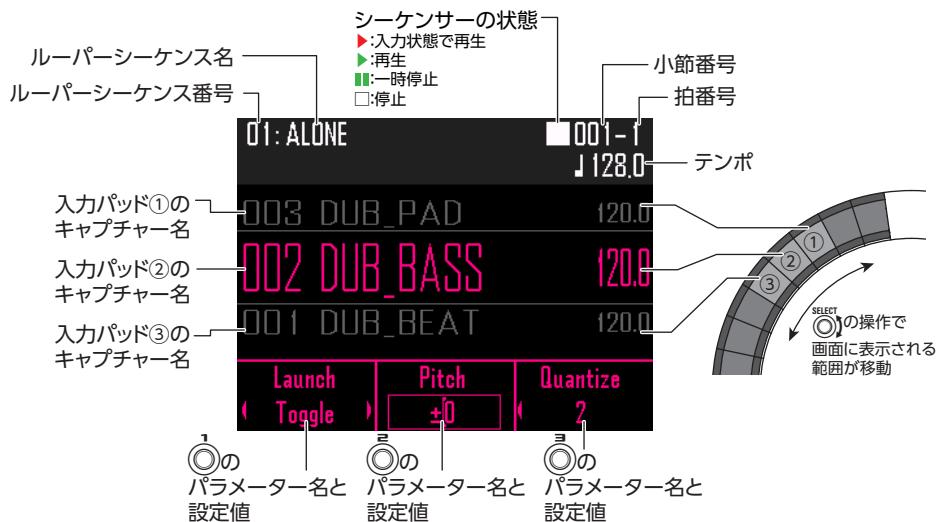


HINT

キャプチャーの作成方法についてはキャプチャー (→ P.54) を参照してください。

LOOPER モードの概要のつづき

画面の説明



操作の流れ

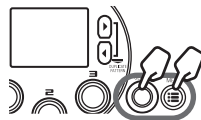
LOOPERモードに入る

LOOPERを押して、LOOPERモードに入ります。



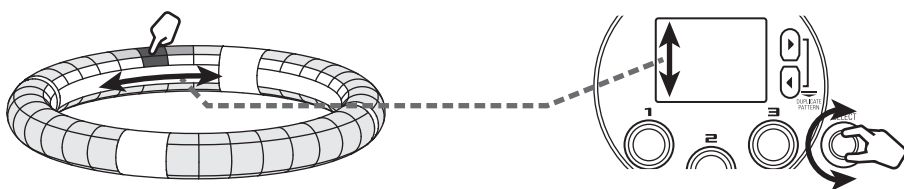
ルーパーシーケンスを選ぶ

MENUでルーパーリストを表示して、**SELECT**と**SELECT**でルーパーシーケンスを選びます。



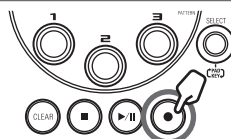
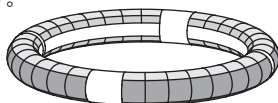
再生するキャプチャーを選ぶ

パッドを叩くか、**SELECT**で選択するキャプチャーを切り換えて、再生するキャプチャーを選びます。



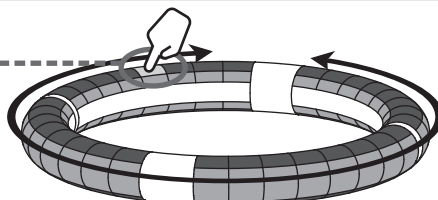
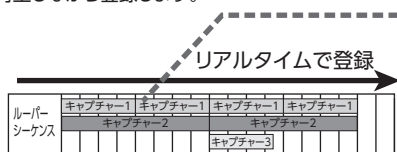
入力を開始する

STARTを押すとリアルタイム入力が始まります。



ルーパーシーケンス作成

再生するキャプチャーのパッドを叩き、リアルタイムで再生しながら登録します。



入力を終了する

STOPを押すとルーパーシーケンスの入力が終了します。



準備

■モードに入る

1. **LOOPER** を押す

■ルーパーシーケンスの選択

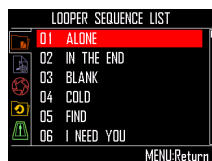
1. **MENU** を押す

2. **SELECT** で LOOPER SEQUENCE

LIST を選択して、**SELECT** を押す

ルーパーシーケンス一覧が表示されます。

3. **SELECT** でルーパーシーケンスを選択して、**SELECT** を押す



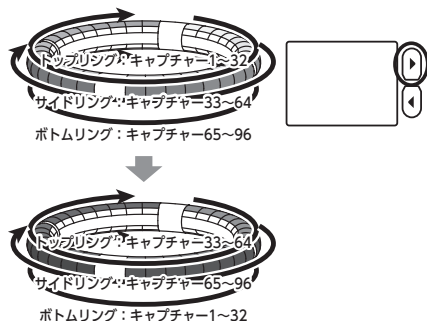
4. **SELECT** で Select を選択して、**SELECT** を押す

ルーパーシーケンスが選択されます。

ルーパーシーケンスの作成

キャプチャーをルーパーシーケンスに登録

1.  でリングコントローラーへのキャプチャーの割り当てを変更する
 を押すたびにリング単位でキャプチャーの割り当てが移動します。



2.  で、キャプチャーを選択する

  を押して、使用するキャプチャーを選択します。

選択したキャプチャー名がLCD画面に表示されます。

HINT

- ・リングコントローラーのパッドを叩くと、キャプチャーの選択と試聴を同時に行えます。
- ・キャプチャーを選択した状態で  を押すと、そのキャプチャーの設定画面を表示できます。(→P.87)

3.  を押す

プリカウントが始まり、ルーパーシーケンスの記録が開始されます。

4.  キャプチャー番号

に対応したパッドを叩く

叩いたパッドは、キャプチャーのアニメーションタイプの設定 (→P.88) に従って点灯します。

HINT

- ・アニメーションが全く設定されていない場合、叩いたパッドは白く点灯します。
- ・アニメーションが1つでも設定されている場合、叩いたパッドはアニメーション表示されるか、キャプチャーの色で点灯します。
- ・キャプチャーは同時に16個(モノラルの場合)まで再生できます。
- ・キャプチャーの再生モードの設定 (→P.70) によって、キャプチャー再生後の動作が異なります。

5.  続けてパッドを叩き、キャプチャーを登録する

HINT

キャプチャーの再生が始まるタイミングは、キャプチャーのクオンタイズ設定 (→P.70) によって異なります。

6. 登録が終わったら、 を押す
ルーパーシーケンスの記録が終了します。

ルーパーシーケンスの再生

1. を押す

ルーパーシーケンスの再生が開始されます。

再生中のパッドは、パターンアニメーションタイプの設定 (→ P.88) に従って点灯します。

HINT

- ・アニメーションが全く設定されていない場合、再生中のパッドは白く点灯します。
- ・アニメーションが1つでも設定されている場合、再生中のパッドはアニメーション表示されるか、キャプチャーの色で点灯します。

2. 一時停止するには、を押す

が点滅します。

再開するには、再度 を押します。

3. 再生を終了するには、を押す

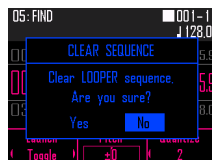
再生が終了し、再生位置が先頭に戻ります。

ルーパーシーケンス全体の消去

1. を押す

LCD画面に確認メッセージが表示され、

が点灯します。



2. でYesを選択して、を押す

ルーパーシーケンスに記録した全ての内容が消去されます。

ルーパーシーケンスの設定

キャプチャーの設定

■キャプチャー再生方法の設定

キャプチャー再生後の動作を設定できます。

1. キャプチャーを選択する

2. で再生方法を変更する

One Shot : 1 回だけキャプチャーを再生し、停止します。

Toggle : パッドを叩くたびにキャプチャーの再生・停止を交互に行います。

Gate : パッドを押している間だけキャプチャーがループ再生され、離すと再生が停止します。

■キャプチャーのピッチの設定

1. キャプチャーを選択する

2. でピッチを変更する

■キャプチャーのフォントサイズ設定

1. キャプチャーを選択する

2. でフォントサイズを変更する

HINT

フォントサイズは以下の場合にかかります。

- ・キャプチャーの再生を開始したとき
- ・Gate、Toggle を停止したとき

キャプチャーの詳細設定

キャプチャーの詳細設定は EDIT 画面で行います。

■キャプチャーレベルの設定

EDIT 画面で設定します。(→ P.87)

■キャプチャーの同期設定

EDIT 画面で設定します。(→ P.87)

■キャプチャーのテンポ設定

EDIT 画面で設定します。(→ P.87)

■センドエフェクトの設定

EDIT 画面で設定します。(→ P.87)

■キャプチャーのパッドカラーの設定

EDIT 画面で設定します。(→ P.88)

■LED アニメーションタイプの設定

EDIT 画面で設定します。(→ P.88)

■LED アニメーションタイミングの設定

EDIT 画面で設定します。(→ P.88)

■キャプチャーの情報確認

EDIT 画面で確認します。(→ P.88)

拍子の設定

ルーパーシーケンスを再生する時の拍子を設定します。

1.  を押す

2.  で LOOPER SETTING を選択して、 を押す
ルーパー設定画面が表示されます。

3.  で Time Signature を選択して、 を押す
拍子設定画面が表示されます。

4.  で拍子を選択して、 を押す
1/4 ~ 8/4 の中から選択できます。

ミキシング

1.  を押す

ミキサー画面が表示されます。

INPUT 端子から入力された音声のセンドエフェクトおよびレベルを設定できます。

HINT

ミキサー (→ P.92)

ルーパーシーケンスの管理

ルーパーシーケンスの管理

1.  を押す

2.  で LOOPER SEQUENCE

LIST を選択して、 を押す

ルーパーシーケンス一覧が表示されます。

3.  で操作するルーパーシーケ

スを選択して、 を押す

ルーパーシーケンスメニューが表示されます。

4.  でメニュー項目を選択して、

 で決定する

 を押すとメニュー階層が 1 段階戻ります。

■ルーパーシーケンスの消去 (Erase)

-  を押す
確認画面が表示されます。
-  で Yes を選択して、 を押す
選択したルーパーシーケンスを消去します。

■ルーパーシーケンスのコピー (Copy)

-  を押す
コピー先のルーパーシーケンスを選択する画面が表示されます。
-  でコピー先のルーパーシーケンスを選択して、 を押す
確認画面が表示されます。
-  で Yes を選択して、 を押す
先に選択したルーパーシーケンスの内容を、後で選択したルーパーシーケンスに上書きコピーします。

■ルーパーシーケンス名の変更 (Rename)

-  を押す
文字入力画面が表示されます。
- ルーパーシーケンス名を編集してから
[Enter] を選択して、 を押す
ルーパーシーケンス名が変更されます。

HINT

文字入力画面の操作 (→ P.20)

KIT（音色セット）

KIT の概要

KIT は、各インストゥルメントに割り当てる音色を、ひとつのセットにまとめて管理する機能です。KIT を切り替えることで、ドラムセット、パーカッション、ベース、シンセサイザーなど、音楽ジャンルや用途に合わせた音色を簡単に利用することができます。

AR-96 には様々なジャンルに適したプリセット KIT が用意されています。また、プリセットの内容を自由にカスタマイズしたり、空の状態から KIT を作成することもできます。

画面の説明



KIT の選択

選択中のパターンを、別の KIT の音色に切り替えることができます。

1. を押す

KIT 一覧が表示されます。



2. で KIT を選択する

KIT の音色が変わります。

HINT

 を押すと、切り替えた KIT の音色でパターンを聴くことができます。

3. 切り替える KIT を選択したら、 を押す

パターンの KIT が変更されます。

HINT

KIT に登録された音色を変更する場合は、EDIT（音色の編集）を使用してください。（→ P.77）

KIT の管理

1. を押す

KIT 一覧が表示されます。



2. で管理する KIT を選択して、

 で決定する

 を押すと KIT 一覧に戻ります。

■KIT のコピー (Copy)

KIT の内容を別の KIT にコピーします。

-  でコピー元の KIT を選択して、 を押す

KIT 詳細メニューが表示されます。

-  で Copy を選択して、 を押す

KIT 一覧が表示されます。

-  でコピー先の KIT を選択して、 を押す

確認画面が表示されます。

-  で Yes を選択して、 を押す

KIT がコピーされます。

■KIT の消去 (Erase)

KIT を消去します。

-  で消去する KIT を選択して、 を押す

KIT 詳細メニューが表示されます。

-  で Erase を選択して、 を押す

確認画面が表示されます。

-  で Yes を選択して、 を押す

KIT が消去され、初期状態になります。

■KIT 名の変更 (Rename)

KIT の名称を変更します。

-  で名称を変更する KIT を選択して、 を押す

KIT 詳細メニューが表示されます。

-  で Rename を選択して、 を押す

文字入力画面が表示されます。

- KIT 名を編集してから [Enter] を選択して、 を押す

KIT 名が変更されます。

HINT

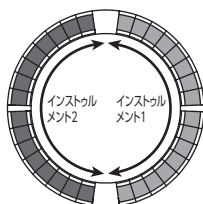
文字入力画面の操作 (→ P.20)

パッドスプリットの設定

手持ち操作時などに入力しやすいように、パッド全体に割り当てるインストゥルメントの数を指定することができます。

NOTE

この機能は INST モード時にかぎり有効です。



Instrument Range
=2の場合

1.  を押す

2.  で変更する KIT を選択して、
 を押す

KIT 詳細メニューが表示されます。

3.  で Pad Split を選択して、 を押す

パッドスプリット設定画面が表示されます。

4.  でパッドスプリットを選択して、 を押す

パッド全体に割り当てるインストゥルメント数を設定します。1、2、4、8、16、32 の中から選択できます。

HINT

パッドスプリットを 32 以外に設定した場合、 でコントローラに表示するインストゥルメントの範囲を切り替えることができます。

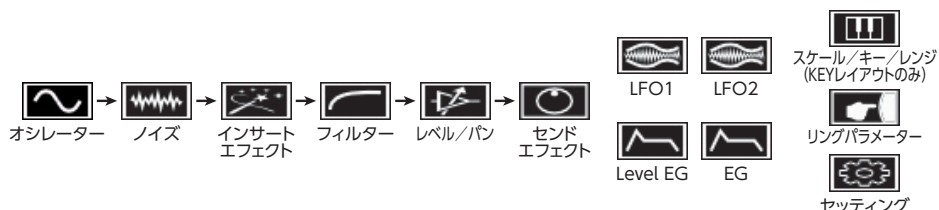
EDIT（音色の編集）

EDIT の概要

音色を編集する場合は、EDIT 画面を使用します。

音色編集は、STEP モードまたは INST モードの選択時に行えます。

EDIT 画面では次のようなブロック構成で音色を編集します。

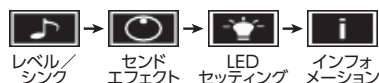


また、SONG モードおよび LOOPER モードでは、EDIT 画面で次の設定が行えます。

SONGモード

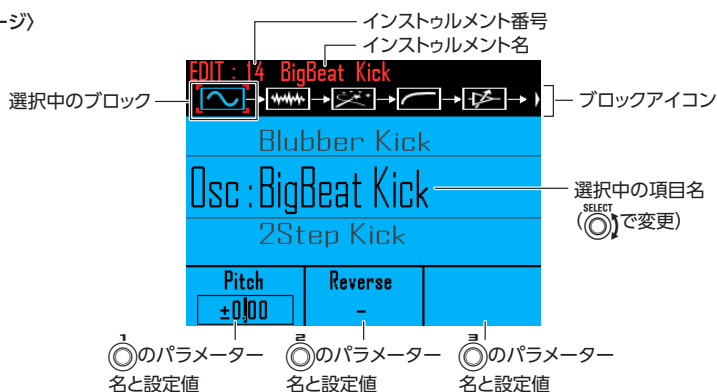


LOOPERモード

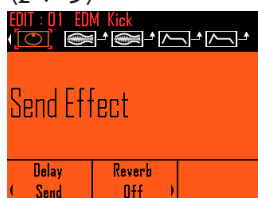


画面の説明

〈1ページ〉



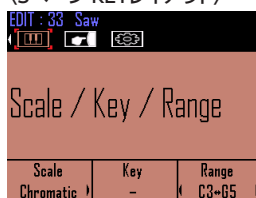
〈2ページ〉



〈3ページ PADレイアウト〉



〈3ページ KEYレイアウト〉

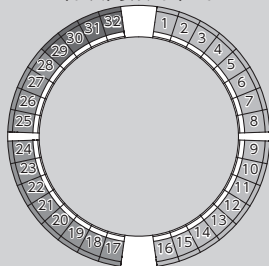


EDIT の開始

1.  でパターンを選択し、 で音色を編集するインストゥルメントを選択して、 を押す
EDIT 画面が表示されます。

 **CONTROLLER** INST モードの場合、編集中にパッドを叩くことで、編集対象のインストゥルメントを切り替えることができます。

インストゥルメントNo.



各ブロックに共通の操作

■設定項目とパラメーターの変更

1.  で設定を変更するブロックを選択する
ブロックメニューが表示されます。
2.  で設定値を、、、 でパラメーターを選択／変更する
サブメニューがある場合には、 を押して表示します。 で設定値を選択／変更し、 を押して決定します。



HINT

ブロックメニューの詳細については、付録「EDIT メニュー・パラメーター一覧」を参照してください。(→ P.117)

インサート FX ブロックの設定

インサートエフェクトを 4 つまで同時に使用することができます。

■エフェクトタイプの選択

1. ブロックメニューを表示する

2. でエフェクトタイプを選択する

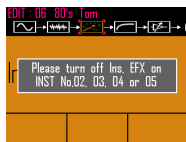
エフェクトタイプが設定されます。

HINT

インサートエフェクトの詳細については、付録「エフェクト一覧」を参照してください。(→ P.122)

NOTE

4 つのインサートエフェクトが使用中だと、エフェクトが選択できなくなります。その場合、表示されるメッセージでエフェクト使用中のインストゥルメントを確認し、不要なものを OFF にしてから操作をやり直してください。



■インサートエフェクト位置の変更

1. ブロックメニューを表示して、 を押す

2. で Position を選択して、 を押す

設定画面が表示されます。

3. で位置を選択して、 を押す

Before Filter、After Filter から選択できます。

LFO ブロックの設定

■タイプ・デスティネーションの変更

LFO のタイプとデスティネーションを変更します。

1. ブロックメニューを表示する

2. で LFO のタイプを選択する

3. でデスティネーションを選択する

デスティネーションが設定されます。

■ステッパーの変更

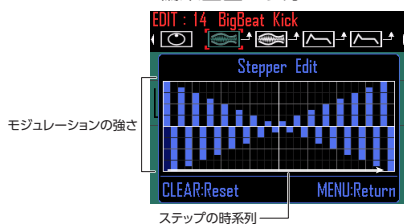
モジュレーションのかかり方を、自由に編集することができます。Type が Stepper の場合にのみ使用できます。

1. ブロックメニューを表示する

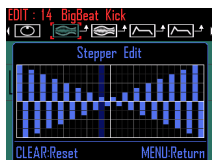
2. で Stepper を選択して、 を押す

3. Stepper Edit を選択して、 を押す

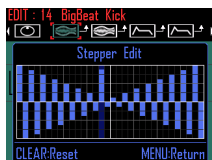
ステッパー編集画面が表示されます。



4.  で変更するステップを選択する

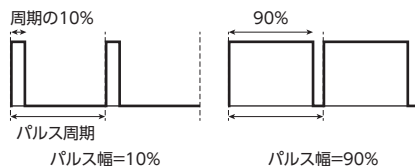


5.  でステップ値を変更する
ステップ値が設定されます。



■パルス幅の変更

パルスの幅を自由に編集することができます。
Type が Pulse の場合にのみ使用できます。



1. ブロックメニューを表示する

2.  で Pulse を選択して、 を押す

3.  で Pulse Width を選択して、 を押す

4.  でパルス幅を選択して、 を押す

パルス幅が設定されます。

エンベロープジェネレーター ブロックの設定

■デスティネーションの変更

エンベロープジェネレーターのデスティネーションを変更します。

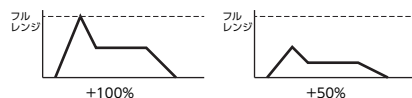
1. ブロックメニューを表示する

2. でデスティネーションを選択する

デスティネーションが設定されます。

■深度の設定

エンベロープの深度を設定します。



1. ブロックメニューを表示して、 を押す

2. で Depth を選択して、 を押す

3. で深度を設定する - 100 ~ + 100 の範囲で設定できます。

リングパラメーターブロックの設定

■リングパラメーターの変更

リングコントローラーのトップリング、サイドリング、ボトムリングに異なるパラメーター設定を割り当て、音色を使い分けることができます。

1. ブロックメニューを表示する

2. で設定するパラメーターを選択する

Pan、Pitch、Level、Off から選択できます。

3. 、、 で設定値を変更する

 でトップリング、 でサイドリング、 でボトムリングのパラメーターを調節します。

セッティングブロックの設定

■インストゥルメントのカラー設定

PAD レイアウトのインストゥルメントは、LCD 画面やリングコントローラーの LED 表示に使用する色を設定することができます。

1. ブロックメニューを表示する

2. で色を変更する

32 色の中から選択できます。Auto を選択して自動設定することもできます。

HINT

- ・オシレーター OFF でノイズ OFF の場合はカラーなし（点灯しない）になります。
- ・オシレーター OFF でノイズ ON の場合は黄緑色になります。

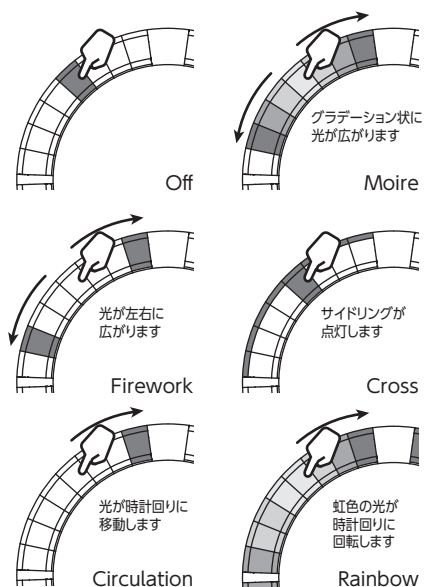
■LED アニメーションの設定

パッドを叩いたときの LED アニメーションについて設定します。

1. ブロックメニューを表示する

2. で使用するアニメーションを選択する

Off、Moire、Firework、Cross、Circulation、Rainbow から選択できます。



■ミキサーグループの設定

各インストゥルメントを3つのミキサーグループに登録できます。

HINT

初期設定では、次のインストゥルメントが登録されています。

ミキサーグループ 1：キック

ミキサーグループ 2：キック以外のドラム音源

ミキサーグループ 3：その他

1.  を押す

2.  でセッティングブロックを選択する

3.  でミキサーグループを選択する

Off、1～3 から選択できます。

インストゥルメントがミキサーグループに登録されます。

HINT

- ・それぞれのミキサーグループは色で区別できます。グループ 1：赤 2：緑 3：青
- ・グループミキサー (→ P.93) でパッドを叩いて選択することもできます。

■Mono/Poly の設定

リングコントローラーを KEY レイアウトにした場合、複数のパッドが押されたときに、発音を単音（モノフォニック）で行うか、複数音（ポリフォニック）で行うかを設定します。

1. リングコントローラーを KEY レイアウトに切り替えた状態で、ブロックメニューを表示する

2.  で使用する発音方法を選択する
Mono、Poly から選択できます。

■グライドの設定

リングコントローラーを KEY レイアウトにした場合の、インストゥルメントの音の変化の滑らかさを設定します。

HINT

発音をモノフォニックに設定したときに有効になるパラメーターです。

1. リングコントローラーを KEY レイアウトに切り替えた状態で、ブロックメニューを表示する

2.  でグライド値を変更する
0 ～ 100 の範囲で設定できます。

音色の編集のつづき

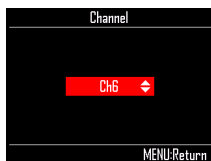
■MIDI チャンネルの変更

USB 接続した機器から送られた MIDI メッセージを受け取るチャンネルを設定します。

1. ブロックメニューを表示して、を押す

2. で MIDI Mapping を選択して、を押す
設定画面が表示されます。

3. で Channel を選択して、を押す
設定画面が表示されます。



4. で受信するチャンネルを選択する
受信チャンネルが設定されます。

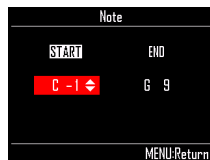
■MIDI ノートナンバーの変更

USB 接続した機器から送られた MIDI メッセージに対応するノートナンバーの範囲を設定します。

1. ブロックメニューを表示して、を押す

2. で MIDI Mapping を選択して、を押す
設定画面が表示されます。

3. で Note を選択して、を押す
設定画面が表示されます。



4. を押して START ノートナンバーの設定に切り換え、でナンバーを選択する
START ノートナンバーが設定されます。

5. を押して END ノートナンバーの設定に切り換え、でナンバーを選択する
END ノートナンバーが設定されます。

SONG モードの EDIT 画面

SONG モードの EDIT 画面では以下の設定を行えます。

LED セッティングブロック

■パターンのパッドカラーの設定

1. パターンを選択する

2. を押す

3. でカラーを変更する

■LED アニメーションタイプの設定

1. パターンを選択する

2. を押す

3. でアニメーションタイプを変更する

Off、Moire、Firework、Cross、Circulation、Rainbow から選択できます。(→ P.82)

■LED アニメーションタイミングの設定

1. パターンを選択する

2. を押す

3. でアニメーションの再生タイミングを変更する

再生を繰り返すタイミングを、1 小節の分割数で指定します。1/8、1/4、1/2、1、2 から選択できます。

LOOPER モードの EDIT 画面

LOOPER モードの EDIT 画面では以下の設定を行えます。

レベル／シンクブロック

■キャプチャーレベルの設定

1. キャプチャーを選択する

2. を押す

選択したキャプチャーの EDIT 画面が表示されます。

3. を押し、レベル／シンクブロックに移動する

4. でレベルを変更する

■キャプチャーの同期設定

ルーパーシーケンスのテンポに合わせてキャプチャーの再生速度を同期させるかどうかを設定します。

NOTE

同期設定を行うには、キャプチャーごとのテンポ設定を正しく行っておく必要があります。

1. キャプチャーを選択する

2. を押す

選択したキャプチャーの EDIT 画面が表示されます。

3. を押し、レベル／シンクブロックに移動する

4. で同期設定を変更する

On：キャプチャーをテンポに同期させます。

Off：キャプチャーをテンポに同期せず、1 倍速で再生します。

■キャプチャーのテンポ設定

キャプチャーのテンポを設定します。

1. キャプチャーを選択する

2. を押す

選択したキャプチャーの EDIT 画面が表示されます。

3. を押し、レベル／シンクブロックに移動する

4. でテンポを変更する

40.0 ～ 250.0 の範囲で設定できます。

センドエフェクトブロック

■センドエフェクトの設定

1. キャプチャーを選択する

2. を押す

選択したキャプチャーの EDIT 画面が表示されます。

3. を押し、センドエフェクトブロックに移動する

4. 、、で各エフェクトへのセンドの Send/OFF を変更する

LED セッティングブロック

■キャプチャーのパッドカラーの設定

1. キャプチャーを選択する

2. を押す

選択したキャプチャーの EDIT 画面が表示されます。

3. を押し、LED セッティングブロックに移動する

4. でカラーを変更する

■LED アニメーションタイプの設定

1. キャプチャーを選択する

2. を押す

選択したキャプチャーの EDIT 画面が表示されます。

3. を押し、LED セッティングブロックに移動する

4. でアニメーションタイプを変更する

Off、Moire、Firework、Cross、Circulation、Rainbow から選択できます。(→ P.82)

■LED アニメーションタイミングの設定

1. キャプチャーを選択する

2. を押す

選択したキャプチャーの EDIT 画面が表示されます。

3. を押し、LED セッティングブロックに移動する

4. でアニメーションの再生タイミングを変更する

再生を繰り返すタイミングを、1 小節の分割数で指定します。1/8、1/4、1/2、1、2 から選択できます。

インフォメーションブロック

■キャプチャーの情報確認

1. キャプチャーを選択する

2. を押す

選択したキャプチャーの EDIT 画面が表示されます。

3. を押し、インフォメーションブロックに移動する

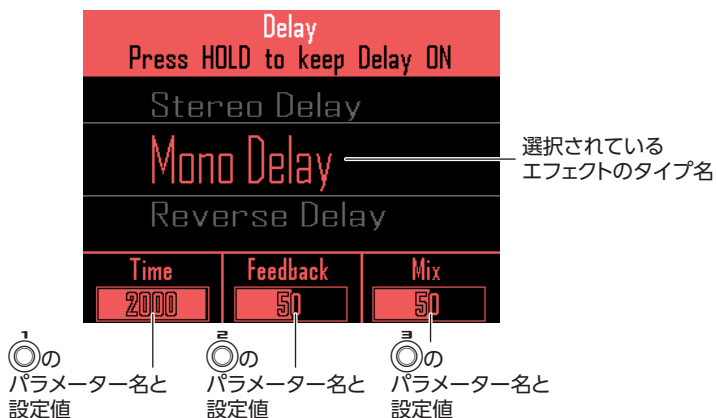
ファイル名、ファイルの秒数、ファイルサイズを確認できます。

エフェクト

エフェクトの概要

パターン、ソング、ルーパーシーケンスの再生時に、グローバルフィルター、ディレイ、リバーブ、マスターエフェクトをかけることができます。

画面の説明



エフェクトの種類

FILTER

グローバルフィルターを有効にします。

DELAY

ディレイを有効にします。

REVERB

リバーブを有効にします。

MASTER FX

出力全体にかけるマスターエフェクトを、各種エフェクトの中から1種類を選んで設定できます。

設定可能なパラメーターはエフェクトの種類によって異なります。

HINT

それぞれのパラメーターの詳細については、付録「エフェクト一覧」を参照してください。
(→ P.122)

エフェクトの使用

エフェクトの ON/OFF

1. パターン、ソング、ルーパーシーケンスの再生中に、使用したいエフェクトの **FILTER**、**DELAY**、**REVERB**、

MASTER FX を押し続ける

これらのキーを押している間だけ、エフェクトが ON になります。

CONTROLLER 使用したいエフェクトのキーを押します。リングコントローラーの場合、キーは一度押すだけでホールドされます。

HINT

- ・複数のエフェクトを同時に ON にすることも可能です。その場合、LCD 画面には最後に押したエフェクトの内容が表示されます。
- ・エフェクトを ON にすると、リングコントローラーのエフェクトキーの LED が点灯します。

2. エフェクトをホールドする場合は、**FILTER**、**DELAY**、**REVERB**、**MASTER FX** を押しながら **HOLD** を押す

エフェクトのキーから指を離しても、ON のままになります。

HINT

複数のエフェクトを同時にホールドすることも可能です。

3. ホールドを解除するには、**HOLD** を押しながら解除したい **FILTER**、**DELAY**、**REVERB**、**MASTER FX** を押す

CONTROLLER 解除したいエフェクトのキーを押します。

エフェクトタイプの変更

1. タイプを変更したいエフェクトの **FILTER**、**DELAY**、**REVERB**、**MASTER FX** を押す

LCD 画面に、選択したエフェクトのタイプが表示されます。



2. **SELECT** で変更するエフェクトタイプを選択する

パラメーターの変更

1. 変更したいエフェクトの **FILTER**、**DELAY**、**REVERB**、**MASTER FX** を押す

LCD 画面に、選択したエフェクトのパラメーターが表示されます。

HINT

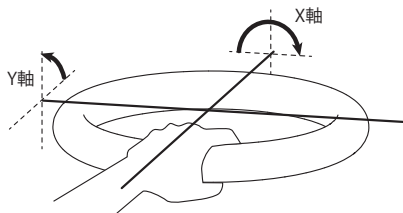
複数のエフェクトをホールドしている場合は、変更したいエフェクトのボタンを押します。

2. 変更したいパラメーターの **1**、**2**、**3** を回す

その他の設定

リングコントローラーを使ったパラメーターのコントロール

リングコントローラーの加速度センサーを使用して、最大3つのエフェクトのパラメーターをコントロールできます。リングコントローラーを振る、傾けるなどの操作に合わせてパラメーターが変化します。



NOTE

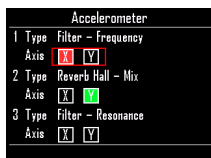
- ・リングコントローラーのグリップエリアを設定した場合に使用できます。(→ P.103)
- ・X 軸・Y 軸の方向は、グリップエリアの位置によって決まります。
- ・リングコントローラーに強い衝撃を与えないようにしてください。

■パラメーターの割り当て

1.  を押す

2.  で PATTERN SETTING (STEP モード、INST モード) / LOOPER SETTING (LOOPER モード) を選択して、 を押す

3.  で Accelerometer を選択して、 を押す
設定画面が表示されます。



4.  でパラメーター 1～3 の Type を選択して、 を押す

5.  でエフェクトタイプを選択して、 を押す

6.  でパラメーター 1～3 の Axis を選択して、 を押す
 を押すごとに、x 軸、y 軸、off が切り換わります。

HINT

- ・同じエフェクトタイプを複数の Type に割り当てることはできません。
- ・Axis については、複数の同じ設定を割り当てることができます。

■リングコントローラーを使った操作

1. リングコントローラーをベースステーションから取り外す

2. リングコントローラーのグリップエリアを設定する
グリップエリアの設定 (→ P.103)

3. エフェクトのパラメーターを操作する場合は、使用するエフェクトのキーを押して ON にしてから、リングコントローラーを傾ける
角度や方向に応じて、エフェクトのパラメーターが変化します。

ミキサー

ミキサーの概要

外部入力の手音を調整することが可能です。また、INST モード、STEP モードでは各インストールメントのミキシングを調節することもできます。

画面の説明



リングコントローラーの操作



リングの各パッドは 32 のインストールメントに対応しています。LCD 画面でミュートまたはソロを選択後、パッドを叩くことで、ミュートまたはソロの ON/OFF を切り替えることができます。また、グループ化されているインストールメントは各リングのパッドがグループ色に点灯します。KEY レイアウトのミキシングを調節する場合は、どのパッドを叩いても同じ操作ができます。

ミキシングの開始

1. ミキシングを設定するパターンの
選択・再生中に  を押す
MIXER 画面が表示されます。

HINT

SONG モードと LOOPER モードでは、INPUT 端子から入力した音声のセンドエフェクトおよびレベルを調整できます。

ミキサーの使用

グループミキサー

複数のインストゥルメントをグループ化し、その音量をまとめて調整することができます。

■ミキサーグループの設定

1.  でグループミキサーブロックを選択する

2.  **CONTROLLER** ミキサーグループを設定するインストゥルメントに対応したパッドを叩く

HINT

- ・それぞれのミキサーグループは色で区別できます。
グループ 1：赤 2：緑 3：青
- ・ミキサーグループを設定していないインストゥルメントに対応したパッドは、黄色で表示されます。

■ミキサーグループの音量調節

1.  でグループミキサーブロックを選択する

2. 音量を調節するミキサーグループの 、、 を回す

ミキサーグループの音量が調節されます。

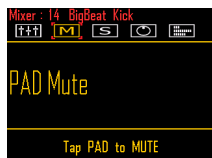
HINT

ミキサーグループの音量の最大値は、各インストゥルメントで設定されている音量になります。

ミュート

選択したインストゥルメントだけをミュートできます。

1.  で PAD ミュートブロックを選択する



2.  ミュートするインストゥルメントに対応したパッドを叩く

叩いたパッドのインストゥルメントがミュートされます。
KEY レイアウトでは、どのパッドを叩いてもミュートできます。

HINT

ミュート中のインストゥルメントは以下の表示になります。

- ・PAD レイアウト：トップ、サイド、ボトムリングが消灯
- ・KEY レイアウト：トップインナーリングおよびボトムインナーリングが黄色に点灯

3.  解除するには、ミュートしているパッドをもう一度叩く

叩いたパッドのインストゥルメントのミュートが解除されます。

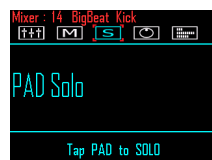
HINT

インストゥルメントをグループ化すると、同じグループのインストゥルメントを全て同時にミュートできます。

ソロ

選択したインストゥルメントだけを再生（ソロ）できます。

1.  で PAD ソロブロックを選択する



2.  ソロ再生するインストゥルメントに対応したパッドを叩く

叩いたパッドのインストゥルメントだけが再生されます。
KEY レイアウトでは、どのパッドを叩いてもソロ再生できます。

HINT

ソロ再生中のインストゥルメントは以下の表示になります。

- ・PAD レイアウト：トップ、サイド、ボトムリングが点灯
- ・KEY レイアウト：トップインナーリングおよびボトムインナーリングが水色に点灯

3.  解除するには、ソロ再生しているパッドをもう一度叩く

叩いたパッドの LED が消灯し、そのインストゥルメントのソロ再生が解除されます。

HINT

インストゥルメントをグループ化すると、同じグループのインストゥルメントを全て同時にソロ再生できます。

INPUT のセンドエフェクト

1.  でセンドエフェクト (インプット) ブロックを選択する
2. 、 で各エフェクトへのセン
ドの Send/OFF を選択する

外部入力レベル調節

1.  でオーディオインプットブロックを選択する
2.  で INPUT のレベルを調節する

外部入力のステレオ／モノラル設定

外部入力にモノラル出力の音源を使用する場合は、次の設定を行います。

1. モノラルケーブルを、INPUT 端子の L チャンネルに接続する
2.  を押す
3.  でオーディオインプットブロックを選択する
4.  で外部入力の種類を選択する
Stereo : L/R チャンネルへの入力をステレオ音声として扱う
Mono(Lch) : L チャンネルへの入力をモノラル音声として扱う

システムの設定

各種設定の変更

操作環境などの各種設定を行います。

1.  を押す

2.  で SETTING を選択して、 を押す

設定画面が表示されます。

3.  でメニュー項目を選択して、
 で決定する
 を押すとメニュー階層が 1 段階戻ります。

■フォントサイズを設定する (Quantize)

-  でフォントサイズ量を選択する
入力を揃えるタイミングを、1 小節の分割数で指定します。OFF、1/32、1/16Tri、1/16、1/8Tri、1/8、1/4、1/2、1 から選択できます。

HINT

モーションシーケンスや INST モードのリアルタイム入力時などに有効になります。

■インナーリングの表示を設定する (Inner Ring LED)

-  でリングコントローラーのインナーリング表示を選択する
Instruments (インストゥルメント表示)、Guideline (ガイドライン) から選択できます。

■クロックモードを設定する (Clock Mode)

他の MIDI 機器と USB 接続した場合に、内蔵クロックと外部クロックのどちらを使用するか選択します。

-  でクロックモードを選択する
Internal、External USB から選択できます。

NOTE

External USB を選択した場合、ソングおよびルーパーシーケンスの記録はできません。

■LCD 画面の明るさを設定する (LCD Backlight)

-  でベースステーションの LCD 画面の明るさを設定する
Low、Mid、High から選択できます。

■ソフトウェアのバージョンを表示する (Software version)

-  でソフトウェアのバージョンを表示する

■出荷時の設定に戻す (Factory Reset)

- を押して、**AR-96** ベースステーション
を出荷時の設定に戻す
確認のメッセージが表示され、工場出荷時
の設定にリセットされます。

NOTE

出荷時の設定に戻すと、自分で作成したパターンやソングなどは消去されます。残しておきたい場合はあらかじめSDカードに保存してください。

データのバックアップ (→ P.98)

データのバックアップ

データユーティリティ

作成したパターン、ソング、キャプチャー、ルーパーシーケンス、KIT のデータを、一括して SD カードにバックアップすることができます。また、データを復元する場合には、全てのデータを読み込むか、一部のデータだけを読み込むかを選ぶことができます。

1. を押す

2. で DATA UTILITY を選択して、 を押す

データユーティリティ画面が表示されます。

3. でメニュー項目を選択して、 で決定する を押すとメニュー階層が 1 段階戻ります。

■データの書き出し (Backup)

-  を押し、データ名の入力画面を表示する
- データ名を入力して [Enter] を押す
データをバックアップします。

NOTE

キャプチャーで使用する WAV 形式の音声ファイルはバックアップされません。

HINT

- ・初期設定では、バックアップファイル名は "DATAxxxx.ARD" (xxxx は 4 桁の連番) になります。
- ・文字入力画面の操作 (→ P.20)

■データの読み込み (Load)

-  を押し、バックアップデータの一覧画面を表示する
-  で一覧からデータを選択して  を押し、読み込み対象の選択画面を表示する
All : 全てのデータを読み込み
Kit List : KIT の全データを読み込み
Pattern List & Song List : パターンとソングの全データを読み込み
Capture List & Looper List : キャプチャーとルーパーの全データを読み込み
-  で読み込み対象を選択して、 を押す
確認画面が表示されます。
-  で Yes を選択して、 を押す
SD カードからデータを読み込みます。

NOTE

データの読み込みを行うと、**AR-96** に保存されている内容は上書きされます。

■データの全消去 (Erase List)

パターン、ソング、キャプチャー、ルーパーシーケンス、KIT のデータを全消去します。

-  を押し、消去対象の選択画面を表示する
All : 全てのデータを消去
Kit List : KIT リストの全データを消去
Song List : ソングシーケンスリストの全データを消去
Looper List : ルーパーリストの全データを消去
Pattern List & Song List : パターンリストとソングシーケンスリストの全データを消去
Capture List & Looper List : キャプチャーリストとルーパーリストの全データを消去
-  で消去対象を選択して、 を押す
確認画面が表示されます。
-  で Yes を選択して、 を押す
すべてのデータを消去します。

SD カードの管理

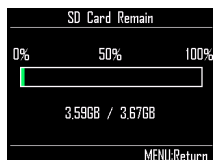
SD カードの空き容量確認

1.  を押す

2.  で SD CARD を選択して、 を押す

3.  で SD Card Remain を選択して、 を押す

SD カードの使用量・空き容量が表示されます。



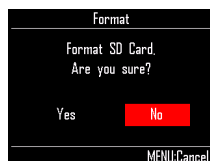
SD カードの初期化

1.  を押す

2.  で SD CARD を選択して、 を押す

3.  で Format を選択して、 を押す

確認のメッセージが表示されます。



4.  で Yes を選択して、 を押す

SD カードが初期化されます。

NOTE

- ・市販の SD カードや、他のパソコンで初期化された SD カードを使用する場合は、最初に **AR-96** で初期化する必要があります。
- ・SD カードを初期化すると、それまでに保存されていたデータはすべて消去されますので、ご注意ください。

SD カードの性能テスト

SD カードが **AR-96** で使用可能かテストします。短時間で行う簡易テストと、SD カードの全領域を検査するフルテストがあります。

■簡易テスト

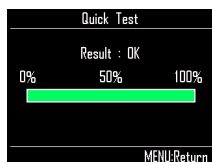
1.  を押す

2.  で SD CARD を選択して、
 を押す

3.  で Performance Test を選択して、
 を押す

4.  で Quick Test を選択して、
 を押す
SD カードの簡易テストが実行されます。

5. テストが終了する
判定結果が表示されます。



■フルテスト

1.  を押す

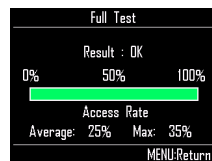
2.  で SD CARD を選択して、
 を押す

3.  で Performance Test を選択して、
 を押す

4.  で Full Test を選択して、
 を押す
所要時間と確認のメッセージが表示されます。

5.  で Yes を選択して、
 を押す
SD カードのフルテストが実行されます。

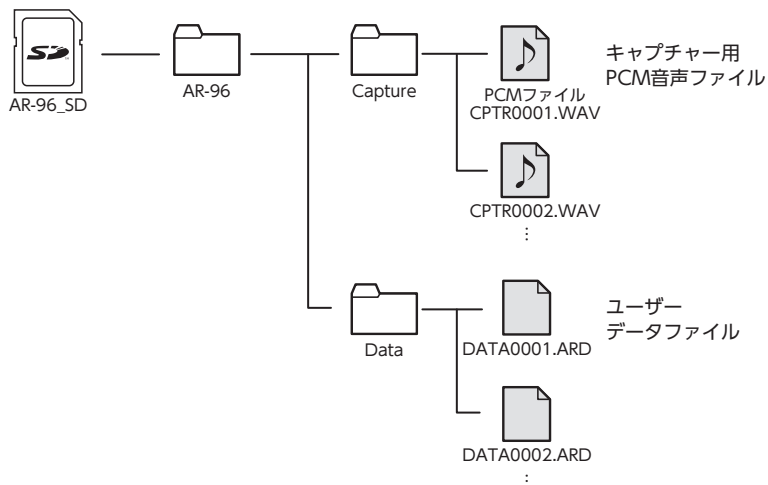
6. テストが終了する
判定結果が表示されます。



NOTE

性能テスト判定が OK になっても書き込み不良が起きない事を保障するものではありません。あくまで目安として考えてください。

SD カードのフォルダ階層



リングコントローラーの設定

リングコントローラーと ベースステーションの接続・解除

リングコントローラーとベースステーションは、Bluetooth LE を使用した無線通信で接続されます。

購入時のセットと異なる組み合わせで使用する場合などには、接続の設定を行う必要があります。

■接続する

1.  を押す

2.  で CONTROLLER を選択して、
 を押す

3.  で Device List を選択して、
 を押す

接続可能なリングコントローラーの一覧が表示されます。



HINT

アンテナアイコンの本数は、電波の強度を表しています。

4.  で接続するリングコントローラーを選択して、
 を押す

選択したリングコントローラーが接続され、リングコントローラー全体の LED が青く点滅します。

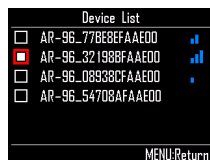
■接続を解除する

1.  を押す

2.  で CONTROLLER を選択して、
 を押す

3.  で Device List を選択して、
 を押す

リングコントローラーの一覧が表示されます。接続中のリングコントローラーには白い四角が表示されます。



4.  で接続中のリングコントローラーを選択して、
 を押す

リングコントローラーの接続が解除され、リングコントローラー全体の LED が赤く点滅します。

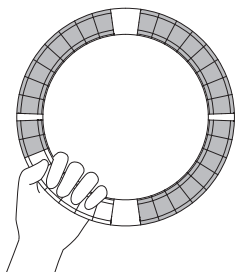
リングコントローラーの設定のつづき

グリップエリアの設定

1.  **CONTROLLER**  を押す
リングコントローラーの全ての LED が青く点灯します。

2.  **CONTROLLER** グリップエリアに
設定する範囲を握る

握った範囲のパッドが白く点滅します。
トップリング、ボトムリングの同位置
のパッドも対象となります。



HINT

30 秒間グリップが検出されない場合、自動的にキャンセルされます。

3.  **CONTROLLER**  を押す

リングコントローラーの LED 表示が元の状態に戻りますが、グリップエリアだけは LED が消え、操作に反応しない状態になります。

HINT

グリップエリアが設定されている場合、
 の LED が点灯します。

■グリップエリアの設定を解除する

1.  **CONTROLLER**  を押す

リングコントローラーの全ての LED が青く点灯します。

2. リングコントローラーをベースステーションに置く

3.  **CONTROLLER**  を押す

グリップエリアの設定が解除され、すべてのパッドが操作可能な状態になります。

HINT

グリップの自動設定解除 (→ P.104) を ON にした場合、リングコントローラーをベースステーションに置くと自動的にグリップエリアが解除されます。

リングコントローラーの設定のつづき

リングコントローラーの機能設定

ここではベースステーションと接続して使用する場合の設定項目について説明します。

HINT

MIDI コントローラーとして使用する
(→ P.108)

1. を押す

2. で CONTROLLER を選択して、 を押す

3. で Setting を選択して、 を押す

コントローラー設定画面が表示されます。

4. でメニュー項目を選択して、 で決定する を押すとメニュー階層が 1 段階戻ります。

■LED の明るさ (LED Brightness)

- で LED の明るさを選択する
Low、High から選択できます。

■グリップ自動設定解除 (Auto Grip Off)

グリップの自動設定解除の ON/OFF を設定します。

- で自動設定解除を選択する
Off、On から選択できます。

■ベロシティー

(For AR-96>Velocity Curve)

パッドの感度を設定します。

- でパッドの感度を選択する
Low：低感度（叩く強さの変化に反応しにくい）
Mid：標準
High：高感度（叩く強さの変化に反応しやすい）
Max：叩く強さにかかわらず最大ベロシティーになる

■アフタータッチ

(For AR-96>After Touch)

アフタータッチの ON/OFF を設定します。

- でアフタータッチを選択する
Off、On から選択できます。

■アフタータッチスレッシュOLD

(For AR-96>After Touch Threshold)

アフタータッチの状態への遷移しやすさを設定します。

- でアフタータッチスレッシュOLDを選択する
Low：遷移しやすい
Mid：標準
High：遷移しにくい

■加速度センサー感度 (For AR-

96>Accelerometer Sensitivity)

加速度センサーの感度を設定します。

- で加速度センサーの感度を選択する
Low：低感度（角度の変化に反応しにくい）
Mid：標準
High：高感度（微細な角度変化にも反応）

リングコントローラーの設定のつづき

■リングコントローラーで機能設定を行う

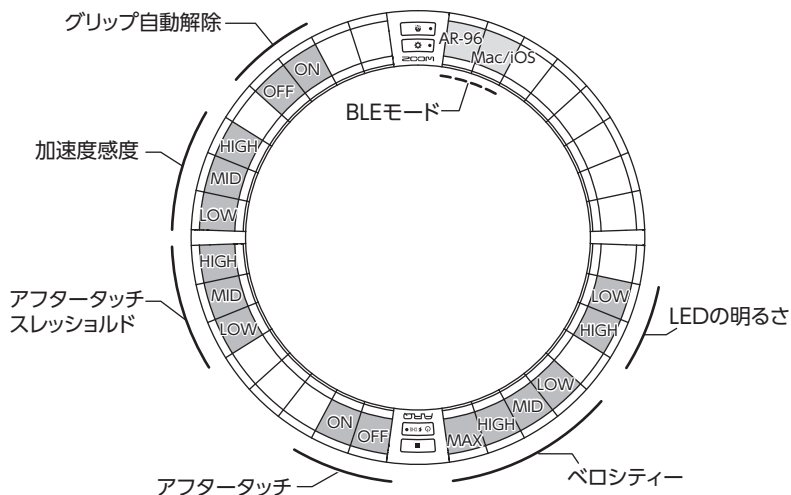
リングコントローラー上でパッドを使用して機能設定を行うこともできます。

- **CONTROLLER**  を押す

リングコントローラーが設定モードに切り替わり、各パッドが設定キーとして機能します。

HINT

- ・BLE モード：MIDI コントローラーとして使用する場合、Mac/iOS を選択します。
- ・ベースステーションと接続中は、BLE モードを切り替えることはできません。ベースステーションの電源を OFF にするか、ベースステーションとの接続を解除（→ P.102）してください。



リングコントローラーの設定のつづき

リングコントローラーの電池交換

電池の消耗が早くなったり、充電ができなくなった場合には、電池を交換してください。

NOTE

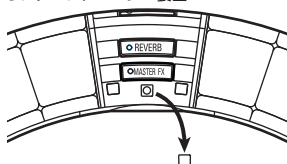
充電式電池は必ず ZOOM BT-04 を使用してください。

■電池を取り外す

1. リングコントローラー裏面にある
キャップを取り外す

キャップは **MASTER FX** の下にあります。

リングコントローラー裏面

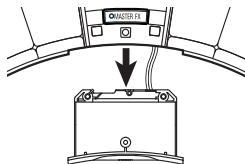


2. キャップ穴内側のネジを外す

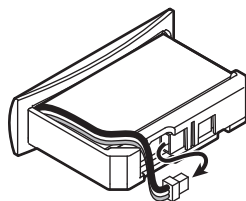
ネジはプラスドライバーで外してください。



3. 電池ボックスを引き出す



4. 電池と電池ボックスを接続する
ケーブルのコネクターを外す

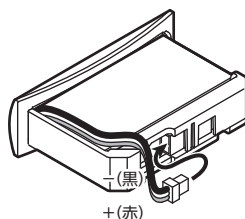


5. 電池ボックスから電池を取り外す

■電池の取り付け

1. 電池ボックスに電池を入れる

2. 電池と電池ボックスをケーブルで
接続する



3. 電池ボックスを本体に入れる

4. ネジを締め、キャップを元通りに
取り付ける

ファームウェアのアップデート

製品のファームウェアを、最新のものにアップデートできます。

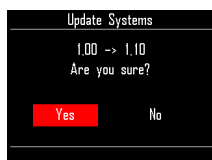
最新のアップデート用ファイルは ZOOM の Web サイト (www.zoom.co.jp) からダウンロードできます。

ベースステーションのアップデート

1. アップデート用ファイルを SD カードのルートディレクトリにコピーする

2. SD カードをカードスロットにセットして、 を押しながらか  を長押しする

アップデートの確認画面が表示されます。

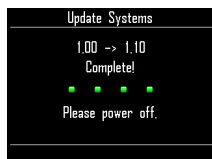


3.  で Yes を選択して、 を押す

NOTE

アップデート中に電源を切ったり、SD カードを抜かないでください。AR-96 が起動しなくなるおそれがあります。

4. アップデートが完了したら、 を長押しして OFF にする



リングコントローラーのアップデート

ファームウェアが古い状態のリングコントローラーをベースステーションに接続すると、LCD 画面にアップデート通知が表示されます。その場合は次の手順でリングコントローラーをアップデートしてください。

1.   を押しながらか  を押す

リングコントローラーがアップデートモードで起動し、ベースステーションにアップデート画面が表示されます。

NOTE

 横のパッドの LED が青く点灯していることを確認してください。

LED が紫の場合は、リングコントローラーとベースステーションを接続してください。(→ P.102)

2.  で Yes を選択して、 を押す
ベースステーションにアップデートの進捗画面が表示されます。

3.  アップデートが完了したら、 を長押しして OFF にする

NOTE

 横のパッドの LED 色でアップデートの結果が確認できます。

- ・正常にアップデート完了…緑色
- ・アップデート失敗…赤色

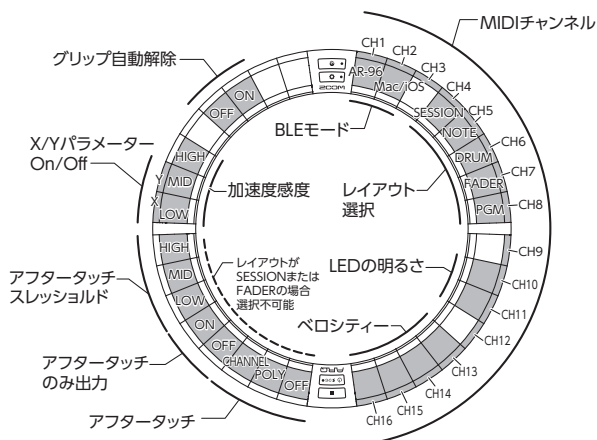
アップデートに失敗した場合は、手順 1 からやり直してください。

MIDI コントローラー

MIDI コントローラーとして使用する

AR-96 のリングコントローラーは、単独で Mac/iOS 機器と接続し、MIDI コントローラーとして使用することができます。

MIDI コントローラーの設定



■BLE モード

リングコントローラーの接続先を選択します。

AR-96：通常の使用モードです。**AR-96**のベースステーションに接続します。(→P.102)

Mac/iOS：直接 Mac または iOS 機器に接続し、MIDI コントローラーとして使用します。

■MIDI チャンネル

リングコントローラーが使用する MIDI チャンネルの組み合わせを設定します。CH1 ~ 11 (12 ~ 16 はセッションレイアウト固定)

■X/Y パラメーター On/Off

X 軸、Y 軸の加速度センサー値を出力するかどうかを設定します。

■レイアウト選択

リングコントローラーの MIDI メッセージのレイアウトを設定します。

各レイアウトの詳細については「MIDI コントローラーのレイアウト」(→P.110)を参照してください。

■アフタータッチ

アフタータッチの種類を設定します。

OFF：アフタータッチなし

POLY：複数のパッドを押したときにそれぞれが独立して反応

CHANNEL：MIDI チャンネル全体の共通値として出力

MIDI コントローラーとして使用するのつづき

■アフタータッチのみ出力

アフタータッチの MIDI メッセージだけを出力します。

HINT

- これらの設定は、ベースステーションの  を押し、CONTROLLER>Setting>For Mac/iOS の各項目から行うこともできます。
- ペロシティー設定など、**AR-96** と共通の項目については、「リングコントローラーの設定」(→P.102)を参照してください。

Mac/iOS 機器との接続

Bluetooth LE を使用して、リングコントローラーを直接 Mac や iOS 機器に接続し、MIDI コントローラーとして使用することができます。

NOTE

この機能を使用するには、ベースステーションの電源を OFF にするか、ベースステーションとの接続を解除 (→P.102) してください。

■リングコントローラーのモードを切り替える

1. CONTROLLER を押す

リングコントローラーが設定モードに切り替わります。

2. CONTROLLER BLE モードの

Mac/iOS に対応したパッドを叩く
リングコントローラーが Mac/iOS モードになります。

■Mac と接続する

1. Mac 上で「Audio MIDI 設定」アプリケーションを起動する

2. メニューバーから「ウインドウ」→「MIDI スタジオを表示」を選択する

MIDI スタジオ画面が表示されます。

3. Bluetooth アイコンをダブルクリックする

Bluetooth コンフィグレーション画面が表示されます。

4. 一覧に表示されたリングコントローラーの「接続」をクリックする

接続に成功すると、リングコントローラーの全ての LED が青く点滅します。

NOTE

接続に失敗した場合、システム環境設定内の Bluetooth のデバイス一覧で、リングコントローラーの項目の×をクリックしてからやり直してください。

■iOS 機器と接続する

1. iOS デバイス上で、MIDI over BLE 対応のアプリを起動する

2. アプリの設定画面で、Bluetooth の接続操作を行う

接続に成功すると、リングコントローラーの全ての LED が青く点滅します。

HINT

アプリ側の設定方法の詳細については、各アプリのマニュアルを参照してください。

MIDI コントローラーのレイアウト

MIDI コントローラーとして使用する場合、パッドのレイアウトを5種類の中から選択できます。

レイアウトの種類

■SESSION レイアウト

Ableton Live のセッションビューを操作するためのレイアウトです。クリップやシーンの再生、ボリューム、パン、センドのコントロールなどが可能です。

■NOTE レイアウト

ピアノ鍵盤の配列をパッド上に展開するレイアウトです。

 を押すことで、オクターブを変更できます。

■DRUM レイアウト

DAW ソフトの Drum Rack に対応したレイアウトです。

各リングの 1/4 周分のパッドが、Drum Rack の 1 区画分に対応します。

 を押すことで、ノートナンバーの組を高い方・低い方へ移動できます。

■FADER レイアウト

リングコントローラーをフェーダーとして使用するレイアウトです。

各リングの 1/2 周分のパッドが、1 つのフェーダーとして機能します。

■PROGRAMMER モード

各パッドと、その LED 表示を自由にプログラムできるモードです。

HINT

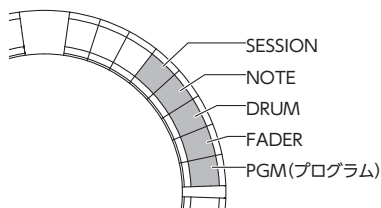
各モードで送受信される MIDI メッセージについては、「リングコントローラーの MIDI メッセージ」(→P.124) を参照してください。

レイアウトの選択

1. CONTROLLER を押す

リングコントローラーが設定モードに切り替わります。

2. CONTROLLER いずれかのレイアウトに対応したパッドを叩く



リングコントローラーのレイアウトが切り替わります。

3. CONTROLLER を押す

設定モードを終了します。

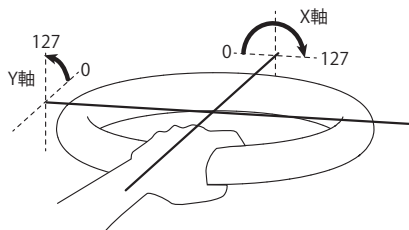
その他の機能

加速度センサー

リングコントローラーの加速度センサーを使用して MIDI メッセージを送信することができます。

NOTE

- ・リングコントローラーのグリップエリアを設定した場合に使用できます。(→ P.103)
- ・X 軸・Y 軸の方向は、グリップエリアの位置によって決まります。



送信される MIDI メッセージ

X 軸 : Control Change 85, 0 ~ 127

水平 (0°) から上下反転 (180°) の範囲で変化します。

Y 軸 : Control Change 86, 0 ~ 127

水平 (0°) から垂直 (90°) の範囲で変化します。

■加速度センサーの ON/OFF

1. **CONTROLLER** **MASTERFX** を押す

MASTERFX の LED が点灯し、加速度センサーが ON になります。

2. **CONTROLLER** 加速度センサーを

OFF にする場合は、再度 **MASTERFX**

を押す

MASTERFX の LED が消灯し、加速度センサーが OFF になります。

出荷時の設定に戻す

1. **CONTROLLER** **設定** を押しながら
リングコントローラーの電源を入れる
ファクトリーリセットモードになります。

2. **CONTROLLER** LED が点滅している
パッドを叩く

リングコントローラーの設定が出荷時の状態に戻り、自動的に電源が切れます。

■ベースステーションから出荷時の設定に戻す

ベースステーションを操作してリングコントローラーを工場出荷時の設定に戻すことができます。

1. **MENU** を押す

2. **SELECT** で **CONTROLLER** を選択して、
SELECT を押す

3. **SELECT** で **Setting** を選択して、**SELECT** を押す

4. **SELECT** で **Factory Reset** を選択して、
SELECT を押す
確認の画面が表示されます。

5. **SELECT** で **Yes** を選択して、**SELECT** を押す
リングコントローラーが工場出荷時の設定に戻ります。

故障かな？と思う前に

AR-96の動作がおかしいと感じられたときは、まず次の項目を確認してください。

■音が出ない、非常に小さい

- ・電源が ON になっていることを確認してください。
- ・接続を確認してください。
- ・各インストゥルメントのレベルを調節してください。
- ・ミキサーグループレベルを調節してください。
- ・ミュート状態になっていないことを確認してください。
- ・ヘッドホンボリュームまたは OUTPUT ボリュームのレベルを確認してください。

■ノイズが多い

- ・シールドケーブルが正常であることを確認してください。
- ・ZOOM 純正の AC アダプターを使用してください。

■エフェクトがかからない

- ・インストゥルメントにエフェクトが正しくアサインされていることを確認してください。
- ・エフェクトはそれぞれのキーを押している間しか有効になりません。キーを放した後もエフェクトをかけ続けるには、を使用してください。

■リングコントローラーがうまく動作しない

- ・電源が ON になっていることを確認してください。
- ・ベースステーションとの接続を確認してください。
- ・パッドの感度を調節してください。
- ・グリップ設定を確認してください。
- ・MIDI コントローラーとして使用している場合は、Mac 及び iOS 機器の設定を確認してください。

製品仕様

ベースステーション

入力	INPUT L/R	仕様 (コネクタ形状)	標準モノラルフォンジャック (アンバランス)
		入力ゲイン	+10 ~ -65 dB
		入力インピーダンス	50 k Ω
出力	OUTPUT L/R	仕様 (コネクタ形状)	標準モノラルフォンジャック (アンバランス)
		出力インピーダンス	200 Ω
	PHONES	仕様 (コネクタ形状)	標準ステレオフォンジャック 20 mWx2(32 Ω負荷時)
		出力インピーダンス	10 Ω
ダイナミックレンジ			ANALOG IN / AD : 92 dB typ (IHF-A) PHONE OUT / DA : 102 dB typ (IHF-A) MAIN OUT / DA : 106 dB typ (IHF-A)
記録メディア			SD カード 16 M ~ 2 GB SDHC 規格対応カード 4 G ~ 32 GB SDXC 規格対応カード 64 ~ 128 GB
MIDI IN/OUT			USB MIDI or MIDI over Bluetooth LE
電源			5 V 1 A AC アダプタ
消費電力			ベースステーション本体 : 最大 1.25 W リングコントローラー給電時 : 最大 4.5 W ※充電時の電力を含む
外形寸法			260.0 mm(D) x 260.0 mm(W) x 64.0 mm(H)
質量 (本体のみ)			990 g
表示器	LCD		2.0" フルカラーLCD(320x240)
インターフェイス	USB 2.0 (標準 USB MIDI)	対応 OS	Windows 7 (SP1) 以降、Windows 8 (8.1 含む) 以降、Windows 10 Mac OS X 10.8 以降
		要求スペック	USB2.0 が標準搭載されたチップセット、CPU Intel Core i3 以上
	MIDI over BLE	転送速度	最大 31.25 kbps (± 1 %)
		レイテンシー (対リングコントローラー)	5 ~ 12.5 ms

リングコントローラー

MIDI IN/OUT		MIDI over Bluetooth LE	
センサ		PAD 用感圧センサ、3 軸加速度センサ	
電源		リチウムポリマー充電電池 (最大電圧 DC4.2 V、公称電圧 3.7 V、容量 450 mAh - 3.7 V)、ベースステーションから直接給電	
消費電力		電池動作時：最大 2 W	
充電時間		約 2.5 時間	
電池寿命		LED の明るさが Low の場合、約 4.5 時間 LED の明るさが High の場合、約 2.5 時間 (使用状況によって異なります)	
外形寸法		280.5 mm(D) x 280.5 mm(W) x 33.5 mm(H)	
質量 (本体のみ)		540 g	
トリガーパッド		パッド数	96 個
		ペロシティーカーブ	4 タイプ
インターフェイス	MIDI over BLE	対応 iOS 機器	iOS8.0 以降の iPad シリーズ
		対応 Mac	Mac OS X 10.10.5 Yosemite 以降の BLE 通信ができる Macbook シリーズ、iMac シリーズ、Mac pro シリーズ
		転送速度	最大 31.25 kbps (± 1 %)
		レイテンシー (対ベースステーション)	5 ～ 12.5 ms
		レイテンシー (iOS・Mac OS)	16.25 ～ 20 ms

付 録

プリセットパターン一覧

	Pattern No.	パターン名
GENRE 1	1	DEEHOUSE
	2	PROGRESSIVE
	3	NEW TRAP
	4	HARD DANCE
	5	NEW REGGAETON
	6	TECHNO
	7	DUBSTEP
	8	TRIPLETS
	9	NEW JAZZ
	10	EURODANCE
	11	DRUM N BASS
	12	MINMAL
	13	HIPHOP
	14	TRIBAL
	15	LA BEAT
	16	AFROBEAT
	17	ELECTRO
	18	TRANCE
	19	BROKENBEAT
	20	KUDURO
	21	WORLD
GENRE 2	22	NEW EU DANCE
	23	ELECTRIC HOUSE A
	24	ELECTRIC HOUSE B
	25	TECH HOUSE A
	26	TECH HOUSE B
	27	TECH HOUSE C
	28	STAR GATE
	29	FILTER HOUSE A
	30	FILTER HOUSE B
	31	TRIBAL HOUSE A
	32	TRIBAL HOUSE B
	33	EURO HOUSE
	34	HOP HOUSE
	35	AMBIENT TECH A
	36	AMBIENT TECH B
	37	PSY TRANCE A
	38	PSY TRANCE B
	39	REPEAT A
	40	REPEAT B
	41	MELODIC TECHNO A
	42	MELODIC TECHNO B
	43	TRIBAL TECH
	44	BIG TECHNO
	45	SPRINGY TECH
	46	TECH STEP A
	47	TECH STEP B
	48	DREAMING A
	49	DREAMING B
	50	TRIBAL A
	51	TRIBAL B
	52	SAY YEAH A
	53	SAY YEAH B
	54	SAMPLING BEAT A
	55	SAMPLING BEAT B
	56	FUTURE GROOVE A
	57	FUTURE GROOVE B
	58	FUTURE TRIBE
	59	WHEREHOUSE

	Pattern No.	パターン名
GENRE 2	60	CHILL OUT A
	61	CHILL OUT B
	62	AMBIENT BEAT A
	63	AMBIENT BEAT B
	64	DUBSTEP BEAT A
	65	DUBSTEP BEAT B
	66	AMBIENT STEP A
	67	AMBIENT STEP B
	68	AMBIENT TRAP A
	69	AMBIENT TRAP B
	70	LOW DOWN
	71	TRAP
	72	BIG TRAP
	73	HARD TRAP
	74	SLAP TRAP
	75	ELECTRO TRAP
	76	BELL TREES
	77	LIGHT MACHINE
	78	OLD SCHOOL
	79	ELECTRO HIPHOP
	80	OG
	81	BIG REVERB
SONG	82	HARD N BASS
	83	DRUM N BASS A
	84	DRUM N BASS B
	85	FAST STEP A
	86	FAST STEP B
	87	MOVING BASS
	88	SESSION
	89	JAZZY STYLE
	90	ACO REGGAETON
	91	REGGATON
	92	LOW KICK A
	93	LOW KICK B
	94	AFRO TECH
	95	AFRO HARD TECH
	96	YAY
	97	DISCO 1
	98	DISCO 2
	99	DISCO 3
	100	DISCO 4
	101	DISCO 5
	102	DISCO 6
	103	DISCO 7
	104	DISCO 8
	105	DISCO 9
	106	DISCO 10
	107	DARK WAVE 1
	108	DARK WAVE 2
	109	DARK WAVE 3
	110	DARK WAVE 4
	111	DARK WAVE 5
	112	DARK WAVE 6
	113	DARK WAVE 7
	114	DARK WAVE 8
	115	DARK WAVE 9
	116	DARK WAVE 10
	117	FOOTWORK 1
	118	FOOTWORK 2

	Pattern No.	パターン名
SONG	119	FOOTWORK 3
	120	FOOTWORK 4
	121	FOOTWORK 5
	122	FOOTWORK 6
	123	FOOTWORK 7
	124	FOOTWORK 8
	125	FOOTWORK 9
	126	FOOTWORK 10
	127	BKLYN TECHNO 1
	128	BKLYN TECHNO 2
	129	BKLYN TECHNO 3
	130	BKLYN TECHNO 4
	131	BKLYN TECHNO 5
	132	BKLYN TECHNO 6
	133	BKLYN TECHNO 7
	134	BKLYN TECHNO 8
	135	BKLYN TECHNO 9
	136	BKLYN TECHNO 10
	137	DODGE 1
	138	DODGE 2
	139	DODGE 3
	140	DODGE 4
	141	DODGE 5
	142	DODGE 6
	143	DODGE 7
	144	BOUNCE 1
	145	BOUNCE 2
	146	BOUNCE 3
	147	BOUNCE 4
	148	BOUNCE 5
	149	BOUNCE 6
	150	BOUNCE 7
	151	BOUNCE 8
	152	BOUNCE 9
	153	TECHNO 1
	154	TECHNO 2
	155	TECHNO 3
	156	TECHNO 4
	157	TECHNO 5
	158	TRAP A 1
	159	TRAP A 2
	160	TRAP A 3
	161	TRAP A 4
	162	TRAP A 5
	163	TRAP B 1
	164	TRAP B 2
	165	TRAP B 3
	166	TRAP B 4
	167	TRAP B 5
	168	REGGAETON 1
	169	REGGAETON 2
	170	REGGAETON 3
	171	REGGAETON 4
	172	REGGAETON 5
SAMPLE	381	PLAIN 1
	382	PLAIN 2
	383	PLAIN 3
	384	PLAIN 4

プリセットキット一覧

	KIT No.	KIT 名
GENRE 1	1	DEEPHOUSE
	2	RAINBOW
	3	TRAP LIGHTING
	4	HARD DANCE
	5	4 SPLIT
	6	TECHNO
	7	DUBSTEP
	8	EDM LIGHTING
	9	NEW JAZZ
	10	4 RED COLORS
	11	4 BLUE COLORS
	12	MINIMAL
	13	HIPHOP
	14	SNAKE
	15	TRIPLE SAW
	16	AFROBEAT
	17	ELECTRO
	18	TRANCE LIGHTING
	19	BROKENBEAT
	20	KUDURO
	21	KALIMBA
GENRE 2	22	NEW EU DANCE
	23	ELECTRIC HOUSE
	24	TECH HOUSE
	25	STAR GATE
	26	FILTER HOUSE
	27	TRIBAL HOUSE
	28	EURO HOUSE
	29	HOP HOUSE
	30	AMBIENT TECH
	31	PSY TRANCE
	32	PHASED SNARE
	33	MELODIC TECHNO
	34	WORLD
	35	BIG TECHNO
	36	SPRINGY TECH
	37	TECH STEP
	38	DREAMING
	39	FUNKY
	40	DEEP DARK

	KIT No.	KIT 名
GENRE 2	41	FUTURE GROOVE
	42	FUTURE TRIBE
	43	WHEREHOUSE
	44	CHILL OUT
	45	AMBIENT BEAT
	46	DUBSTEP BEAT
	47	AMBIENT STEP
	48	AMBIENT TRAP
	49	LOW DOWN
	50	TRAP
	51	HARD N BASS
	52	ELECTRO TRAP
	53	BELL TREES
	54	ELECTRO HIPHOP
	55	OG
	56	AMBIANT
	57	DRUM N BASS
	58	SESSION
	59	ELECTRIC JAZZ
	60	ACO REGGAETON
SONG	61	REGGAETON
	62	LOW KICK
	63	AFRO TECH
	64	AFRO HARD TECH
	65	YAY
	66	DISCO
	67	DARK WAVE
	68	FOOTWORK
	69	BKLYN TECHNO
	70	DODGE
	71	NYC
	72	TECHNO SONG
	73	TRAP SONG
	74	H & N SONG
	75	HARD REGGAETON
SAMPLE	76	HALF AND HALF
	77	TOUCH A PITCH
	78	STEP MASTER
	79	PLAY A KICK!

EDIT メニュー・パラメーター一覧

■オシレーターブロック

選択タイプ

セレクトノブ選択
Type
オシレーター一覧を参照

オシレーター一覧

Category	Wave name	LOOP	No.
Kick	2Step Kick	○	1
	BigBeat Kick	○	2
	Blubber Kick	○	3
	BreakBeat Kick	×	4
	Breaks Kick	×	5
	Classic Kick	○	6
	Cyber Kick	○	7
	DeepDark Kick	×	8
	DeepHouse Kick	○	9
	Disco Kick	×	10
	D&B Kick	×	11
	Dubstep Kick	×	12
	EDM Kick	○	13
	Electro Kick	○	14
	EuroBeat Kick	○	15
	EuroDance Kick	○	16
	EuroTrance Kick	○	17
	FrenchHouse Kick	○	18
	Funk Kick	×	19
	Hardcore Kick	×	20
	HardHouse Kick	○	21
	HardTechno Kick	×	22
	HipHop Kick 1	○	23
	HipHop Kick 2	○	24
	OldSchool Kick	○	25
	HR&HM Kick	×	26
	Jazz Kick	×	27
	Jungle Kick	×	28
	Kicker Kick	○	29
	Berlin Kick	○	30
	D Kick	○	31
	Muted Kick	×	32
	Lounge Kick	×	33
	MainRoom Kick	×	34
	Minimal Kick	○	35
	NuDisco Kick	×	36
	ProgHouse Kick	○	37
	R&B Kick	○	38
	Reggae Kick	○	39
	Reggaeton Kick	×	40
	Rock Kick	×	41
	Sub Kick	○	42
	Synth Kick	○	43
	Techno Kick	○	44
	TechHouse Kick	○	45
	Kit707 Kick	×	46
	Kit808 Kick	○	47
	Kit909 Kick	○	48
	Trap Kick	○	49
	TrapMe Kick	○	50
	TribalHouse Kick	○	51
Snare	2Step RS	×	1
	2Step Snare	×	2
	BigBeat RS	×	3
	BigBeat Snare	×	4
	Breaks RS	×	5
	Breaks Snare	×	6
	Chicago Snare	×	7
	DeepHouse Snare	×	8
	DeepHouse RS	×	9
	D&B RS	×	10
	D&B Snare	×	11
	Dubstep RS	×	12
	Dubstep Snare 1	×	13

Category	Wave name	LOOP	No.
Snare	Dubstep Snare 2	×	14
	EDM Snare	×	15
	EDM RS	×	16
	Electro RS	×	17
	Electro Snare	×	18
	EuroBeat RS	×	19
	EuroBeat Snare	×	20
	EuroDance RS	×	21
	EuroDance Snare	×	22
	EuroTrance RS	×	23
	EuroTrance Snare	×	24
	FlashBulb Snare	×	25
	Future Snare	×	26
	Garage Snare	×	27
	Hardcore RS	×	28
	Hardcore Snare	×	29
	HardHouse RS	×	30
	HardHouse Snare	×	31
	HardTechno RS	×	32
	HardTechno Snare	×	33
	HH Snare	×	34
	HipHop RS	×	35
	HipHop Snare	×	36
	HR&HM RS	×	37
	HR&HM Snare	×	38
	Jazz RS	×	39
	Jazz Snare	×	40
	Jazz Brush	×	41
	Jungle RS	×	42
	Jungle Snare	×	43
	MainRoom Snare	×	44
	Minimal RS	×	45
	Minimal Snare	×	46
	NuDisco RS	×	47
	NuDisco Snare	×	48
	ProgHouse RS	×	49
	ProgHouse Snare	×	50
	R&B RS	×	51
	R&B Snare	×	52
	Reggae RS	×	53
	Reggae Snare	×	54
	Reggaeton RS	×	55
	Reggaeton Snare	×	56
	Rock RS	×	57
	Rock Snare	×	58
	Gangsta Snare	×	59
	South Snare	×	60
	TechHouse RS	×	61
	TechHouse Snare	×	62
	Kit707 Snare	×	63
	Kit808 Snare	×	64
	Kit808 RS	×	65
	Kit909 Snare	×	66
	Kit909 RS	×	67
	Trap RS	×	68
	Trap Snare	×	69
	TribalHouse RS	×	70
	TribalHouse Snare	×	71
	UK Snare	×	72
	Vintage Snare	×	73
Clap	Building Clap	×	1
	ClasRave Clap	×	2
	Dance Clap	×	3
	Disco Clap	×	4

Category	Wave name	LOOP	No.
Clap	D&B Clap	×	5
	Breaks Clap	×	6
	Electro Clap	×	7
	Techno Clap 1	×	8
	House Clap 1	×	9
	HipHop Clap	×	10
	Minimal Clap	×	11
	House Clap 2	×	12
	Techno Clap 2	×	13
	NY Clap	×	14
	Reggae Clap	×	15
	Short Clap	×	16
	SlapVerb Clap	×	17
	Step Clap	×	18
	Thug Clap	×	19
	Kit707 Clap	×	20
	Kit808 Clap	×	21
	Kit909 Clap	×	22
	Trance Clap	×	23
	Trap Clap	×	24
Hihat	Berlin CloseHH	×	1
	Berlin OpenHH	×	2
	Chicago Hi-Hat	×	3
	ComputerNoise	×	4
	DeadLeaser Hat	×	5
	Disco CloseHH	×	6
	Disco OpenHH	×	7
	Dance CloseHH	×	8
	Dance OpenHH	×	9
	D&B CloseHH	×	10
	D&B OpenHH	×	11
	Breaks CloseHH	×	12
	Breaks OpenHH	×	13
	Electro CloseHH	×	14
	Electro OpenHH	×	15
	Techno CloseHH	×	16
	Techno OpenHH	×	17
	Feedback Hat	×	18
	Garage Hat	×	19
	GlitchTick Hat	×	20
	HardHouse Hat	×	21
	Standard OpenHH	×	22
	HipHop CloseHH	×	23
	HipHop OpenHH	×	24
	House CloseHH	×	25
	House OpenHH	×	26
	Minimal CloseHH	×	27
	Minimal OpenHH	×	28
	HR&HM CloseHH	×	29
	HR&HM OpenHH	×	30
	Jazz CloseHH	×	31
	Jazz OpenHH	×	32
	London Hat	×	33
	Milano Hat	×	34
	NY Hat	×	35
	Paris Hat	×	36
	R&B CloseHH	×	37
	R&B OpenHH	×	38
	Reggae CloseHH	×	39
	Reggae OpneHH	×	40
	Rock CloseHH	×	41
	Rock OpenHH	×	42
	Short Hi-Hat	×	43
	Kit707 CloseHH	×	44

EDIT メニュー・パラメーター一覧のつづき

Category	Wave name	LOOP	No.
Hihat	Kit707 OpenHH	×	45
	Kit808 CloseHH	×	46
	Kit808 OpenHH	×	47
	Kit909 CloseHH	×	48
	Kit909 OpenHH	×	49
	Trance CloseHH 1	×	50
	Trance OpenHH 1	×	51
	Trance CloseHH 2	×	52
	Trance OpenHH 2	×	53
	Short Crash	×	1
Cymbal	Long Crash	×	2
	Splash Cymbal	×	3
	Disco Crash	×	4
	Disco Ride	×	5
	Dance Crash	×	6
	Dance Ride	×	7
	D&B Crash	×	8
	D&B Ride	×	9
	Breaks Crash	×	10
	Breaks Ride	×	11
	Electro Crash	×	12
	Electro Ride	×	13
	Techno Crash	×	14
	Techno Ride	×	15
	HipHop Crash	×	16
	HipHop Ride	×	17
	House Crash	×	18
	House Ride	×	19
	Minimal Crash	×	20
	Minimal Ride	×	21
	HR&HM Crash	×	22
	HR&HM Ride	×	23
	Jazz Crash	×	24
	Jazz Ride	×	25
	R&B Crash	×	26
	R&B Ride	×	27
	Reggae Crash	×	28
	Reggae Ride	×	29
	Standard Ride	×	30
	Rock Crash	×	31
	Rock Ride	×	32
	Kit707 Crash	×	33
	Kit707 Ride	×	34
	Kit808 Crash	×	35
	Kit909 Crash	×	36
	Kit909 Ride	×	37
	Trance Crash	×	38
	Trance Ride	×	39
Tom	80's Tom	×	1
	Acoustic Tom 1	×	2
	Acoustic Tom 2	×	3
	DoubleElectro Tom	○	4
	FrenchHouse Tom	×	5
	Ind. Tribe Tom	×	6
	Industry Tom	×	7
	Long Tom	×	8
	NewWave Tom	×	9
	Noise Tom	×	10
	Synth Tom	○	11
	Kit707 Tom	×	12
	Kit808 Tom	×	13
	Kit909 Tom	×	14
	Vintage Tom	×	15
Percussion	BellTree	×	1
	Bottle	×	2
	BrightData	×	3
	Cabasa Hit	×	4
	Cabasa Shake	×	5
	Castanets	×	6
	CementClick	×	7
	Clave	×	8
	Conga Open	×	9
	Conga Close	×	10
	Conga Slap	×	11
	Cowbell	×	12

Category	Wave name	LOOP	No.
Percussion	Darbuka	×	13
	Davul Chember	×	14
	Davul Dum	×	15
	Davul Kasnak	×	16
	Davul Tek	×	17
	Djembe	×	18
	Droplet	×	19
	GlitchClave	×	20
	Hi-Bongo	×	21
	Lo-Bongo	×	22
	Hi-Timbales	×	23
	Lo-Timbales	×	24
	Hi-Agogo	×	25
	Lo-Agogo	×	26
	IDM Prec.	×	27
	LongGuirio	×	28
	ShortGuirio	×	29
	LongWhistle	○	30
	Maracas	×	31
	MouthPop	×	32
	MuteCuica	×	33
	MuteSurdo	×	34
	MuteTriangle	×	35
	OpenCuica	×	36
	OpenSurdo	×	37
	OpenTriangle	×	38
	OrganicPrec.	×	39
	Lo-Pop	○	40
	Hi-Pop	×	41
	PlasticLid	×	42
	Quijada	×	43
	Quijada Hit	×	44
	RimPercussion	×	45
	Riq Doum	×	46
	Riq Pa	×	47
	Riq Tak	×	48
	Shaker 1	×	49
	Shaker 2	×	50
	Shaker Hit	×	51
	ShortData	×	52
	ShortPercussion	×	53
	ShortWhistle	×	54
	Snap	×	55
	SquishyZap	×	56
	Sticks	×	57
	SynthPercussion	○	58
	Tabla Ge	×	59
	Tabla Ke	×	60
	Tabla Na	×	61
	Tabla Te	×	62
	Jingle	×	63
	Tambourine	×	64
	Timpani	×	65
	Kit808 Cowbell	○	66
	Vibraslap	○	67
	WindChime	×	68
	WoodBlock	×	69
Voice	Ai-Low House	×	1
	Hey Trap	×	2
	Female Oh	×	3
	Male Oh	×	4
	Oh Garage	×	5
	Technologic Vox	×	6
	U DeepHouse	×	7
	VocalStab	×	8
	Yah Dubstep	×	9
	Male Ahaa	×	10
	Male Ahaw	×	11
	AncientWisdom	×	12
	Male Baaa	×	13
	Male Che	×	14
	Male ComeOn	×	15
	Male Doh	×	16
	Male Doo	×	17
	Female Aan	×	18

Category	Wave name	LOOP	No.
Voice	Female Ah	×	19
	Female Am	×	20
	Female Haa	×	21
	Female Ho	×	22
	Female On	×	23
	Female So	×	24
	Female Yo	×	25
	Female Your	×	26
	Ghostly	×	27
	Male Haa	×	28
	Male Hey 1	×	29
	Male Hey 2	×	30
	Male Nahh	×	31
	Male Ohooo	×	32
	Male Paa	×	33
Synth Basic	Male Wao	×	34
	Male Whooo	×	35
	Saw	※	1
	Square	※	2
	Pulse	※	3
	Sine	※	4
	Triangle	※	5
	Saw + Square	※	6
	Saw + Pulse	※	7
	Saw + Sine	※	8
	Saw + Triangle	※	9
	Sine + Triangle	※	10
	Saw Harmony	※	11
	Square Harmony	※	12
	Pulse Harmony	※	13
Synth Basic	Sine Harmony	※	14
	Triangle Harmony	※	15
	Dual Saw	※	16
	Dual Square	※	17
	Dual Pulse	※	18
	Dual Sine	※	19
	Dual Triangle	※	20
	Triple Saw	※	21
	Triple Square	※	22
	Triple Pulse	※	23
	Triple Sine	※	24
	Triple Triangle	※	25
	Oct Saw	※	26
	Oct Square	※	27
	Oct Pulse	※	28
	Oct Sine	※	29
	Oct Triangle	※	30
	Ring Saw	※	31
	Ring Square	※	32
	Ring Pulse	※	33
	Ring Sine	※	34
	Ring Triangle	※	35
	Ring Dual Saw	※	36
	Ring Dual Square	※	37
	Ring Dual Pulse	※	38
	Ring Dual Sine	※	39
	Ring Dual Triangle	※	40
	Ring Oct Saw	※	41
	Ring Oct Square	※	42
	Ring Oct Pulse	※	43
	Ring Oct Sine	※	44
	Ring Oct Triangle	※	45
	FM Saw	※	46
	FM Square	※	47
	FM Pulse	※	48
	FM Sine	※	49
	FM Triangle	※	50
	FM Dual Saw	※	51
	FM Dual Square	※	52
	FM Dual Pulse	※	53
	FM Dual Sine	※	54
	FM Dual Triangle	※	55
	FM Oct Saw	※	56
	FM Oct Square	※	57
	FM Oct Pulse	※	58

EDIT メニュー・パラメーター一覧のつづき

Category	Wave name	LOOP	No.
Synth Basic	FM Oct Sine	※	59
	FM Oct Triangle	※	60
	Sync Saw	※	61
	Sync Square	※	62
	Sync Pulse	※	63
	Sync Sine	※	64
	Sync Triangle	※	65
	Sync Dual Saw	※	66
	Sync Dual Square	※	67
	Sync Dual Pulse	※	68
	Sync Dual Sine	※	69
	Sync Dual Triangle	※	70
SynthBass	AngerBass	○	1
	DeepBass	○	2
	DubstepDirtBass	×	3
	FlatRicBass	×	4
	GarageFatBass	×	5
	ParisBass	○	6
	PulseBottomBass	×	7
	SubsponseBass	○	8
	VoiceBass	×	9
	WarmSawBass	○	10
SynthFx	AirCloud	○	1
	Alarm	○	2
	AlienWarning	×	3
	Arpnress	×	4
	BeatBang	×	5
	BlackStar	×	6
	BottleVox	×	7
	Closer	×	8
	CompuBlip	○	9
	DangerZone	×	10
	ElectricSwipe	×	11
	EpicAir	×	12
	ForcedAir	×	13
	Lazer 1	×	14
	Lazer 2	×	15
	Lazer 3	×	16
	LazerGun	×	17
	MarsInvaders	×	18
	MazG	×	19
	NoiseFloor	×	20

Category	Wave name	LOOP	No.
SynthFx	Revange	×	21
	SawDown	×	22
	Shreakback	×	23
	SirenFX	×	24
	Spacer	○	25
	StarGate	×	26
	TrapBounce	×	27
	TunyPluck	×	28
	Twister	×	29
	U Tone	○	30
	WideFive	○	31
	X Scape	×	32
SynthHit	1980sAnalog5ths	○	1
	ClubChord	×	2
	DecadeChord	×	3
	DubstepStab	×	4
	EdgeOfStab	○	5
	EDM MinorChord	×	6
	EDM Stab	×	7
	FadeChord	×	8
	FatMash	○	9
	FatPad	×	10
	FluteSpaceLead	×	11
	FutureSax	×	12
	LeadChord	×	13
	LeadChordRave	×	14
	LeadDirt	×	15
	LeadDrop	×	16
	LegacyChord	×	17
	LowTech	○	18
	MetalicPad	○	19
	PartyChord	×	20
SynthHit	PlasticTube	○	21
	PumpChord	×	22
	RaggaTone	○	23
	RaveLead	○	24
	RaveStabLead	×	25
	SimpleChord	×	26
	StringBreath	×	27
	SubyChord	×	28
	SyncLift	×	29
	TechChord	×	30

Category	Wave name	LOOP	No.
SynthHit	TightAnalog5ths	○	31
	AltoSax	○	1
	AcousticBass	○	2
	AcousticGuitar	○	3
	Bell	×	4
	BrassEnsemble	×	5
	Clav	○	6
	ElectricPiano	○	7
	E.Bass Finger	○	8
	E.Bass Pick	○	9
	E.Bass Slap	○	10
	ElectricGuitar	○	11
Instrument Basic	DistGuitar	○	12
	GuitarFeedback	×	13
	Kalimba	×	14
	MajorPartials	×	15
	MetalBell	×	16
	MinorPartials	○	17
	MutedStab	×	18
	OldMovieMinor	×	19
	Organ 1	○	20
	Organ 2	○	21
	Piano	○	22
	StringsEnsemble	×	23
InstHit	TenorSax	○	24
	Brass Hit 1	×	1
	Brass Hit 2	×	2
	Cluster	×	3
	E.Guitar 1	×	4
	E.Guitar 2	×	5
	Hammond	×	6
	Orchestra Hit	×	7
	Piano Hit	×	8
	PianoJazz Hit	×	9
	Pulse	×	10
	SlideOrgan	×	11
	Strings Hit	×	12

※ 内部オシレーター
ワンショットではない

ブロックメニュー

メニュー階層	設定値
Type List	オシレーター一覧を参照
Pulse Width	1 ~ 99

■ノイズブロック

選択タイプ

セレクトノブ選択
Type
Off、White、Pink

パラメーター

パラメーター 1	パラメーター 2	パラメーター 3
Level	-	-
0 ~ 100	-	-

EDIT メニュー・パラメーター一覧のつづき

■インサート FX ブロック

選択タイプ

セレクトノブ選択
Type
エフェクター一覧のインサートエフェクトを参照 (→ P.122)

パラメーター

パラメーター 1	パラメーター 2	パラメーター 3
エフェクター一覧のインサートエフェクトを参照 (→ P.122)		

ブロックメニュー

メニュー階層	設定値
Position	Before Filter, After Filter

■フィルターブロック

選択タイプ

セレクトノブ選択
Type
LPF[-12dB]、LPF[-24dB]、BPF[-12dB]、BPF[-24dB]、HPF[-12dB]、HPF[-24dB]、Peaking Filter、Off

パラメーター

パラメーター 1	パラメーター 2	パラメーター 3
Frequency	Resonance	Level
20Hz ~ 20000Hz	0 ~ 100	0 ~ 100

■レベル／パンブロック

パラメーター

パラメーター 1	パラメーター 2	パラメーター 3
Level	Pan	-
0 ~ 100	L100 ~ Center ~ R100	-

■センドエフェクトブロック

パラメーター

パラメーター 1	パラメーター 2	パラメーター 3
Delay	Reverb	-
Off, Send	Off, Send	-

■LFO1・2 ブロック

選択タイプ

セレクトノブ選択
Destination
(対象 : OSC) Pitch、Level(Osc)、(対象 : NOISE) Level(Noise)、(対象 : FILTER) Filter Freq、(対象 : AMP) Level(Amp)、Pan、(対象 : EFFECT) Effect Param

パラメーター

パラメーター 1	パラメーター 2	パラメーター 3
Rate	Depth	Type
1 ~ 100, ♪ (Type1)	0 ~ 100	Saw, Square, Pulse, Sin, Tri, Random S&H, Stepper, After Touch

※ ♪ の設定値については、テンポシンクパラメーターを参照してください。(→ P.123)

EDIT メニュー・パラメーター一覧のつづき

ブロックメニュー

メニュー階層	設定値
Stepper Edit	ステッパー画面で編集 (→ P.79)
Pulse Width(パラメーター 3 が Pulse のときのみ)	1 ~ 99

■Level EG ブロック

パラメーター

パラメーター 1	パラメーター 2	パラメーター 3
Attack	Decay/Release	Sustain
0 ~ 100	0 ~ 100	0 ~ 100

■EG ブロック

選択タイプ

セレクトノブ選択
Destination
Off、Pitch、Level (OSC)、Level (Noise)、Filter Freq、Pan、Effect Param

パラメーター

パラメーター 1	パラメーター 2	パラメーター 3
Attack	Decay/Release	Sustain
0 ~ 100	0 ~ 100	0 ~ 100

ブロックメニュー

メニュー階層	設定値
Depth	-100 ~ +100

■PAD ブロック (KEY レイアウトのみ)

パラメーター 1	パラメーター 2	パラメーター 3
Scale	Key	Range
「スケールの変更」を参照 (→ P.28)	C、C#、D、D#、E、F、F#、G、G#、A、A#、B	C-1-F3...C7-C8(C) ~ B-1-E4...B7-C8(B)

■リングパラメーターブロック

選択タイプ

セレクトノブ選択
Type
Off、Pan、Pitch、Level

■セッティングブロック

パラメーター (PAD レイアウト時)

パラメーター 1	パラメーター 2	パラメーター 3
LED Color	LED Animation	Mixer Group
カラー選択	Off、Moire、Firework、Cross、Circulation、Rainbow	Off、Group1、Group2、Group3

パラメーター (KEY レイアウト時)

パラメーター 1	パラメーター 2	パラメーター 3
Mono/Poly	Glide (Mono 選択時のみ)	-
Mono、Poly	0 ~ 100	-

ブロックメニュー

メニュー階層	設定値
MIDI Mapping	Channel : 1 ~ 16、Note : C-1 ~ F#9

エフェクト一覧

■インサートエフェクト

カテゴリ	タイプ名	パラメーター 1	パラメーター 2	パラメーター 3
		パラメーター名/設定値	パラメーター名/設定値	パラメーター名/設定値
歪み系	BitCrush	Bit 4 ~ 16	SMPL 0 ~ 50	Balance 0 ~ 100
	Distortion	Gain 0 ~ 100	Tone 0 ~ 100	Level 0 ~ 100
モジュレーション系	Chorus	Depth 0 ~ 100	Rate 1 ~ 50	Mix 0 ~ 100
	Phaser	Rate 1 ~ 50, ♪ (Type1)	Color 4STG、8STG、inv 4、inv 8	Mix 0 ~ 100
	Flanger	Depth 0 ~ 100	Rate 0 ~ 50, ♪ (Type1)	Mix 0 ~ 100
	Ring Modulator	Frequency 1 ~ 50	Tone 0 ~ 10	Balance 0 ~ 100
フィルタ系	3Band EQ	Low -12 ~ +12	Mid -12 ~ +12	Hi -12 ~ +12
	TalkFilter	Decay 0 ~ 100	Type iA、UE、UA、oA	Balance 0 ~ 100
	Sub Bass	Frequency 30 ~ 250	Mix 0 ~ 100	- -
ダイナミクス系	Pumper	Depth 0 ~ 100	Rate ♪ (Type3)	- -
	Compressor	Sense 0 ~ 10	Attack Slow、Fast	Tone 0 ~ 10

※インサートエフェクトは、最大で 4 つまで使用できます。

■グローバルフィルター

タイプ名	パラメーター 1	パラメーター 2	パラメーター 3
	パラメーター名/設定値	パラメーター名/設定値	パラメーター名/設定値
LPF[-12dB]、LPF[-24dB]、 BPF[-12dB]、BPF[-24dB]、 HPF[-12dB]、HPF[-24dB]、 Peaking Filter	Frequency 20Hz ~ 20000Hz	Resonance 0 ~ 100	Level 0 ~ 100

■ディレイ

タイプ名	パラメーター 1	パラメーター 2	パラメーター 3
	パラメーター名/設定値	パラメーター名/設定値	パラメーター名/設定値
Mono Delay	Time 1 ~ 2000, ♪ (Type2)	Feedback 0 ~ 100	Mix 0 ~ 100
Stereo Delay	Time 1 ~ 2000, ♪ (Type2)	Feedback 0 ~ 100	Mix 0 ~ 100
Reverse Delay	Time 10 ~ 2000, ♪ (Type2)	Feedback 0 ~ 100	Mix 0 ~ 100

■リバーブ

タイプ名	パラメーター 1	パラメーター 2	パラメーター 3
	パラメーター名/設定値	パラメーター名/設定値	パラメーター名/設定値
Hall、Room、Plate	Decay 1 ~ 30	Tone -12 ~ +6	Mix 0 ~ 100

※ ♪ の設定値については、テンポシンクパラメーターを参照してください。(→ P.123)

エフェクト一覧のつづき

■マスターエフェクト

カテゴリ	タイプ名	パラメーター 1	パラメーター 2	パラメーター 3
		パラメーター名 / 設定値	パラメーター名 / 設定値	パラメーター名 / 設定値
歪み系	BitCrush	Bit 4 ~ 16	SMPL 0 ~ 50	Balance 0 ~ 100
	Distortion	Gain 0 ~ 100	Tone 0 ~ 100	Level 0 ~ 100
モジュレーション系	Chorus	Depth 0 ~ 100	Rate 1 ~ 50	Mix 0 ~ 100
	Phaser	Rate 1 ~ 50, ♪ (Type1)	Color 4STG、8STG、inv 4、inv 8	Mix 0 ~ 100
	Flanger	Depth 0 ~ 100	Rate 0 ~ 50, ♪ (Type1)	Mix 0 ~ 100
	Ring Modulator	Frequency 1 ~ 50	Tone 0 ~ 10	Balance 0 ~ 100
	Wah	Frequency 1 ~ 50	- -	- -
	AutoPan	Rate 0 ~ 50, ♪ (Type1)	Width 0 ~ 10	Clip 0 ~ 10
フィルタ系	Isolator	Low 0 ~ 100	Mid 0 ~ 100	Hi 0 ~ 100
	3Band EQ	Low -12 ~ +12	Mid -12 ~ +12	Hi -12 ~ +12
遅延系	Reverse Delay	Time 10 ~ 2000, ♪ (Type2)	Feedback 0 ~ 100	Hi Damp 0 ~ 10
ダイナミクス系	Limiter	Threshold 0 ~ -24	Ratio 1 ~ 54, ∞	Release 0 ~ 10
	Compressor	Threshold 0 ~ -24	Ratio 1 ~ 26	Attack 0 ~ 10
時間操作系	Glitter	Type 1 ~ 8	Complex 0 ~ 100	Mix 0 ~ 100

※マスターエフェクトは、全体で 1 つだけ使用できます。

※ ♪ の設定値については、テンポシンクパラメーターを参照してください。

■テンポシンクパラメーター

パラメーターやエフェクトの表中の ♪ は、テンポに連動して設定値が変わるパラメーターです。

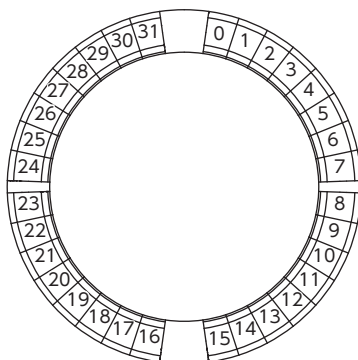
Type1	Type2	Type3
32 分音符	16 分音符	32 分音符
16 分音符	4 分 3 連符	16 分音符
4 分 3 連符	付点 16 分音符	4 分 3 連符
付点 16 分音符	8 分音符	付点 16 分音符
8 分音符	2 分 3 連符	8 分音符
2 分 3 連符	付点 8 分音符	2 分 3 連符
付点 8 分音符	4 分音符	付点 8 分音符
4 分音符	付点 4 分音符	4 分音符
付点 4 分音符	2 分音符	付点 4 分音符
2 分音符	4 分音符 × 3	2 分音符
4 分音符 × 3	4 分音符 × 4	4 分音符 × 3
4 分音符 × 4	⋮	4 分音符 × 4
⋮	4 分音符 × 8	
4 分音符 × 19		
4 分音符 × 20		

リングコントローラーの MIDI メッセージ

■リングコントローラーのキーナンバー

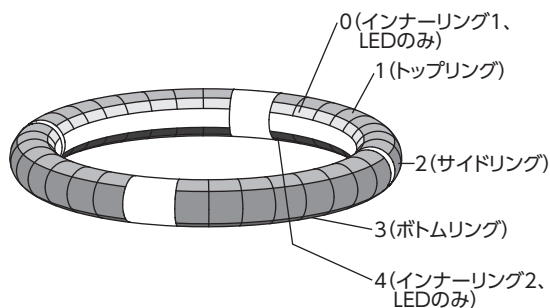
リングコントローラーのパッドには、それぞれ異なるキーナンバーが割り当てられています。キーナンバーは Column と Row の組み合わせで表現されます。

リング方向 (Column)

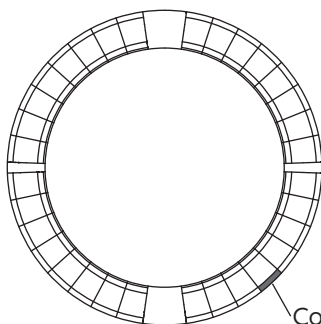


※表面 (ARQロゴ印刷面) から見た場合

直径方向 (Row)



例：12x2

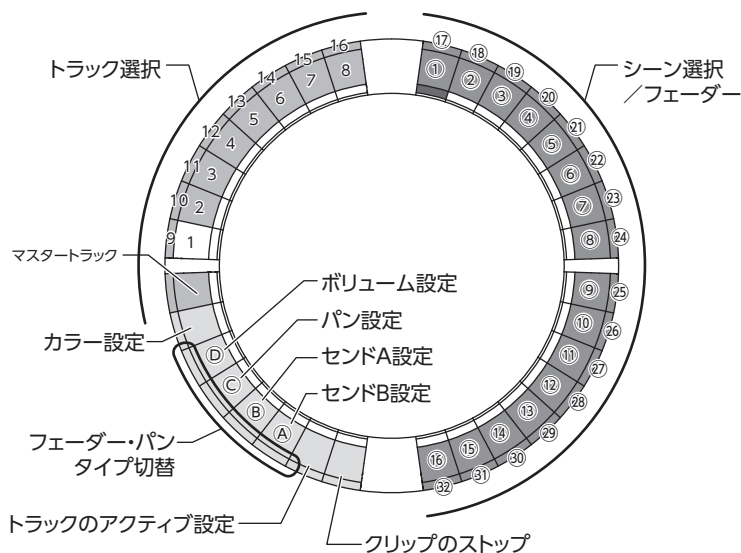


リングコントローラーの MIDI メッセージ のつづき

■Session レイアウト

Ableton Live のセッションビューを操作するためのレイアウトです。

クリップやシーンの再生、ボリューム、パン、センドのコントロールなどをリングコントローラーを使用して行うことができます。



トラック選択

トラック 1～16、マスタートラックから選択します。選択中のトラックは白く点灯します。

カラー設定

リングコントローラーの LED 色を設定します。

- 1、サイドルリングのパッドを押してトップリングの LED 色を変えます。
- 2、トップリングのパッドを押しながらトラック、シーン、ボリュームなどのパッドを押して、色を変更します。

ボリューム、パン、センド A、センド B 設定

選択したトラックのボリューム、パン、センドを設定します。(次表①～⑩)

フェーダー・パンタイプ切替

ボリューム、パン、センド A、センド B 設定のそれぞれについて、リングコントローラー右側の操作方法をフェーダータイプ、パンタイプから選択します。

フェーダータイプは緑色、パンタイプはオレンジに点灯します。

トラックのアクティブ設定

選択したトラックのアクティブ／ミュートを選択して切り換えます。アクティブ時には明るく、ミュート時には暗く点灯します。

クリップのストップ

選択したトラックの再生中のクリップを停止します。

シーン選択／フェーダー・パン

ボリューム、パン、センド A、センド B 設定を押している間は、全体がフェーダーまたはパンとして機能します。それ以外の時は、シーン番号を選択します。(次表①～⑩)

HINT

上記の機能は設定の一例です。

リングコントローラーの MIDI メッセージのつづき

Track Select/Stop/Active			Clip Launch		Fader/Pan Control	
Track Number	MIDI Channel	Note Number (Select, Stop, Active)	MIDI Channel	Note Number (①~③)	MIDI Channel	Control Change Number (A, B, C, D)
1	12	0, 17, 18	16	0 ~ 31	16	3, 9, 14, 15
2	12	1, 19, 20	16	32 ~ 63	16	20, 27, 28, 29
3	12	2, 21, 22	16	64 ~ 95	16	30, 31, 35, 41
4	12	3, 23, 24	16	96 ~ 127	16	46, 47, 52, 53
5	12	4, 25, 26	15	0 ~ 31	15	3, 9, 14, 15
6	12	5, 27, 28	15	32 ~ 63	15	20, 27, 28, 29
7	12	6, 29, 30	15	64 ~ 95	15	30, 31, 35, 41
8	12	7, 31, 32	15	96 ~ 127	15	46, 47, 52, 53
9	12	8, 33, 34	14	0 ~ 31	14	3, 9, 14, 15
10	12	9, 35, 36	14	32 ~ 63	14	20, 27, 28, 29
11	12	10, 37, 38	14	64 ~ 95	14	30, 31, 35, 41
12	12	11, 39, 40	14	96 ~ 127	14	46, 47, 52, 53
13	12	12, 41, 42	13	0 ~ 31	13	3, 9, 14, 15
14	12	13, 43, 44	13	32 ~ 63	13	20, 27, 28, 29
15	12	14, 45, 46	13	64 ~ 95	13	30, 31, 35, 41
16	12	15, 47, 48	13	96 ~ 127	13	46, 47, 52, 53
master	12	16, 49, 50	12	96 ~ 127	12	3, 9, 14, 15

リングコントローラーの MIDI メッセージのつづき

■NOTE レイアウト

ピアノ鍵盤の配列がパッド上に展開されるレイアウトです。

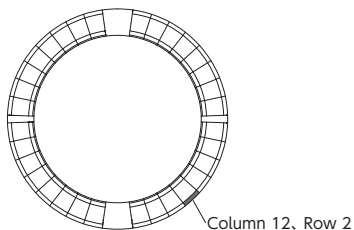
 を押すと、オクターブを変更することができます。

		Row						
		1/2/3 (共通)						
Column	0	 × 2 回	 × 1 回	起動時	 × 1 回	 × 2 回	 × 3 回	4
	0	20	32	44	56	68	80	
	1	21	33	45	57	69	81	
	2	22	34	46	58	70	82	
	3	23	35	47	59	71	83	
	4	24	36	48	60	72	84	
	5	25	37	49	61	73	85	
	6	26	38	50	62	74	86	
	7	27	39	51	63	75	87	
	8	28	40	52	64	76	88	
	9	29	41	53	65	77	89	
	10	30	42	54	66	78	90	
	11	31	43	55	67	79	91	
	12	32	44	56	68	80	92	
	13	33	45	57	69	81	93	
	14	34	46	58	70	82	94	
	15	35	47	59	71	83	95	
	16	36	48	60	72	84	96	
	17	37	49	61	73	85	97	
	18	38	50	62	74	86	98	
	19	39	51	63	75	87	99	
	20	40	52	64	76	88	100	
	21	41	53	65	77	89	101	
	22	42	54	66	78	90	102	
	23	43	55	67	79	91	103	
	24	44	56	68	80	92	104	
	25	45	57	69	81	93	105	
	26	46	58	70	82	94	106	
	27	47	59	71	83	95	107	
	28	48	60	72	84	96	108	
	29	49	61	73	85	97	109	
	30	50	62	74	86	98	110	
	31	51	63	75	87	99	111	

例：Column 12、Row 2 のパッドの場合（MIDI チャンネル 1 を選択した場合）

ノートナンバーは 56 (38h)、MIDI チャンネルは 1 (00h)

- このパッドを叩いた場合は "90h [Note on/MIDI ch] ", "38h [Note Number] ", ベロシティが送信されます。
また、パッドを叩いたときに LED が黄色く光ります。
- "90h [Note on/MIDI ch] ", "38h [Note Number] ", ベロシティをリングコントローラーに送信した場合、このパッドの LED が黄色く光ります。



リングコントローラーの MIDI メッセージのつづき

■DRUM レイアウト

DAW ソフトの Drum Rack に対応したレイアウトです。各リングの 1/4 周分のパッドが、Drum Rack の 1 区画分に対応します。

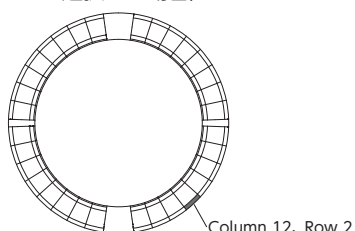
 を押すと、Column 方向にノートナンバーの組を移動させることができます。

		Row								4	
		0	1/3 (共通)	2	1/3 (共通)	2	1/3 (共通)	2	1/3 (共通)		2
			⬅ × 2 回	⬅ × 1 回	起動時		➡ × 1 回				
Column	0	52	56	36	40	20	24	4	8		
	1	53	57	37	41	21	25	5	9		
	2	54	58	38	42	22	26	6	10		
	3	55	59	39	43	23	27	7	11		
	4	60	64	44	48	28	32	12	16		
	5	61	65	45	49	29	33	13	17		
	6	62	66	46	50	30	34	14	18		
	7	63	67	47	51	31	35	15	19		
	8	68	72	52	56	36	40	20	24		
	9	69	73	53	57	37	41	21	25		
	10	70	74	54	58	38	42	22	26		
	11	71	75	55	59	39	43	23	27		
	12	76	80	60	64	44	48	28	32		
	13	77	81	61	65	45	49	29	33		
	14	78	82	62	66	46	50	30	34		
	15	79	83	63	67	47	51	31	35		
	16	84	88	68	72	52	56	36	40		
	17	85	89	69	73	53	57	37	41		
	18	86	90	70	74	54	58	38	42		
	19	87	91	71	75	55	59	39	43		
	20	92	96	76	80	60	64	44	48		
	21	93	97	77	81	61	65	45	49		
	22	94	98	78	82	62	66	46	50		
	23	95	99	79	83	63	67	47	51		
	24	100	104	84	88	68	72	52	56		
	25	101	105	85	89	69	73	53	57		
	26	102	106	86	90	70	74	54	58		
	27	103	107	87	91	71	75	55	59		
	28	108	112	92	96	76	80	60	64		
	29	109	113	93	97	77	81	61	65		
	30	110	114	94	98	78	82	62	66		
	31	111	115	95	99	79	83	63	67		

例：Column 12、Row 2 のパッドの場合（MIDI チャンネル 1 を選択した場合）

ノートナンバーは 64（40h）、MIDI チャンネルは 1（00h）

- ・このパッドを叩いた場合は "90h [Note on/MIDI ch] "、
"40h [Note Number] "、ベロシティが送信されます。
また、パッドを叩いたときに LED が黄色く光ります。
- ・"90h [Note on/MIDI ch] "、"40h [Note Number] "
"、ベロシティをリングコントローラーに送信した場合、
このパッドの LED が黄色く光ります。



リングコントローラーの MIDI メッセージのつづき

■FADER レイアウト

リングコントローラーをフェーダーとして操作するレイアウトです。各リングの 1/2 周分のパッドが、1 つのフェーダーを構成します。

送信される MIDI メッセージはコントロールチェンジ (番号と指定値) で、パッドを押したときのベロシティに応じて指定値に達するまでの時間が変化します。

Control Change 番号

		Row				
		0	1	2	3	4
Column	0					
	1					
	2					
	3					
	4					
	5					
	6					
	7		24	25	26	
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23		23	22	21	
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
	31					

値

		Row		
		0	1 ~ 3 (共通)	4
Column	0		127	
	1		123	
	2		114	
	3		105	
	4		96	
	5		87	
	6		78	
	7		69	
	8		59	
	9		50	
	10		41	
	11		32	
	12		23	
	13		14	
	14		5	
	15		0	
	16		0	
	17		5	
	18		14	
	19		23	
	20		32	
	21		41	
	22		50	
	23		59	
	24		69	
	25		78	
	26		87	
	27		96	
	28		105	
	29		114	
	30		123	
	31		127	

HINT

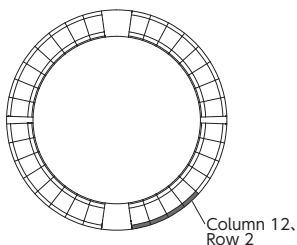
ベロシティ 127 の場合：20 ミリ秒で指定値に達します。

ベロシティ 1 の場合：2 秒で指定値に達します。

例：Column 12、Row 2 のパッドの場合 (MIDI チャンネル 1&2 を選択した場合)

Control Change 番号は 25 (19h)、MIDI チャンネルは 1 (00h)

- このパッドをベロシティ 1 (弱) で叩いた場合は "b0h [Control Change/MIDI ch] ", "19h [Control Change Number] ", "値" が送信され始めます。2 秒間、値が変化しながら断続的にこのメッセージを送信し、値が 23 に達したところで送信が終わります。また、Row 2 の Column 15 ~ 12 のパッドの LED がピンクに光ります。
- "b0h [Control Change/MIDI ch] ", "19h [Control Change Number] ", "17h" をリングコントローラーに送信した場合、Row 2 の Column 15 ~ 12 のパッドの LED がピンクに光ります。



リングコントローラーの MIDI メッセージのつづき

■PROGRAMMER モード

各パッドの LED 表示を自由にプログラムできるモードです。

		Row				
		0	1	2	3	4
Column	0	0	0	32	64	32
	1	1	1	33	65	33
	2	2	2	34	66	34
	3	3	3	35	67	35
	4	4	4	36	68	36
	5	5	5	37	69	37
	6	6	6	38	70	38
	7	7	7	39	71	39
	8	8	8	40	72	40
	9	9	9	41	73	41
	10	10	10	42	74	42
	11	11	11	43	75	43
	12	12	12	44	76	44
	13	13	13	45	77	45
	14	14	14	46	78	46
	15	15	15	47	79	47
	16	16	16	48	80	48
	17	17	17	49	81	49
	18	18	18	50	82	50
	19	19	19	51	83	51
	20	20	20	52	84	52
	21	21	21	53	85	53
	22	22	22	54	86	54
	23	23	23	55	87	55
	24	24	24	56	88	56
	25	25	25	57	89	57
	26	26	26	58	90	58
	27	27	27	59	91	59
	28	28	28	60	92	60
	29	29	29	61	93	61
	30	30	30	62	94	62
	31	31	31	63	95	63
		2	1	1	1	2
MIDI Channel						

例：Column 12、Row 2 のパッドの場合（MIDI チャンネル 1&2 を選択した場合）

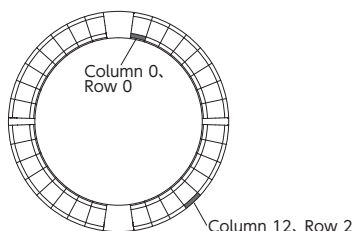
ノートナンバーは 44（2ch）、MIDI チャンネルは 1（00h）

・このパッドを叩いた場合は“90h [Note on/MIDI ch]”、“2ch [Note Number]”、ペロシティーが送信されます。

・“90h [Note on/MIDI ch]”、“2ch [Note Number]”、ペロシティーをリングコントローラーに送信した場合、このパッドの LED がペロシティーに対応した色に光ります。

トップ・ボトムの内ナーリングの LED は、MIDI チャンネル 2 に対応します。

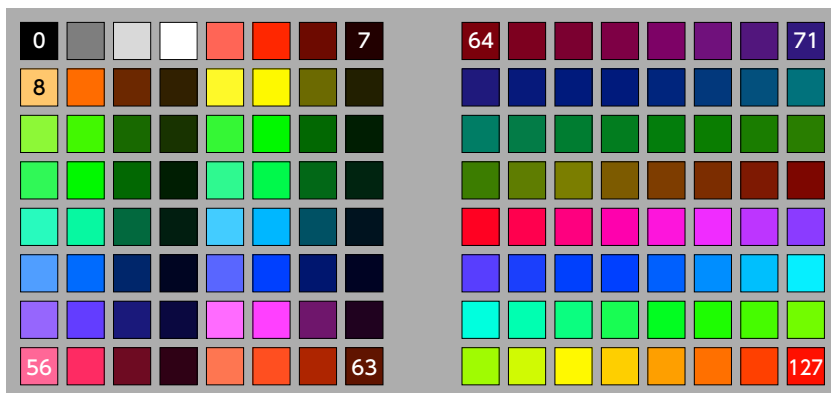
・“91h [Note on/MIDI ch]”、“00h [Note Number]”、ペロシティーをリングコントローラーに送信した場合、Column 0、Row 0 のパッドの LED がペロシティーに対応した色に光ります。



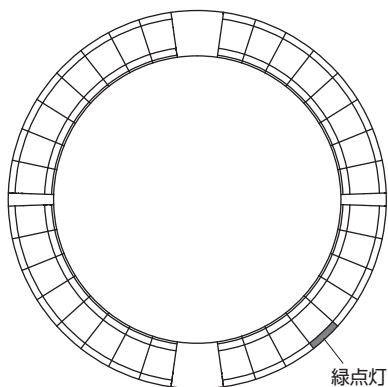
リングコントローラーの MIDI メッセージのつづき

■LED カラーの指定

パッドの LED カラーは、ベロシティー値を送信することで変更できます。



例：PROGRAMMER モードでリングコントローラーに "90h"（ノートオン /MIDI チャンネル）、
"2ch"（ノートナンバー）、"88"（ベロシティー）を送信すると、図の位置の LED が緑（カラー 88 番）
に点灯します。



■LED の制御

リングコントローラーの LED を MIDI メッセージで操作できます。

- ・パレットモード：カラーパレットから色を選びます。
- ・RGB モード：R (Red 0～127)、G (Green 0～127)、B (Blue 0～127)、の数値を指定することで色を選びます。
- ・LED を消灯するには、ペロシティー "0" またはノートオフを送信します。

指定位置の LED を点灯 (キーナンバー指定、パレットモード)

Sys-Ex - F0h 52h <n> 6Fh 62h 0Ah <row> <column> <color> F7h

n : Sys-Ex MIDI channel
row : Row number (0-4)
column : Column number (0-31)
color : Color palette number (0-127)

指定位置の LED を点灯 (キーナンバー指定、RGB モード)

Sys-Ex - F0h 52h <n> 6Fh 62h 0Bh <row> <column> <Red> <Green> <Blue> F7h

n : Sys-Ex MIDI channel
row : Row number (0-4)
column : Column number (0-31)
Red, Green, Blue : 0 - 127

各リングの同じ位置のパッドを点灯 (パレットモード)

Sys-Ex - F0h 52h <n> 6Fh 62h 0Ch <column> <color> F7h

n : Sys-Ex MIDI channel
column : Column number (0-31)
color : Color palette number (0-127)

1つのリング全体の LED を点灯 (パレットモード)

Sys-Ex - F0h 52h <n> 6Fh 62h 0Dh <row> <color> F7h

n : Sys-Ex MIDI channel
row : Row number (0-4)
color : Color palette number (0-127)

全ての LED を点灯 (パレットモード)

Sys-Ex - F0h 52h <n> 6Fh 62h 0Eh <color> F7h

n : Sys-Ex MIDI channel
color : Color palette number (0-127)

リングコントローラーの MIDI メッセージのつづき

■ファンクションキー

ファンクションキーにはコントロールチェンジが割り当てられています。

キー	番号
UP	68h
DOWN	69h
DELAY	6ah
FILTER	6bh
STOP	6dh
PLAY	6eh
REC	6fh
REVERB	70h
MASTER FX	71h

- ・ DELAY、FILTER、STOP、PLAY、REC、REVERB キーにはリングコントローラー上で特殊な機能が割り当てられていません。DAWソフトのコントロールにはこれらのキーをお使いください。
- ・ DAW ソフトからコントロールチェンジのメッセージが送られてきた場合、対応するキーのLED が点灯します。

MIDI インプリメンテーションチャート

■ベースステーション

[Aero RhythmTrak]

Date : 10.June.2016

Model :AR-96 Base Station

MIDI Implementation Chart

Version :1.00

Function ...		Transmitted	Recognized	Remarks
Basic Channel	Default	x	1-16	
	Changed	x	x	
Mode	Default	1	1	
	Messages	x	x	
	Altered	*****		
Note Number		x	x	
	True voice	*****		
Velocity	Note ON	x	o v = 1 - 127	
	Note OFF	x		
After Touch	Key's	x	o v = 1 - 127	
	Ch's	x		
Pitch Bend		x	x	
Control Change		x	x	
Prog Change		x	x	
	True#	*****		
System Exclusive		x	x	
System Common	Songpos	x	x	
	Song Sel	x	x	
	Tune	x	x	
System Realtime	Clock	o	o	
	Command	o	o	
Aux Messages	Local ON/OFF	x	x	
	All Notes OFF	x	x	
	Active Sense	x	x	
	Reset	x	x	
Notes				

Mode 1 : OMNI ON, POLY

Mode 2 : OMNI ON, MONO

o : Yes

Mode 3 : OMNI OFF, POLY

Mode 4 : OMNI OFF, MONO

x : No

MIDI インプリメンテーションチャートのつづき

■リングコントローラー

[Aero RhythmTrak]

Date : 9.June.2016

Model: AR-96 Ring Controller

MIDI Implementation Chart

Version :1.00

Function ...		Transmitted	Recognized	Remarks
Basic Channel	Default	1, 2	1, 2	
	Changed	1-16	1-16	
Mode	Default	x	x	
	Messages	x	x	
	Altered	*****	x	
Note Number		0-127	0-127	
	True voice	*****	*****	
Velocity	Note ON	o 9n, V=1-127	o 9n, V=1-127	
	Note OFF	o 8n, V=0	o 8n, V=0	
After Touch	Key's	o an, V=1-127	x	
	Ch's	o dn, V=1-127	x	
Pitch Bend		x	x	
Control Change		o	o	
		85, 86, 102 - 113	x 102 - 113	Accelerometer Key LED
Prog Change		x	x	
	True #	*****	x	
System Exclusive		o	o	
System Common	Song Pos	x	x	
	Song Sel	x	x	
	Tune	x	x	
System Real Time	Clock	x	x	
	Commands	x	x	
Aux Messages	Local ON/OFF	x	x	
	All Notes OFF	x	x	
	Active Sense	x	x	
	Reset	x	x	
Notes				

Mode 1 : OMNI ON, POLY
Mode 3 : OMNI OFF, POLY

Mode 2 : OMNI ON, MONO
Mode 4 : OMNI OFF, MONO

o : Yes
x : No



株式会社ズーム

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 4-4-3

ホームページ <http://www.zoom.co.jp>